
次期徳島市総合計画策定に関する市民アンケート調査

～ 調査結果報告書 ～

徳 島 市

目 次

1 . 調査概要	1
1-1 . 調査目的	1
1-2 . 調査方法	1
1-3 . 回収結果	1
1-4 . 回答者の属性	2
2 . 調査結果の集計及び分析結果	9
2-1 . 現在の生活や暮らしやすさに対する意識.....	9
2-2 . 現在の生活実態・生活実感に対する意識.....	33
2-3 . 魅力あるまちづくりに対する意識	57
2-4 . 市民と市役所の協働のまちづくりに対する意識.....	69
2-5 . 徳島市の将来やイメージに対する意識.....	80
2-6 . 徳島市の今後のまちづくりについての意見.....	89

1 . 調査概要

1-1 . 調査目的

本調査は、次期徳島市総合計画の策定に先立ち、現状の市民生活の実態や実感、各公共分野における市民の需要を定量的に把握することを目的としている。また、調査結果から市民意識を分析することで、次期総合計画策定の基礎資料とするとともに、今後の行政施策の立案・推進への活用を図っていく。

1-2 . 調査方法

- (1)調査地域 徳島市全域
- (2)調査対象 徳島市に在住する満 18 歳以上の男女 3,000 人
- (3)抽出方法 平成 27 年 6 月 15 日現在の住民基本台帳から各地区の人口、年齢などの属性を考慮し無作為に抽出。
- (4)調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5)調査期間 発送：平成 27 年 7 月 23 日(木) 回収期限：平成 27 年 8 月 10 日(月)

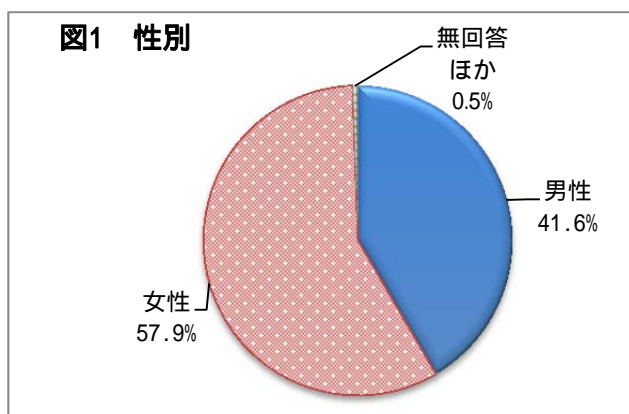
1-3 . 回収結果

- (1)発送数 3,000
- (2)回収数 1,097 回収数の詳細は、次ページの「1-4 . 回答者の属性」を参照。
- (3)有効回収率 36.6%

1-4 . 回答者の属性

(1) 性別

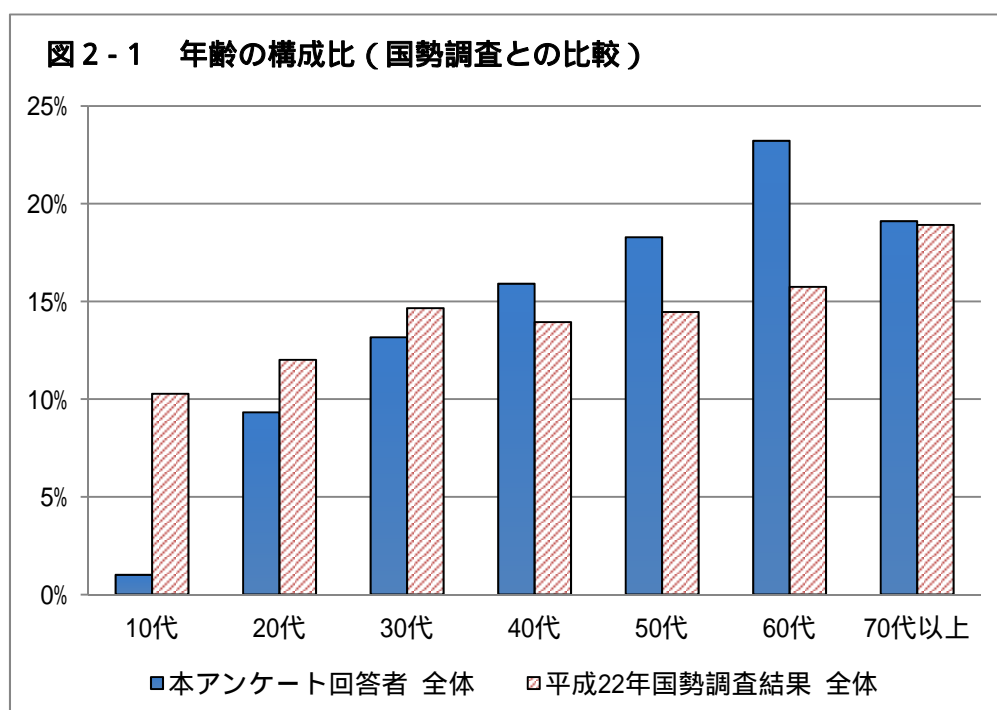
回答者を男女別にみると、「男性」が 41.6%、「女性」が 57.9%と、女性が 15%以上多くなっている。



	人数	構成比
男性	456	41.6%
女性	635	57.9%
有効回答数	1091	99.5%
無回答ほか	6	0.5%
総回答数	1097	100.0%

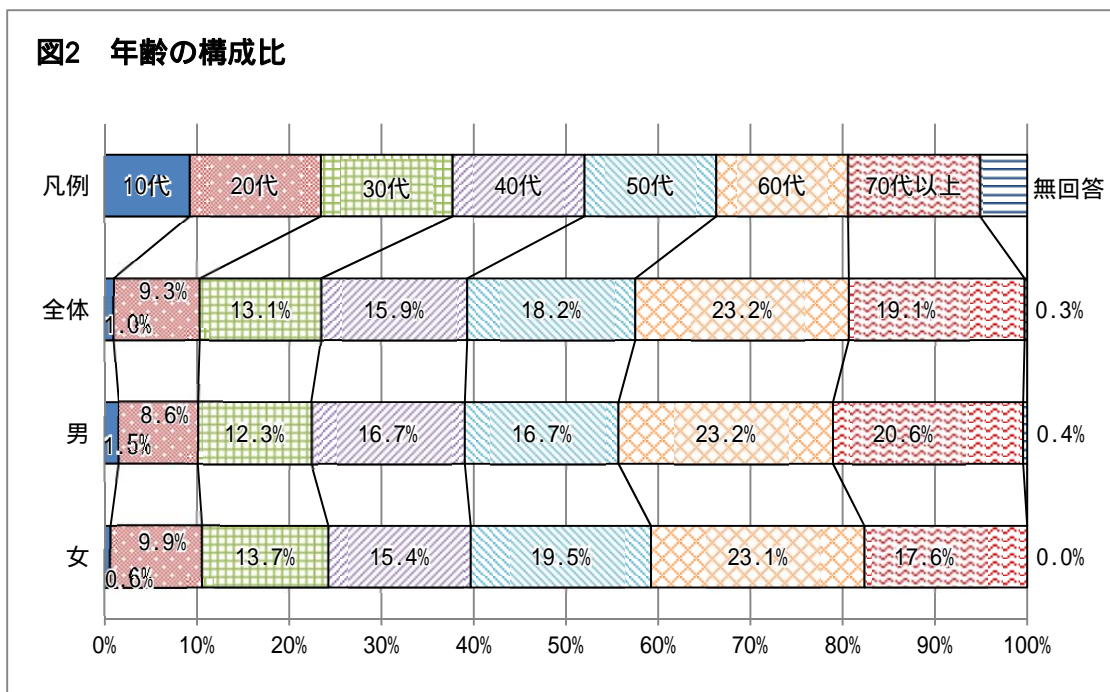
(2) 年齢

回答者全体の構成を平成 22 年国勢調査による本市の人口構成と比べてみると、10 代の構成比が大幅に低く、60 代の構成比が高くなっている。また、本アンケートの回答者構成のほうが、30 代以下の階級では低く、40 代以上の階級では高い傾向がみられる。



年齢別構成をみると、60代が最も多く（23.2%）、次いで、70代以上（19.1%）となっており、その後は、50代（18.2%）から年代が高い順に続いている。

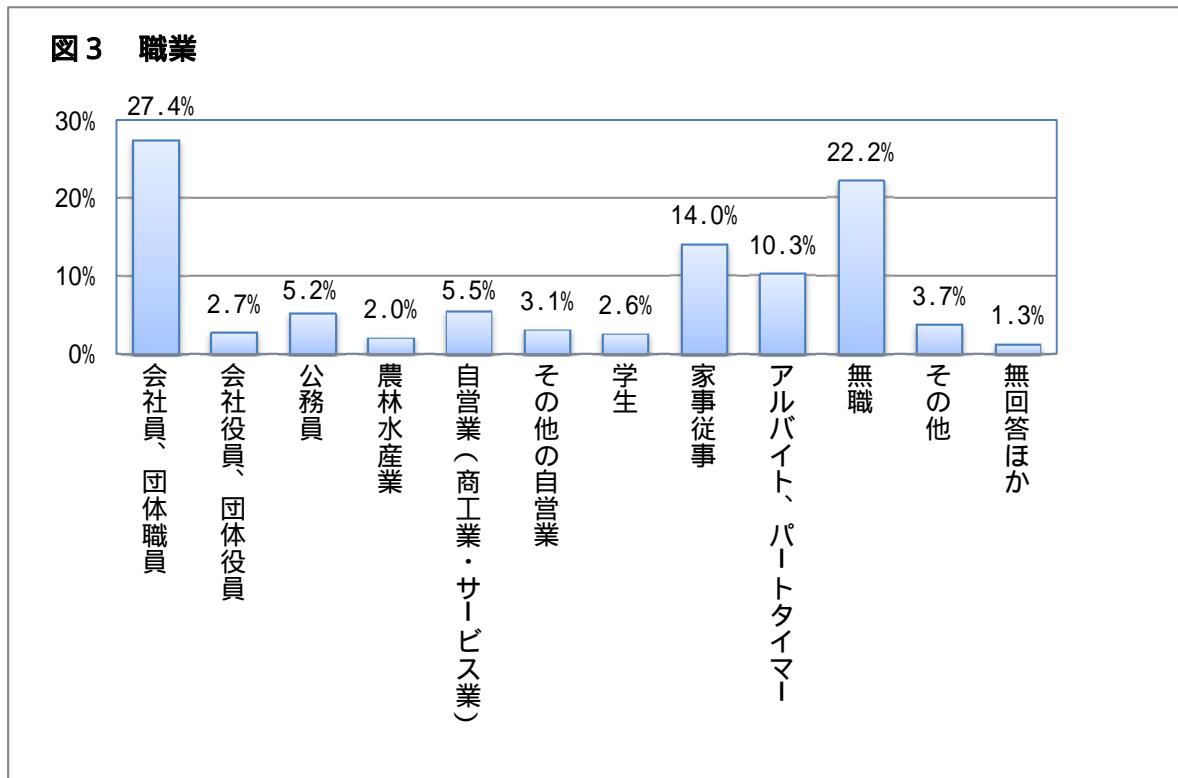
男女別でみると、ともに60代が最も多く、続く年代としては、男性では70代以上、女性では50代の構成比が多い。



	人数			構成比		
	全体	男	女	全体	男	女
10代	11	7	4	1.0%	1.5%	0.6%
20代	102	39	63	9.3%	8.6%	9.9%
30代	144	56	87	13.1%	12.3%	13.7%
40代	174	76	98	15.9%	16.7%	15.4%
50代	200	76	124	18.2%	16.7%	19.5%
60代	254	106	147	23.2%	23.2%	23.1%
70代以上	209	94	112	19.1%	20.6%	17.6%
有効回答数	1094	454	635	99.7%	99.6%	100.0%
無回答ほか	3	2	0	0.3%	0.4%	0.0%
総回答数	1097	456	635	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 職業

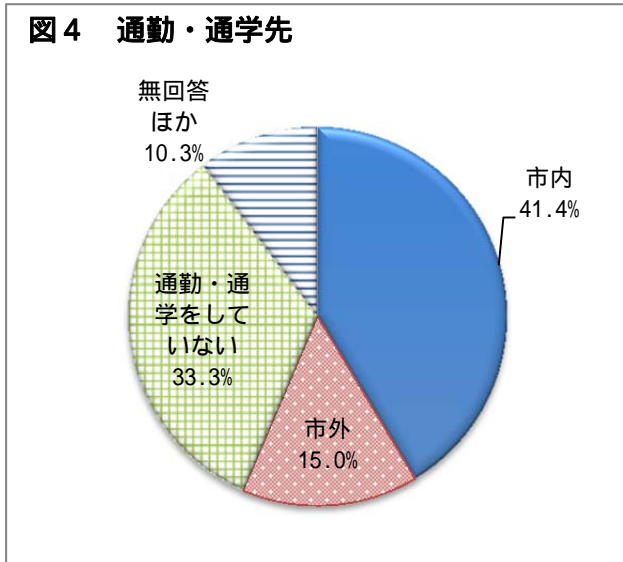
職業別にみると、「会社員、団体職員」が最も多く(27.4%)、次いで「無職」(22.2%)、「家事従事」(14.0%)、「アルバイト、パートタイマー」(10.3%)となっている。



	人数	構成比
会社員、団体職員	301	27.4%
会社役員、団体役員	30	2.7%
公務員	57	5.2%
農林水産業	22	2.0%
自営業(商工業・サービス業)	60	5.5%
その他の自営業	34	3.1%
学生	28	2.6%
家事従事	154	14.0%
アルバイト、パートタイマー	113	10.3%
無職	243	22.2%
その他	41	3.7%
有効回答数	1083	98.7%
無回答ほか	14	1.3%
総回答数	1097	100.0%

(4) 通勤・通学先

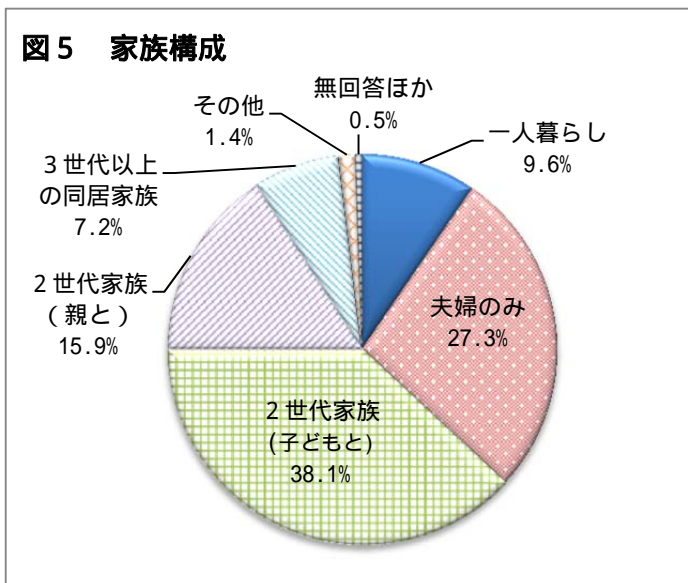
通勤・通学先別にみると、「市内」が最も多く(41.4%)、次いで「通勤・通学をしていない」(33.3%)、「市外」(15.0%)、「無回答」(10.3%)となっている。



	人数	構成比
市内	454	41.4%
市外	165	15.0%
通勤・通学をしていない	365	33.3%
有効回答数	984	89.7%
無回答ほか	113	10.3%
総回答数	1097	100.0%

(5) 家族構成

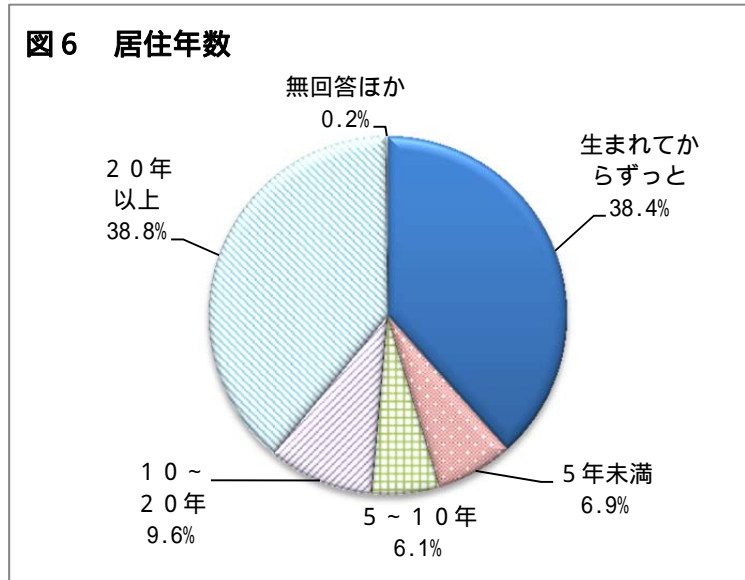
家族構成別にみると、「2世代家族(子ども)」が最も多く(38.1%)、次いで「夫婦のみ」(27.3%)、「2世代家族(親と)」(15.9%)、「一人暮らし」(9.6%)となっている。



	人数	構成比
一人暮らし	105	9.6%
夫婦のみ	300	27.3%
2世代家族(子ども)	418	38.1%
2世代家族(親と)	174	15.9%
3世代以上の同居家族	79	7.2%
その他	15	1.4%
有効回答数	1091	99.5%
無回答ほか	6	0.5%
総回答数	1097	100.0%

(6) 居住年数

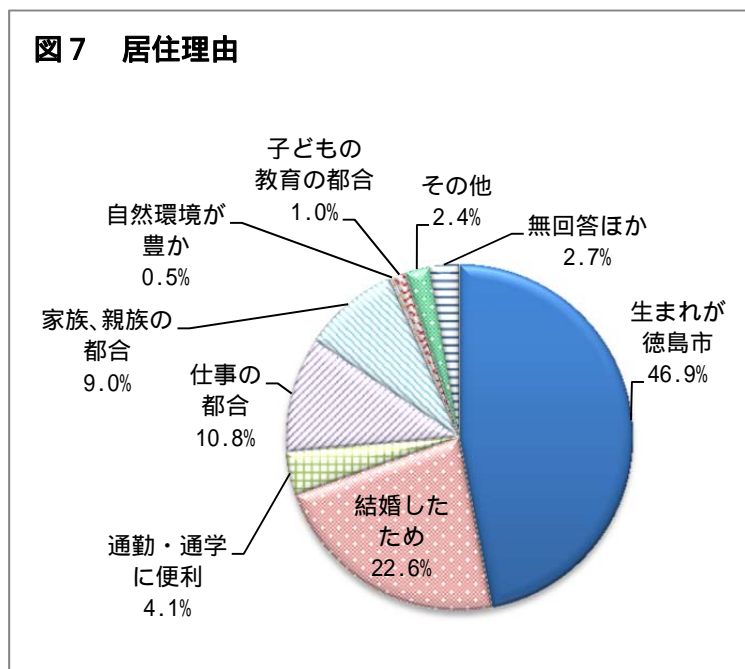
居住年数別にみると、「20年以上」(38.8%) が最も多く、次いで「生まれてからずっと」(38.4%)、「10～20年」(9.6%)となっている。



	人数	構成比
生まれてからずっと	421	38.4%
5年未満	76	6.9%
5年以上～10年未満	67	6.1%
10年以上～20年未満	105	9.6%
20年以上	426	38.8%
有効回答数	1095	99.8%
無回答ほか	2	0.2%
総回答数	1097	100.0%

(7) 居住理由

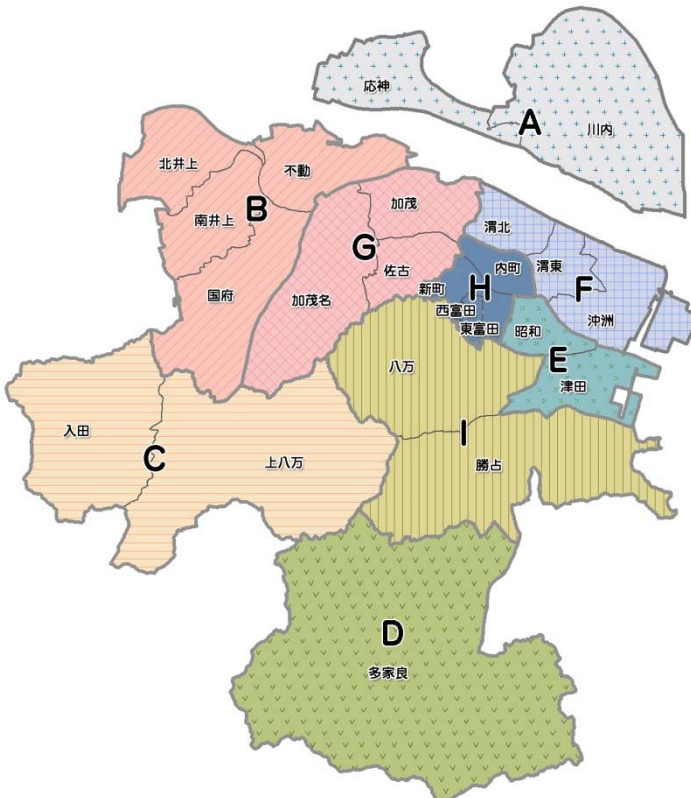
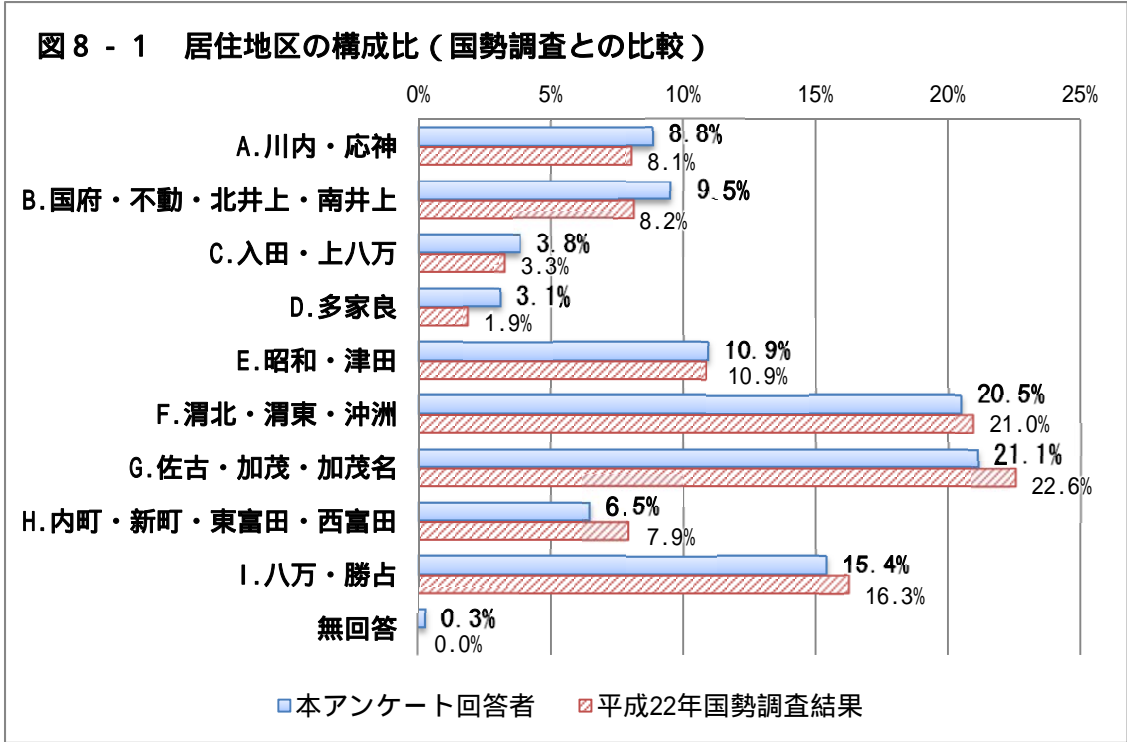
徳島市に住むようになった理由をみると、「生まれが徳島市」が最も多く(46.9%)、次いで「結婚したため」(22.6%)、「仕事の都合」(10.8%)、「家族、親族の都合」(9.0%)となっている。



	人数	構成比
生まれが徳島市	515	46.9%
結婚したため	248	22.6%
通勤・通学に便利	45	4.1%
仕事の都合	118	10.8%
家族、親族の都合	99	9.0%
自然環境が豊か	5	0.5%
子どもの教育の都合	11	1.0%
その他	26	2.4%
有効回答数	1067	97.3%
無回答ほか	30	2.7%
総回答数	1097	100.0%

(8) 居住地区

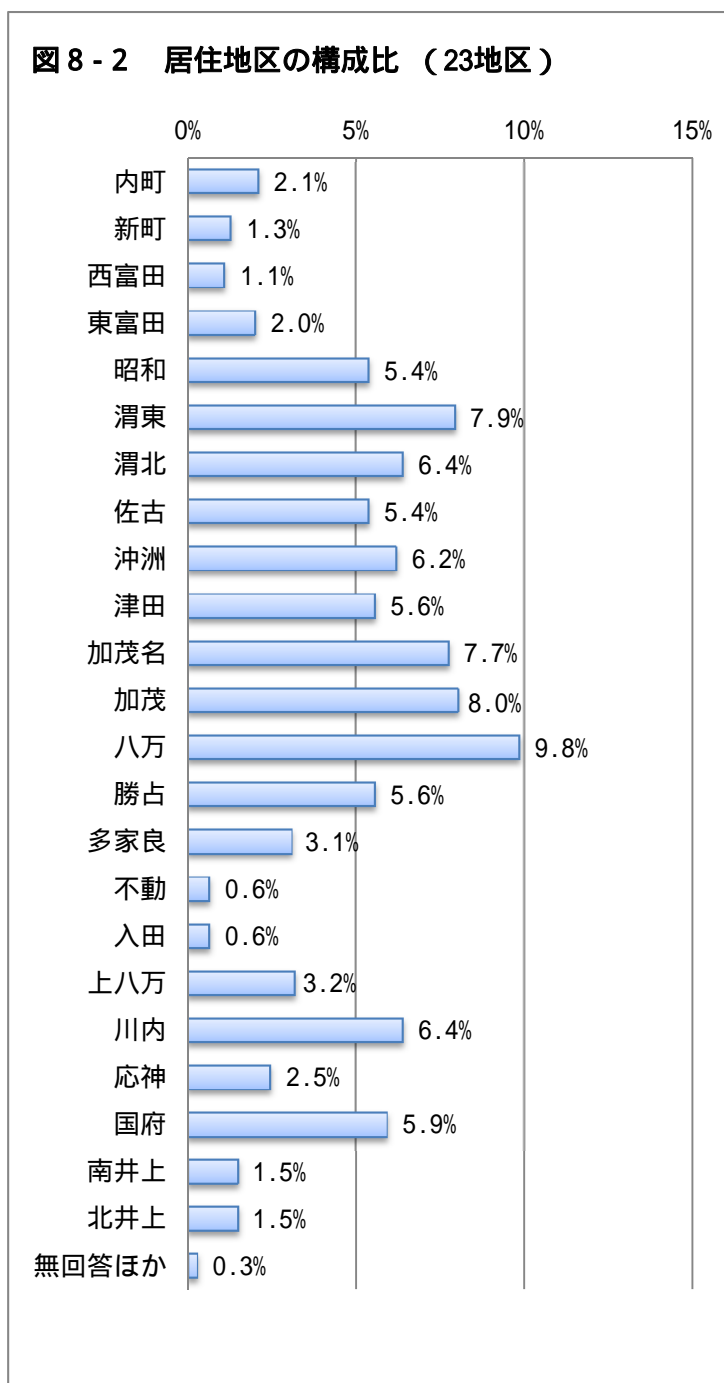
本アンケートの回答者の居住地区 23 区を 9 地区に分けて集計したところ、最も多いのが、佐古地区 (21.1%)、続いて、渭北地区 (20.5%) となっている。回答者全体の構成を、平成 22 年国勢調査の地区別構成と比べてみると、ほぼ同様の傾向を示している。



	人数	構成比
A.川内・応神	97	8.8%
B.国府・不動・北井上・南井上	104	9.5%
C.入田・上八万	42	3.8%
D.多家良	34	3.1%
E.昭和・津田	120	10.9%
F.渭北・渭東・沖洲	225	20.5%
G.佐古・加茂・加茂名	232	21.1%
H.内町・新町・東富田・西富田	71	6.5%
I.八万・勝占	169	15.4%
有効回答数	1094	99.7%
無回答ほか	3	0.3%
総回答数	1097	100.0%

なお、本アンケートで調査した 23 地区の構成は以下のとおりである。

図 8 - 2 居住地区の構成比（23地区）



	人数	構成比
内町	23	2.1%
新町	14	1.3%
西富田	12	1.1%
東富田	22	2.0%
昭和	59	5.4%
渭東	87	7.9%
渭北	70	6.4%
佐古	59	5.4%
沖洲	68	6.2%
津田	61	5.6%
加茂名	85	7.7%
加茂	88	8.0%
八万	108	9.8%
勝占	61	5.6%
多家良	34	3.1%
不動	7	0.6%
入田	7	0.6%
上八万	35	3.2%
川内	70	6.4%
応神	27	2.5%
国府	65	5.9%
南井上	16	1.5%
北井上	16	1.5%
有効回答数	1094	99.7%
無回答ほか	3	0.3%
総回答数	1097	100.0%

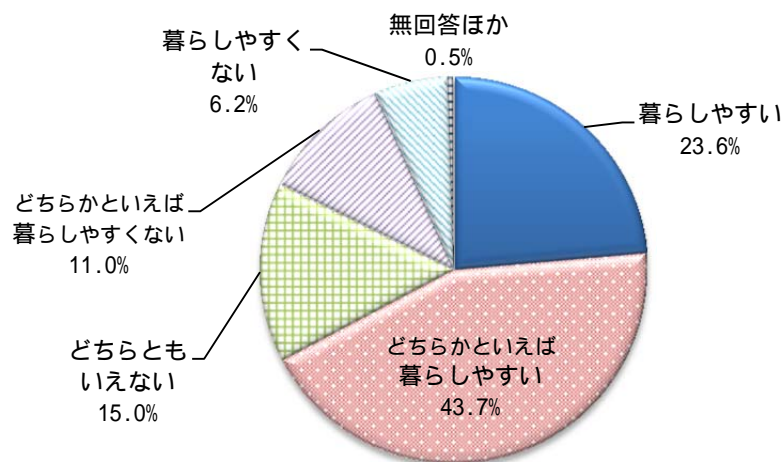
2 . 調査結果の集計及び分析結果

2-1 . 現在の生活や暮らしやすさに対する意識

(1) 現在の生活を「暮らしやすい」と思いますか。

徳島市での現在の生活の暮らしやすさについては、「どちらかといえば暮らしやすい」が最も多く(43.7%)、次いで「暮らしやすい」(23.6%)と、あわせて67%の市民が「暮らしやすい」と回答している。

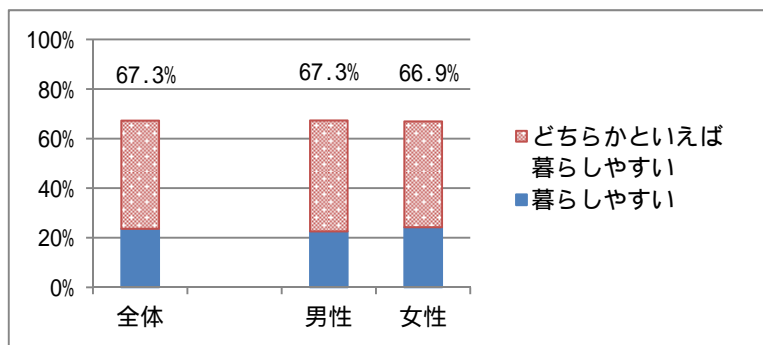
図9 現在の生活は暮らしやすいか



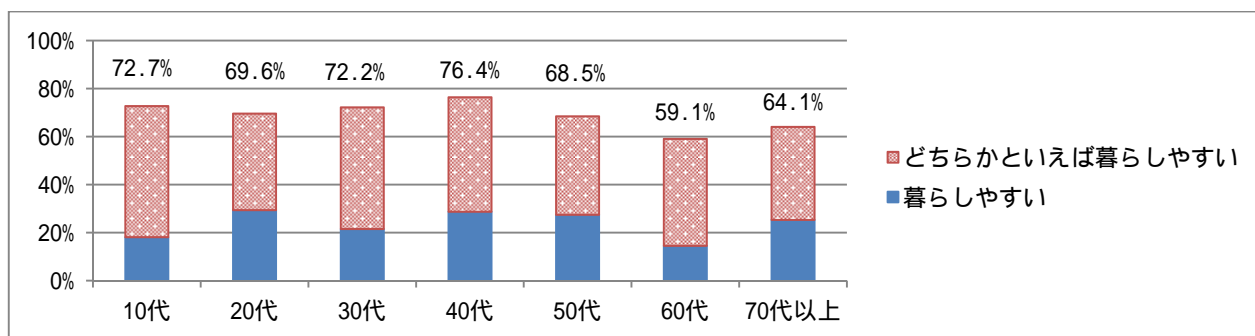
	人数	構成比
暮らしやすい	259	23.6%
どちらかといえば暮らしやすい	479	43.7%
どちらともいえない	165	15.0%
どちらかといえば暮らしやすくない	121	11.0%
暮らしやすくない	68	6.2%
有効回答数	1092	99.5%
無回答ほか	5	0.5%
総回答数	1097	100.0%

現在の生活を「暮らしやすい」と感じている市民の割合（「暮らしやすい」、「どちらかといえば暮らしやすい」の合計。）について、【全体・男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

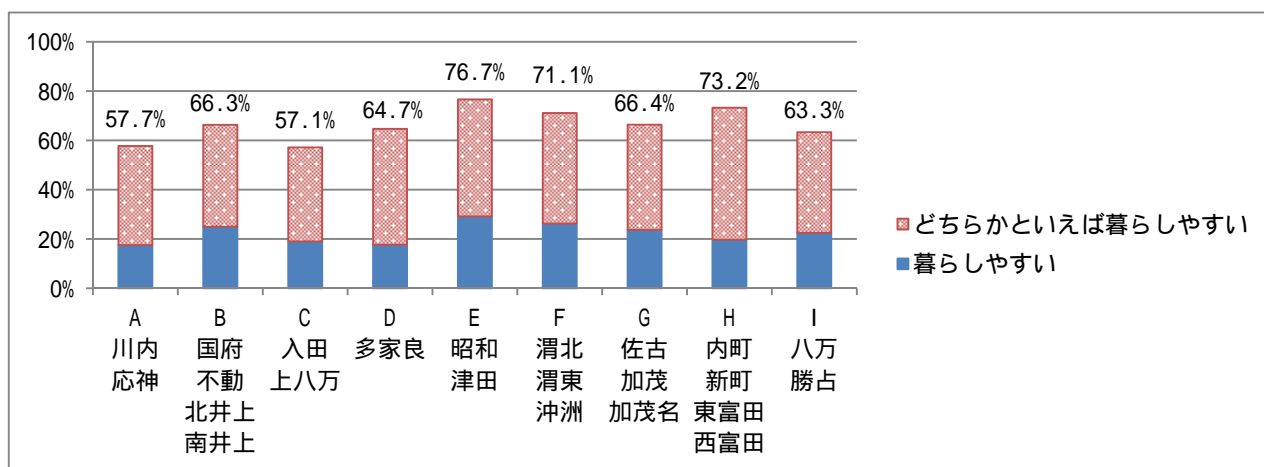
【全体・男女別】



【年代別】

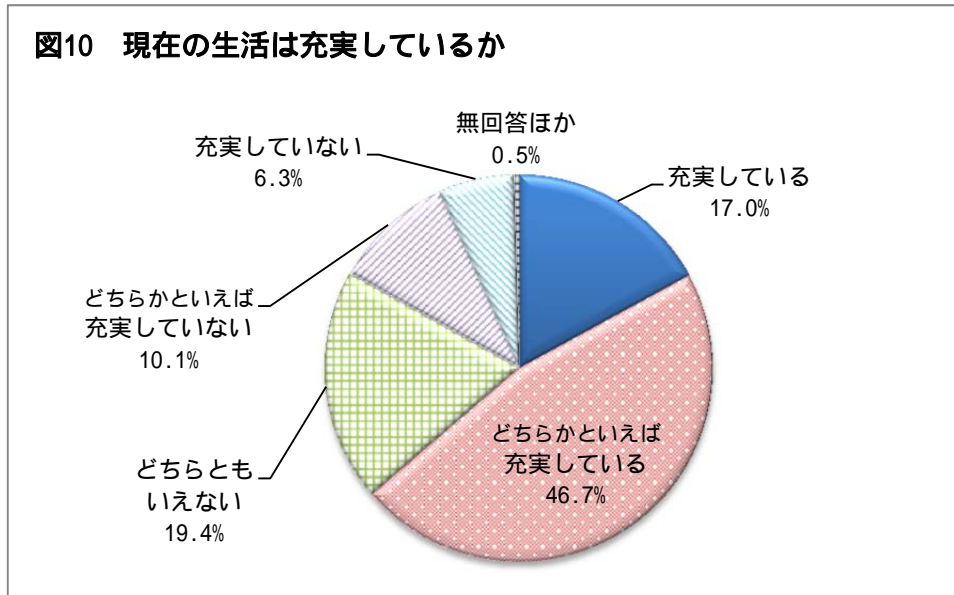


【地区別】



(2) 現在の生活を「充実している」と思いますか。

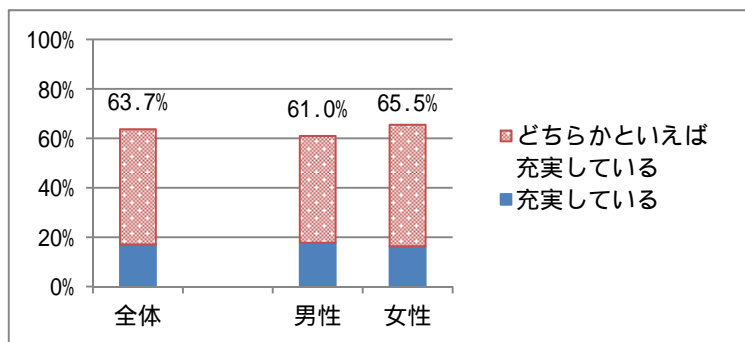
徳島市での現在の生活の充実感については、「どちらかといえば充実している」が最も多く(46.7%)、次いで「どちらともいえない」(19.4%)、「充実している」(17.0%)となっており、「充実している」「どちらかといえば充実している」と回答した市民は、あわせて64%となっている。



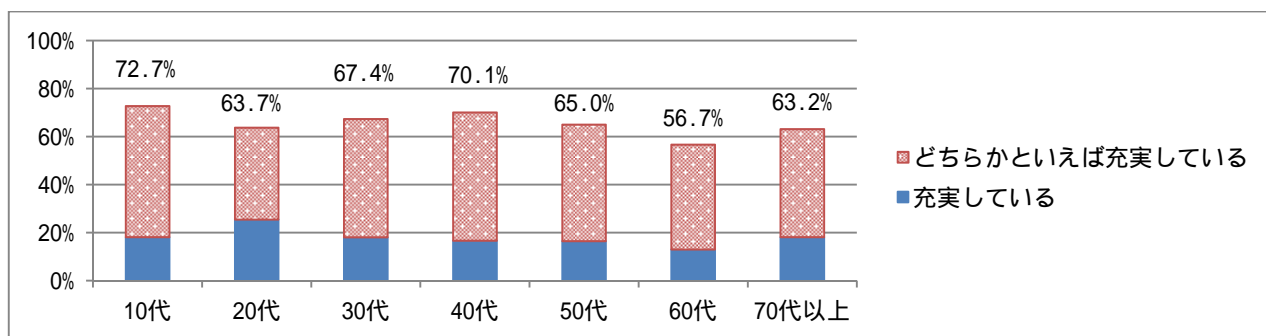
	人数	構成比
充実している	187	17.0%
どちらかといえば充実している	512	46.7%
どちらともいえない	213	19.4%
どちらかといえば充実していない	111	10.1%
充実していない	69	6.3%
有効回答数	1092	99.5%
無回答ほか	5	0.5%
総回答数	1097	100.0%

現在の生活を「充実している」と感じている市民の割合（「充実している」、「どちらかといえば充実している」の合計。）について、【全体・男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

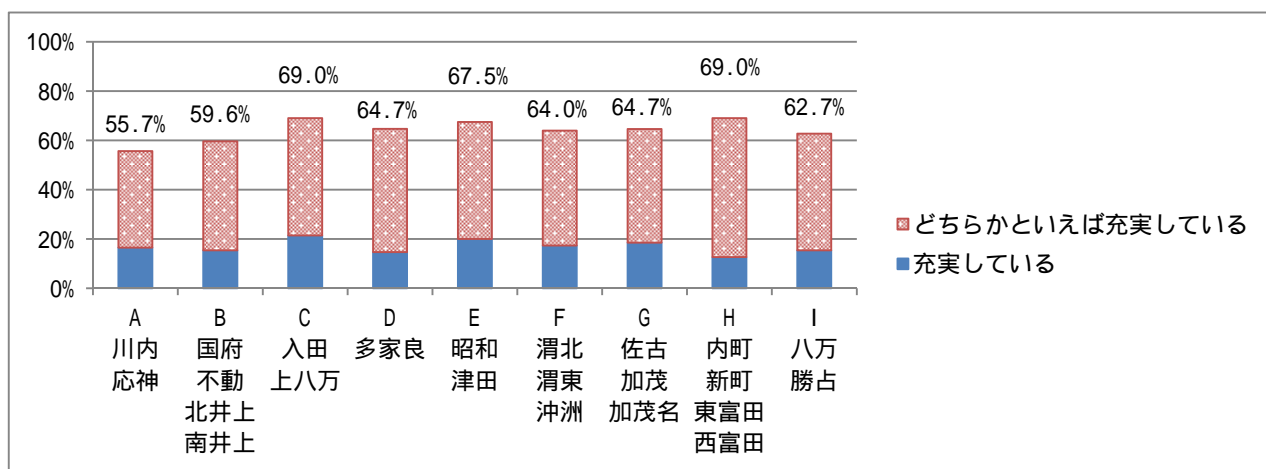
【全体・男女別】



【年代別】

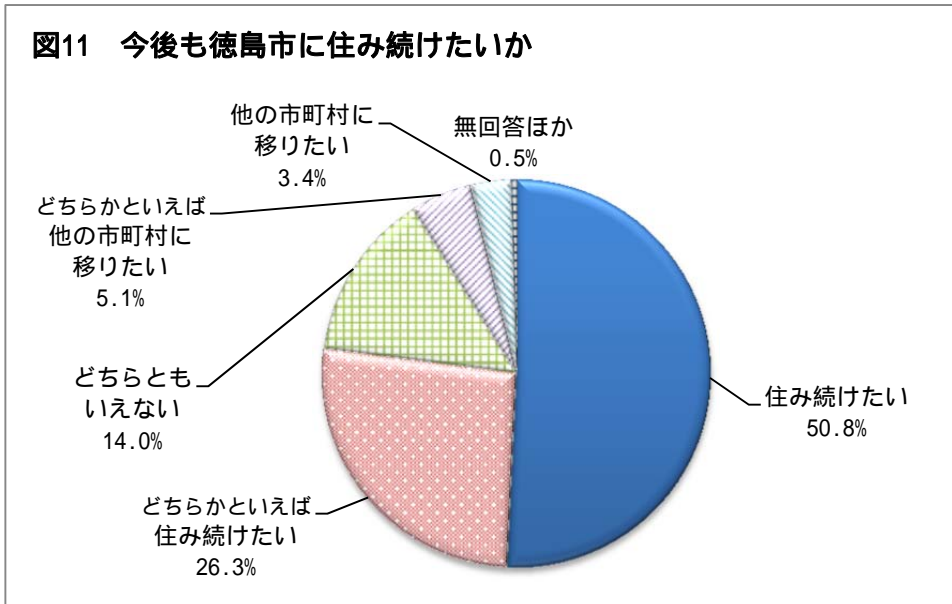


【地区別】



(3) 今後も、徳島市に「住み続けたい」と思いますか。

徳島市に住み続ける意向について、「住み続けたい」が最も多く(50.8%)、次いで、「どちらかといえば住み続けたい」(26.3%)と、あわせて77%の市民が「住み続けたい」と回答している。

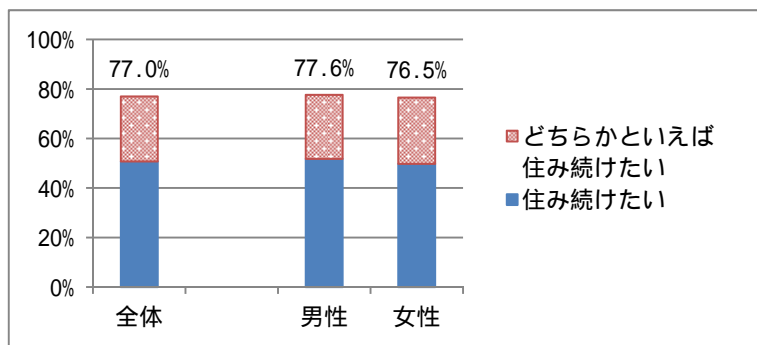


	人数	構成比
住み続けたい	557	50.8%
どちらかといえば住み続けたい	288	26.3%
どちらともいえない	154	14.0%
どちらかといえば他の市町村に移りたい	56	5.1%
他の市町村に移りたい	37	3.4%
有効回答数	1092	99.5%
無回答ほか	5	0.5%
総回答数	1097	100.0%

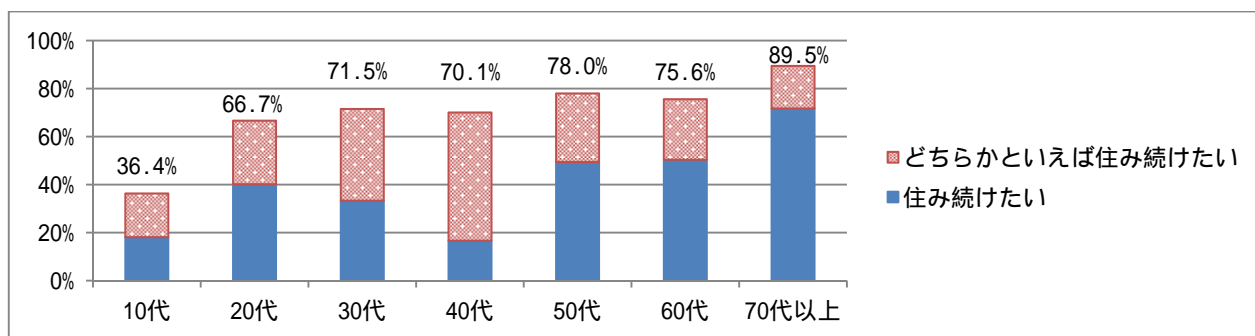
また、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」に回答した人(計999人)は、設問(4)~(6)に回答し、「他の市町村に移りたい」、「どちらかといえば他の市町村に移りたい」に回答した人(計93人)は、設問(7)~(9)に回答していただいた。

今後も、徳島市に「住み続けたい」と思っている市民の割合（「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」の合計。）について、【全体・男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

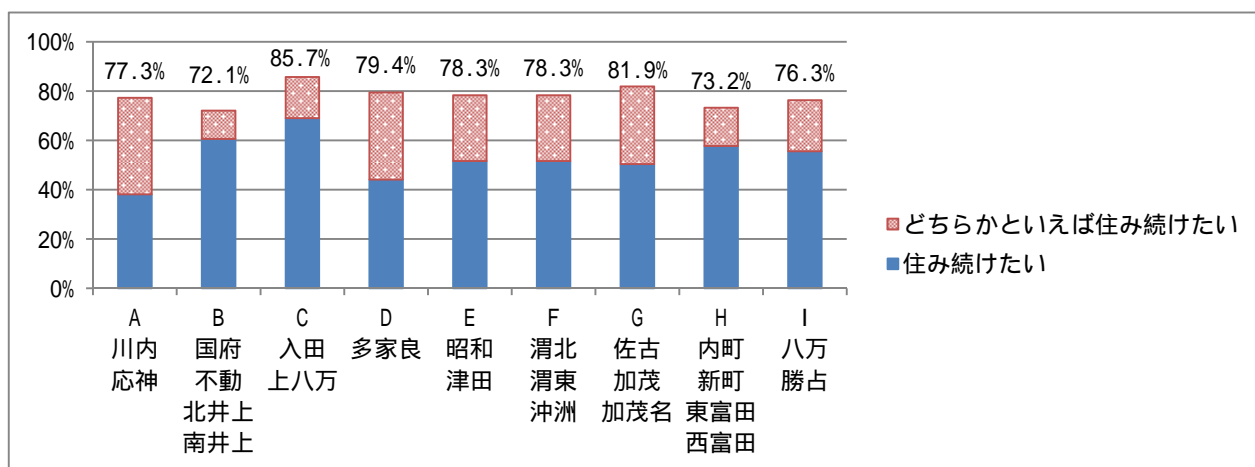
【全体・男女別】



【年代別】



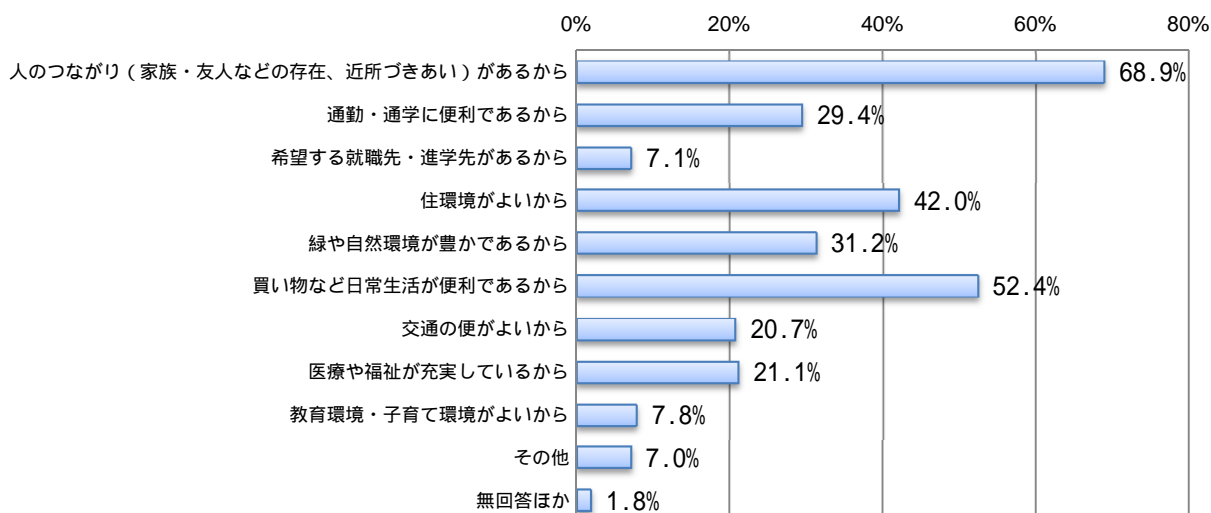
【地区別】



(4) 徳島市に住みたい理由を3つ選択してください。(前記(3)で、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」に回答した場合のみ回答)

徳島市に住みたい理由について、「人とのつながり(家族・友人などの存在、近所づきあい)があるから」が最も多く(68.9%)、次いで、「買い物など日常生活が便利であるから」(52.4%)、「住環境がよいから」(42.0%)となっている。

図12 徳島市に住みたい理由

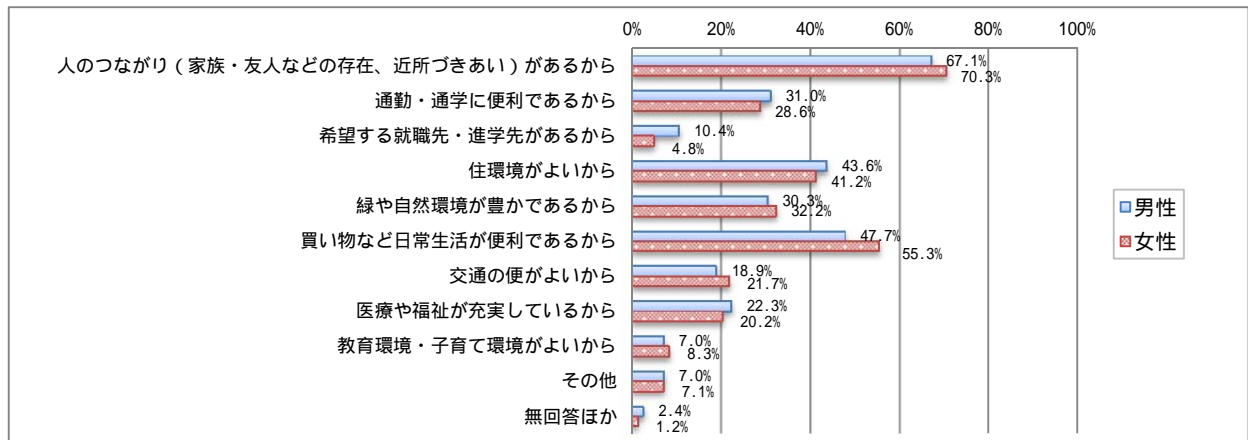


	人数	構成比
人とのつながり(家族・友人などの存在、近所づきあい)があるから	688	68.9%
通勤・通学に便利であるから	294	29.4%
希望する就職先・進学先があるから	71	7.1%
住環境がよいから	420	42.0%
緑や自然環境が豊かであるから	312	31.2%
買い物など日常生活が便利であるから	523	52.4%
交通の便がよいから	207	20.7%
医療や福祉が充実しているから	211	21.1%
教育環境・子育て環境がよいから	78	7.8%
その他	70	7.0%
無回答ほか (3つのうち、1つも選択しなかった数)	18	1.8%
総回答数((3)での「住みたい」「どちらかといえば住みたい」「どちらともいえない」の回答者数)	999	

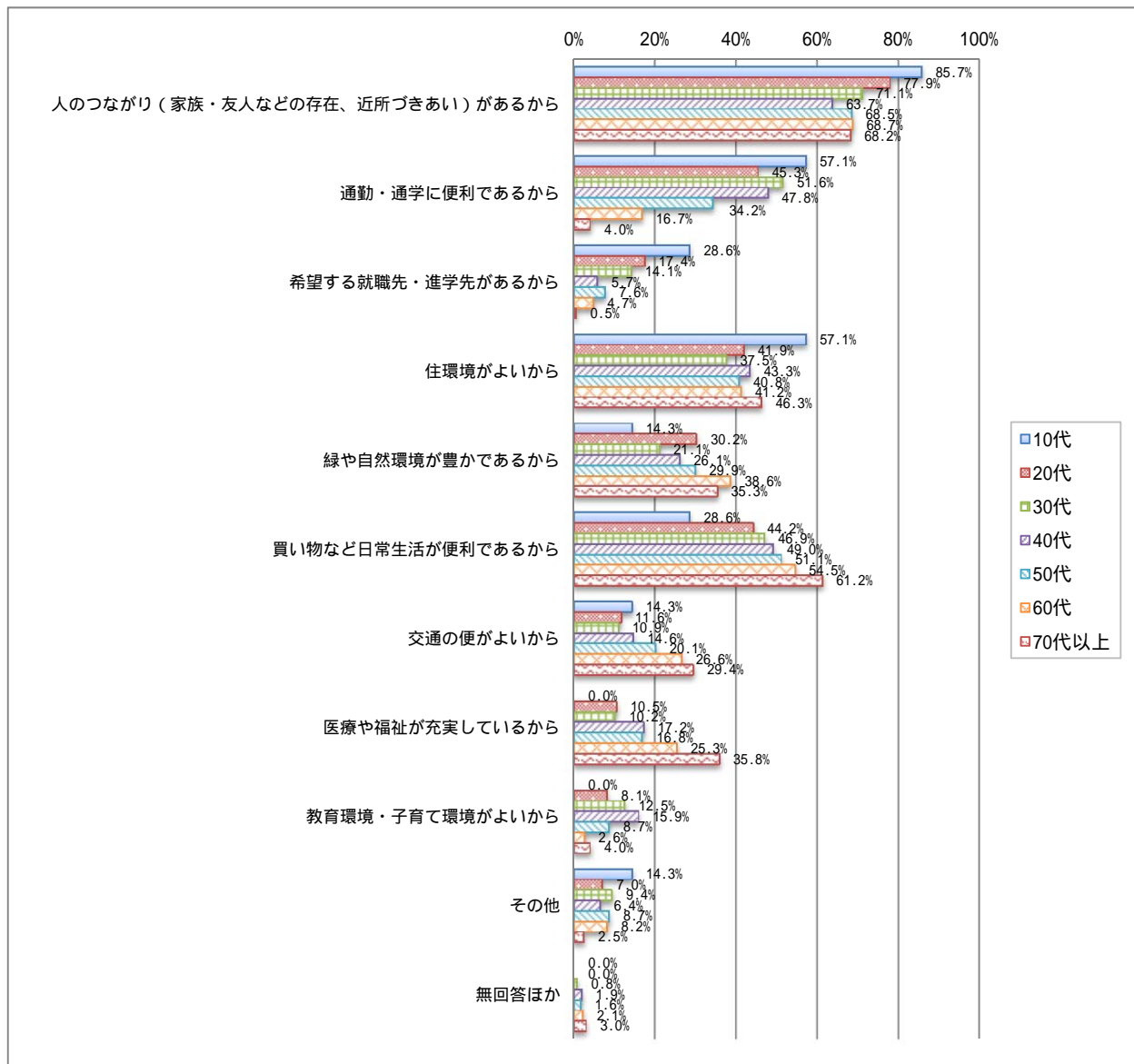
「その他」の自由記入欄には、66件の回答があった。(その他を選択した66人のうち63人、その他を未選択の3人が記入。)このうち、「家があるから」が15件と最も多く、「住み慣れているから」が7件、「他に移る積極的な理由がない」が7件、「地元だから・生まれ育ったところだから」が6件などであった。

徳島に住み続けたい理由について、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

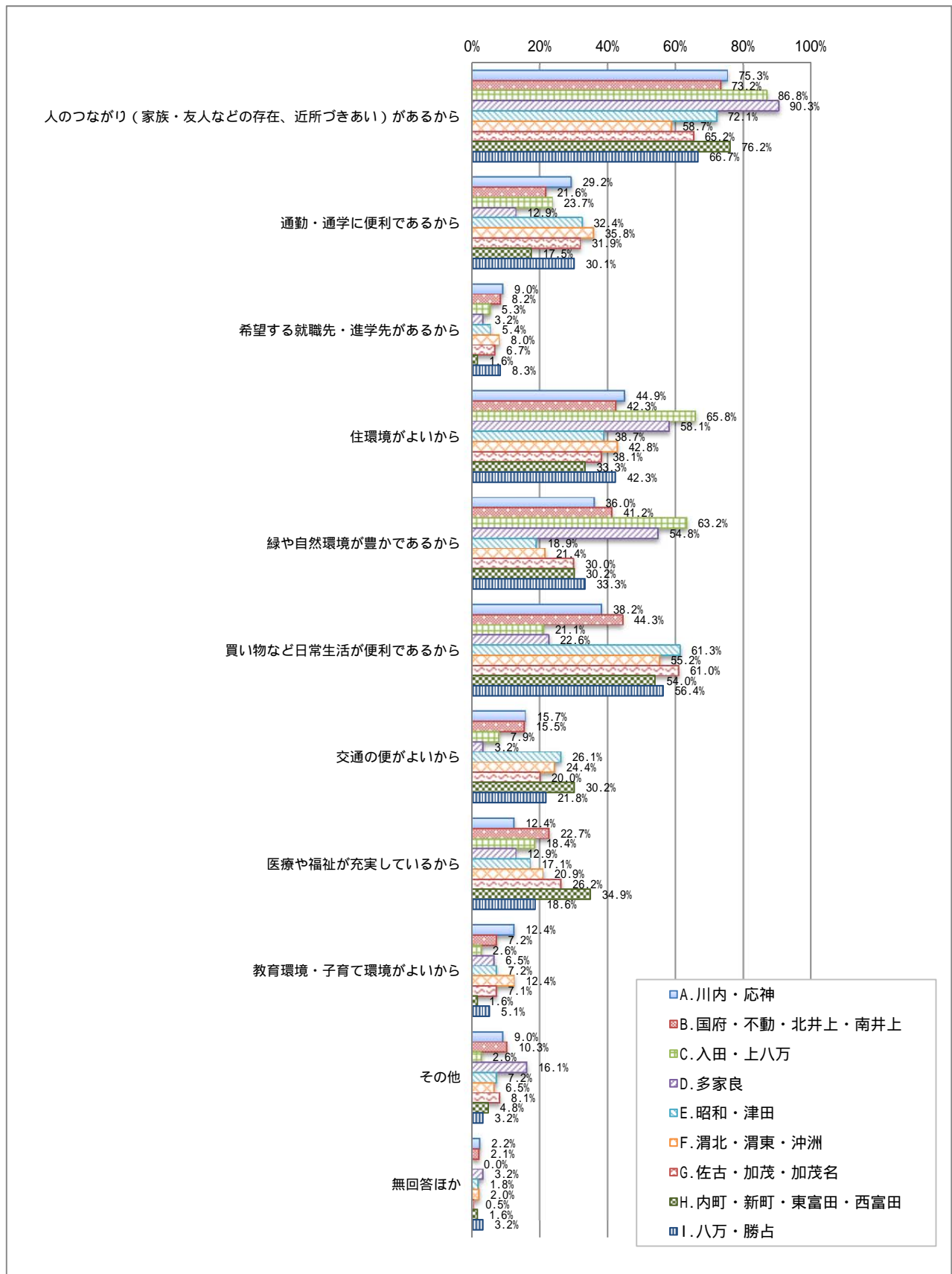
【男女別】



【年代別】

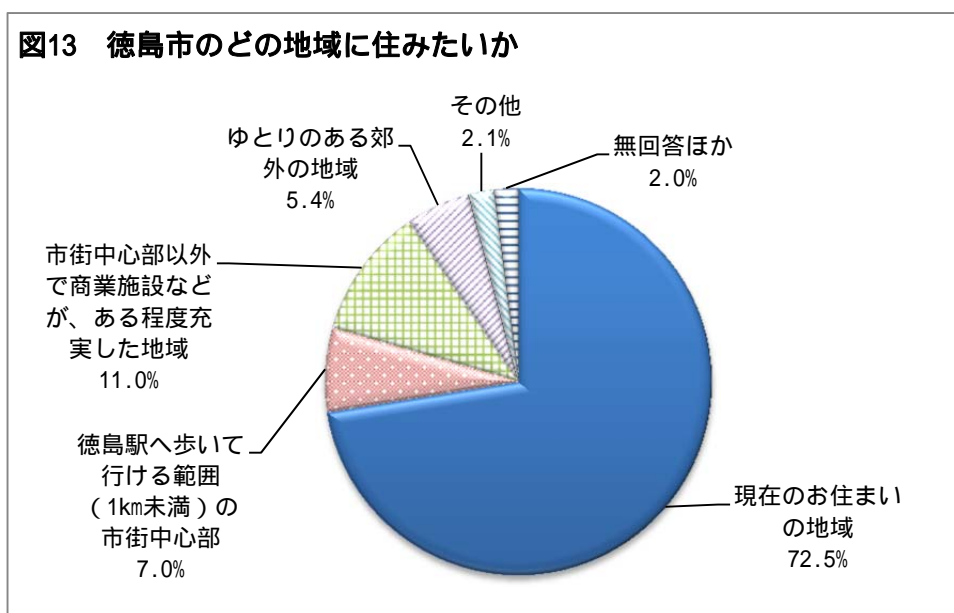


【地区別】



(5) 今後も徳島市に住み続けるとしたら、どの地域に住みたいですか。(前記(3)で、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」に回答した場合のみ回答)

住み続けたい地域について、「現在のお住まいの地域」が最も多く(72.5%)、次いで、「市街中心部以外で商業施設などが、ある程度充実した地域」(11.0%)となっている。

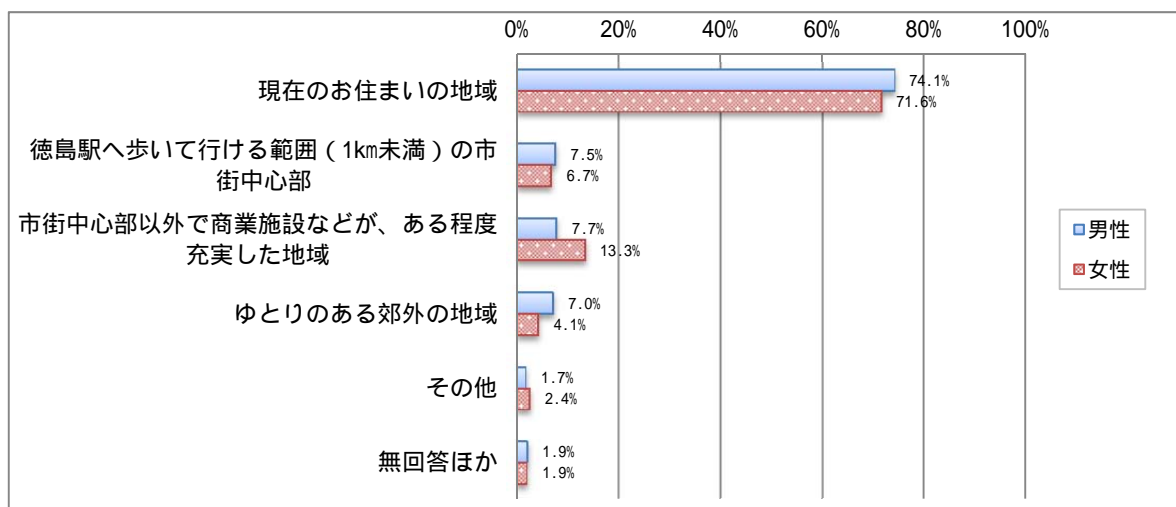


	人数	構成比
現在のお住まいの地域	724	72.5%
徳島駅へ歩いて行ける範囲(1km未満)の市街中心部	70	7.0%
市街中心部以外で商業施設などが、ある程度充実した地域	110	11.0%
ゆとりのある郊外の地域	54	5.4%
その他	21	2.1%
有効回答数	979	98.0%
無回答ほか	20	2.0%
総回答数	999	100.0%

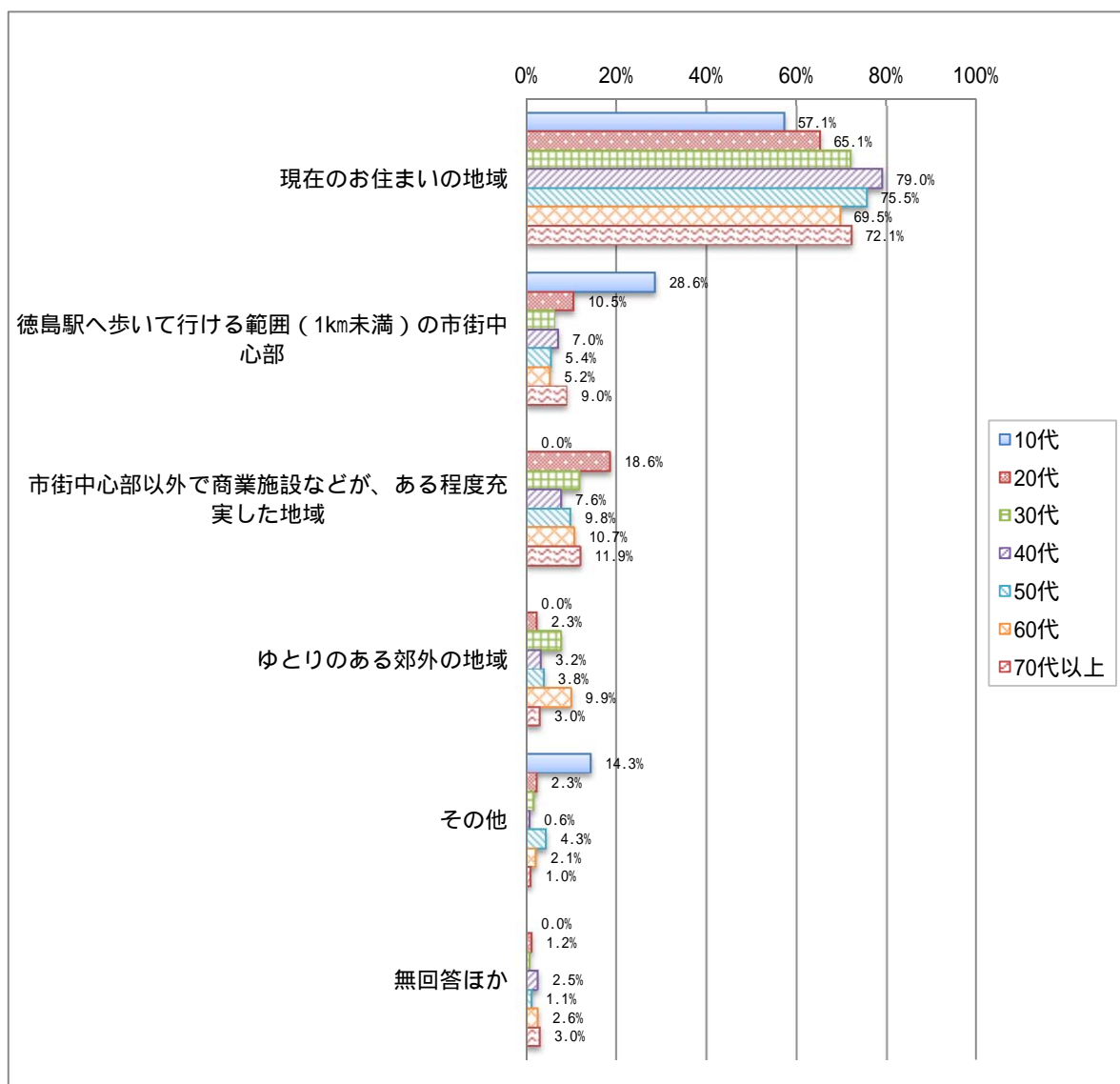
「その他」の自由記入欄には、24件の回答があった。(その他を選択した21人のうち19人、その他を未選択の5人が記入。)このうち、「津波の心配がないところ」4件、「災害対策が充実した地域」2件、「高台」2件など、特に津波災害を考慮した回答が多かった。その他、「病院に通いやすいところ」3件、「自然環境の良い所」2件、「買物が便利なところ」2件などがあった。(注意:「その他」の自由記入欄に複数の記入があった場合、分類してそれぞれに計上した。)

住み続けたい地域について、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

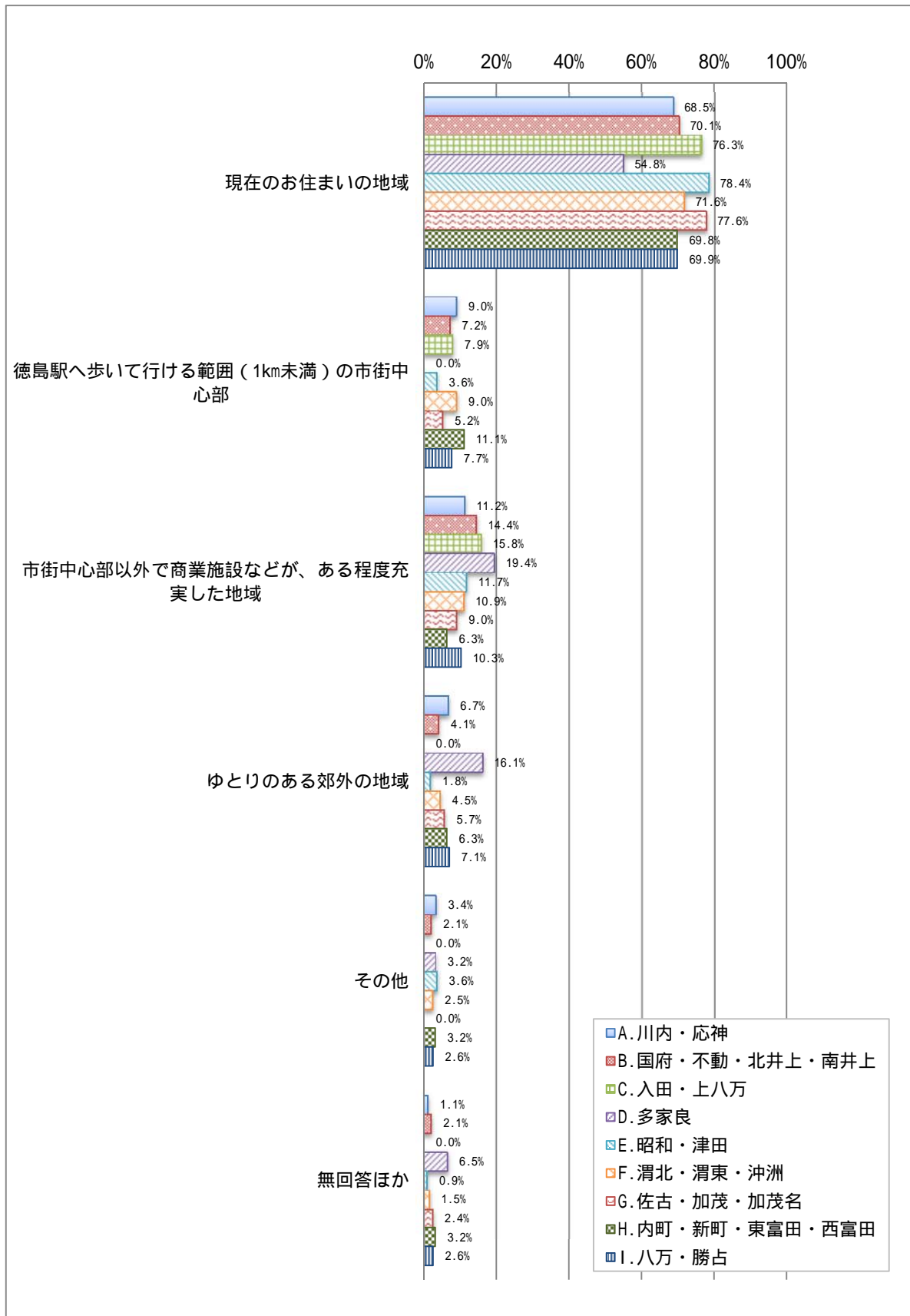
【男女別】



【年代別】



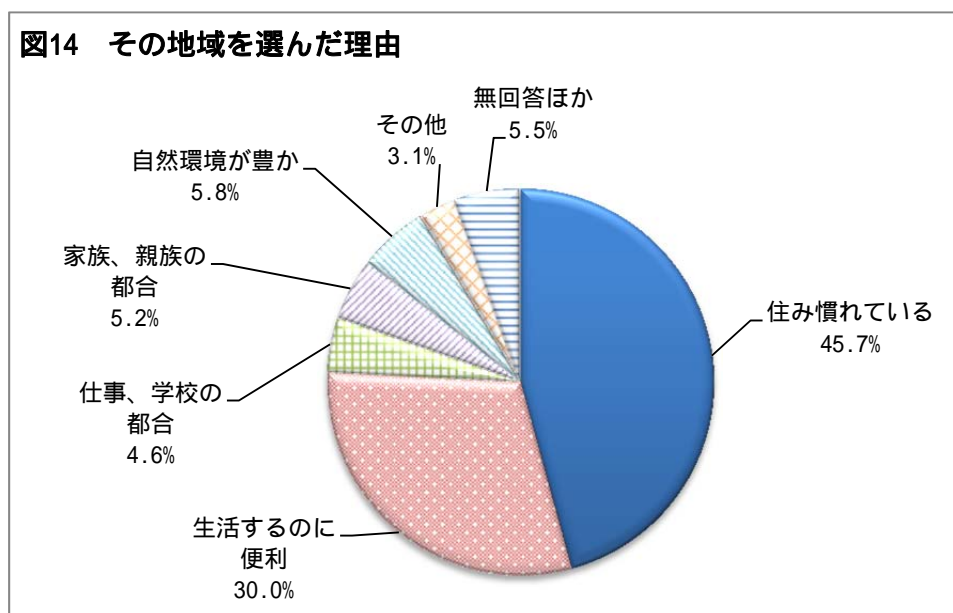
【地区別】



(6)なぜ、その地域を選びましたか。(前記(3)で、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「どちらともいえない」に回答した場合のみ回答)

前記の問(5)で、住み続けたい地域を選んだ理由について、「住み慣れている」が最も多く(45.7%)、次いで、「生活するのが便利」(30.0%)となっている。

図14 その地域を選んだ理由

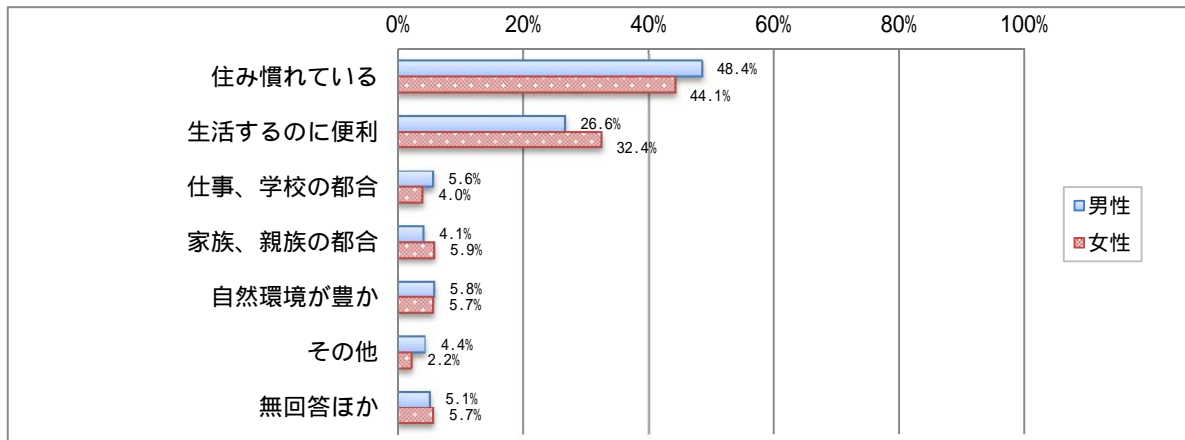


	人数	構成比
住み慣れている	457	45.7%
生活するのが便利	300	30.0%
仕事、学校の都合	46	4.6%
家族、親族の都合	52	5.2%
自然環境が豊か	58	5.8%
その他	31	3.1%
有効回答数	944	94.5%
無回答ほか	55	5.5%
総回答数	999	100.0%

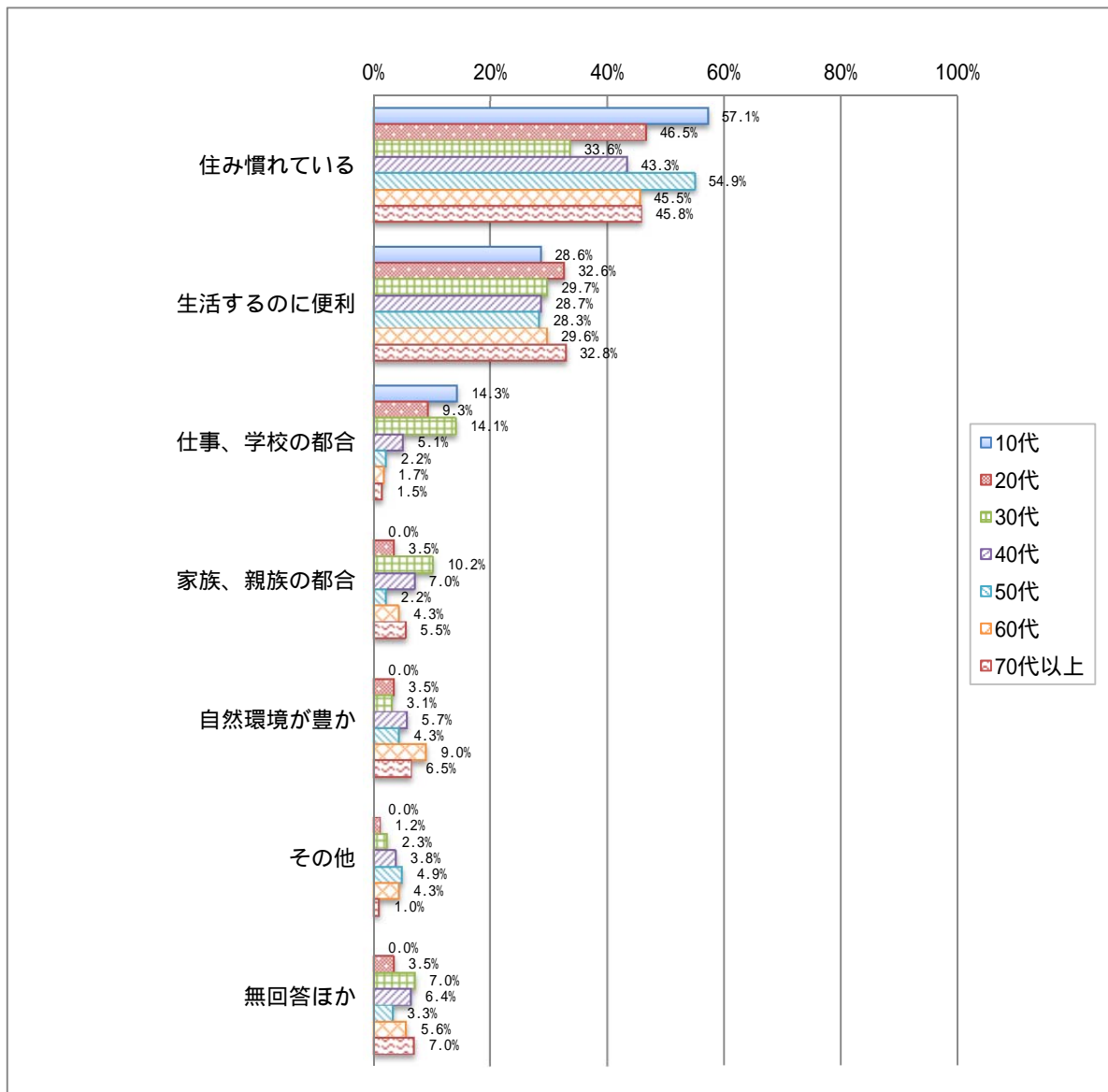
「その他」の自由記入欄には、32件の回答があった。(その他を選択した31人のうち28人、その他を未選択の4人が記入。)このうち、最も多かったのは「家・土地があるから」の13件であるが、次いで、「津波や地震等、防災面」に関するものが6件と多かった。

住み続けたい地域を選んだ理由について、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

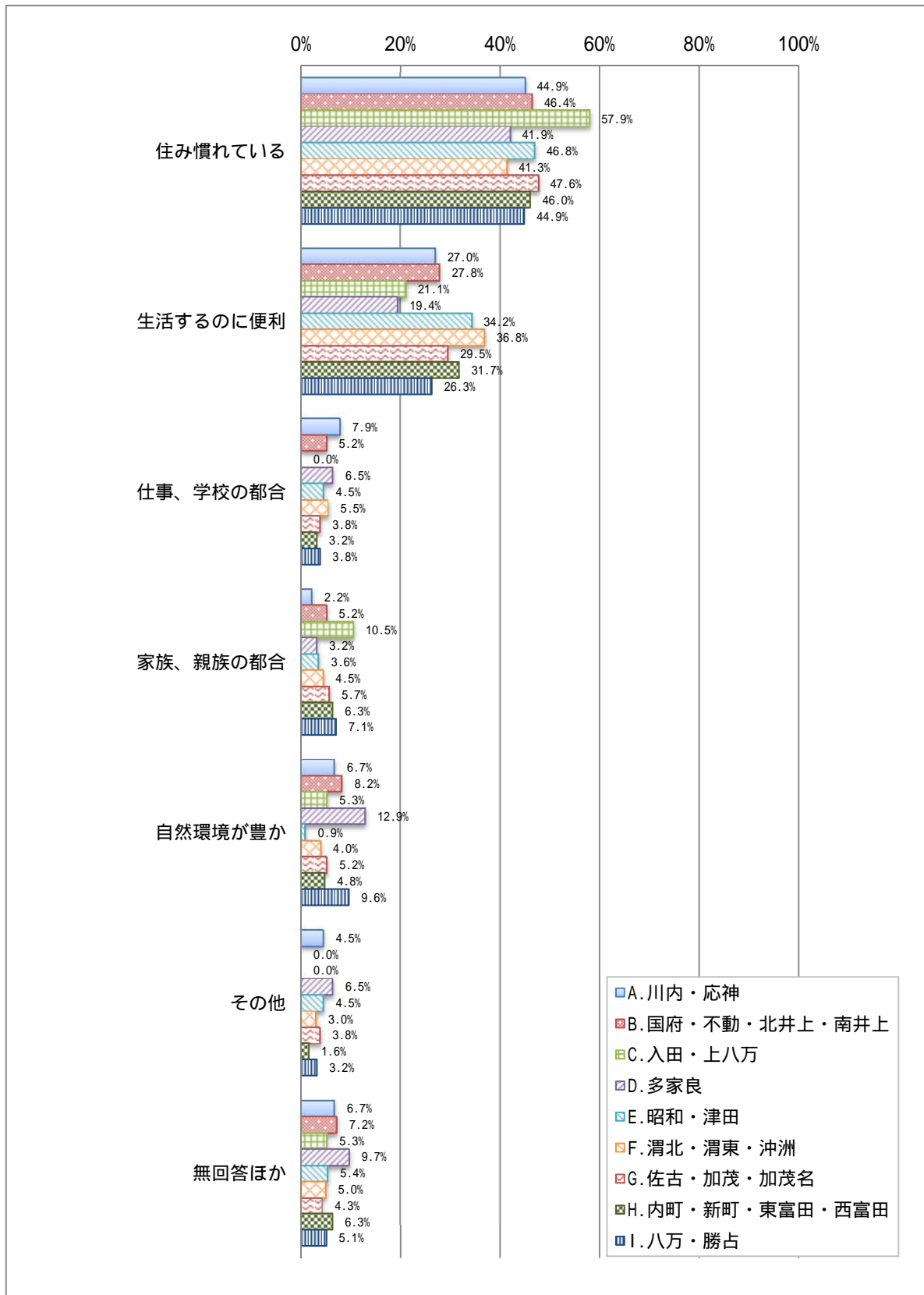
【男女別】



【年代別】

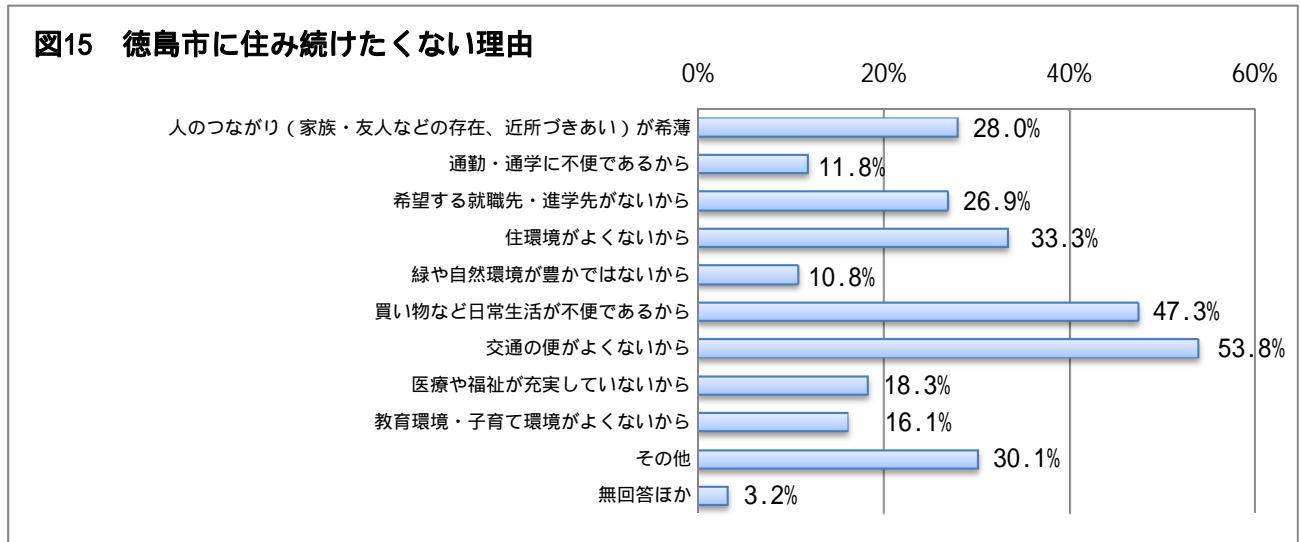


【地区別】



(7) 徳島に住み続けたくない理由を3つ選択してください。(前記(3)で、「他の市町村に移りたい」、「どちらかといえば他の市町村に移りたい」に回答した場合のみ回答)

徳島市に住み続けたくない理由について、「交通の便がよくないから」が最も多く(53.8%)、次いで、「買い物など日常生活が不便であるから」(47.3%)、「住環境がよくないから」(33.3%)となっている。

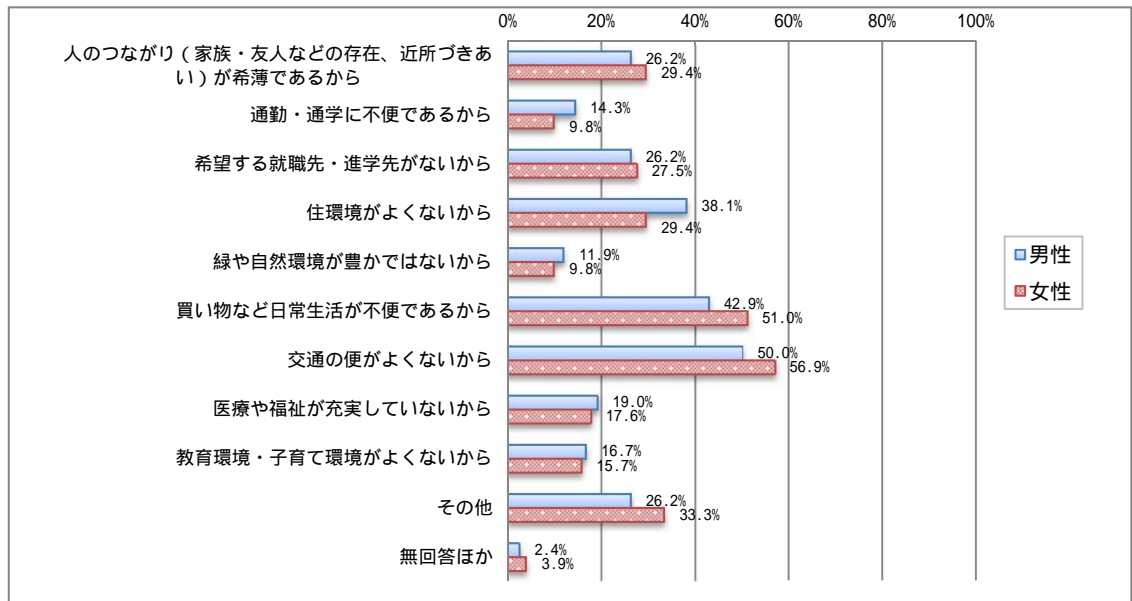


	人数	構成比
人のつながり(家族・友人などの存在、近所づきあい)が希薄であるから	26	28.0%
通勤・通学に不便であるから	11	11.8%
希望する就職先・進学先がないから	25	26.9%
住環境がよくないから	31	33.3%
緑や自然環境が豊かではないから	10	10.8%
買い物など日常生活が不便であるから	44	47.3%
交通の便がよくないから	50	53.8%
医療や福祉が充実していないから	17	18.3%
教育環境・子育て環境がよくないから	15	16.1%
その他	28	30.1%
無回答ほか (3つのうち、1つも選択しなかった数)	3	3.2%
総回答数((3)での「住み続けたくない」「どちらかといえば住み続けたくない」の回答者数)	93	

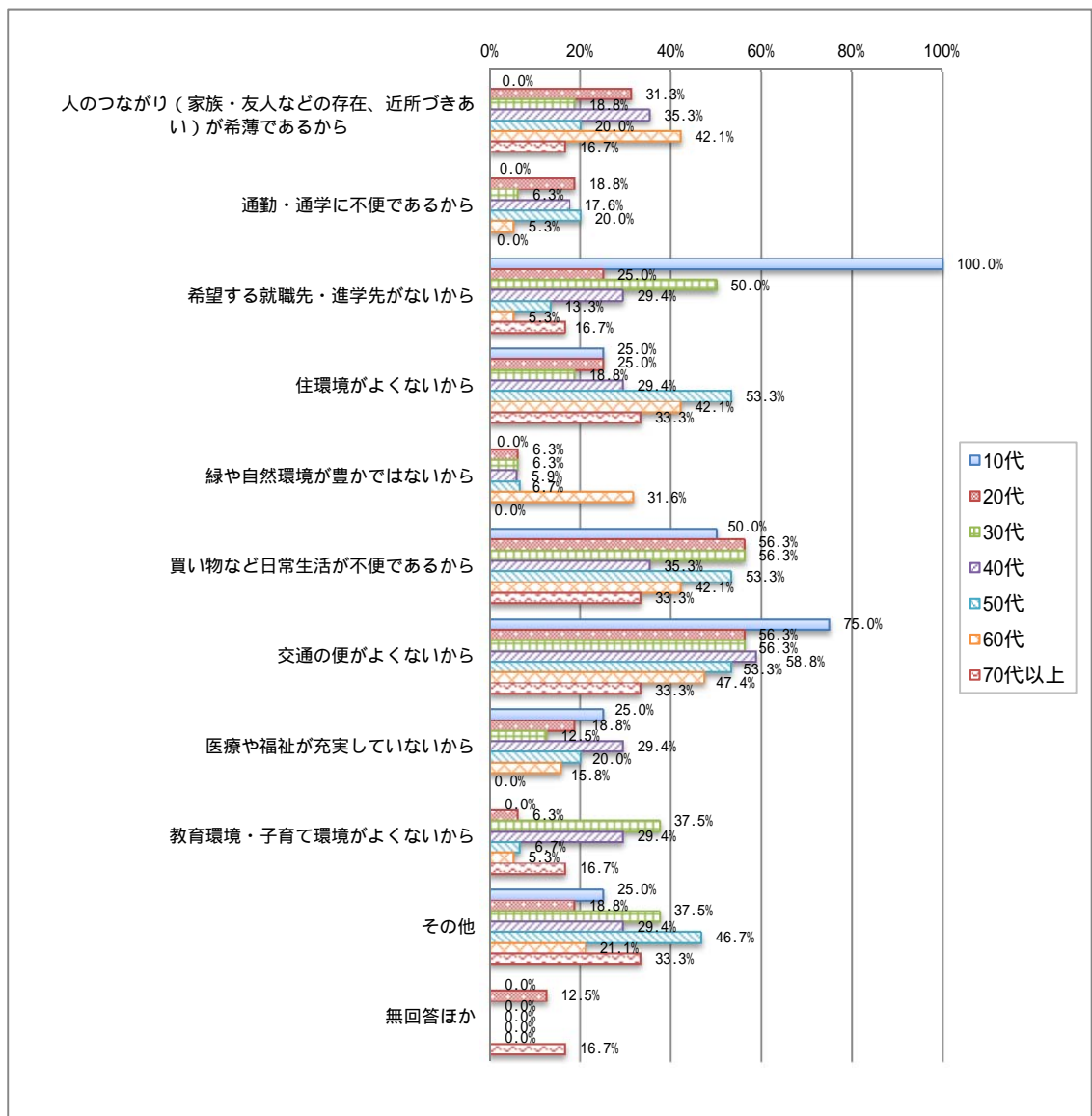
「その他」の自由記入欄には、29件の回答があった。(その他を選択した28人、その他を未選択の1人が記入。)このうち、「津波や地震等、防災面での不安」が6件と最も多く、「レジャー施設やショッピングセンター、遊ぶ場所がない」などが4件、「公共マナー・交通マナーの悪さ」が3件、「行政に対しての不満」に関するものが3件、「税金が高い」が2件などであった。

徳島市に引き続きたくない理由について、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

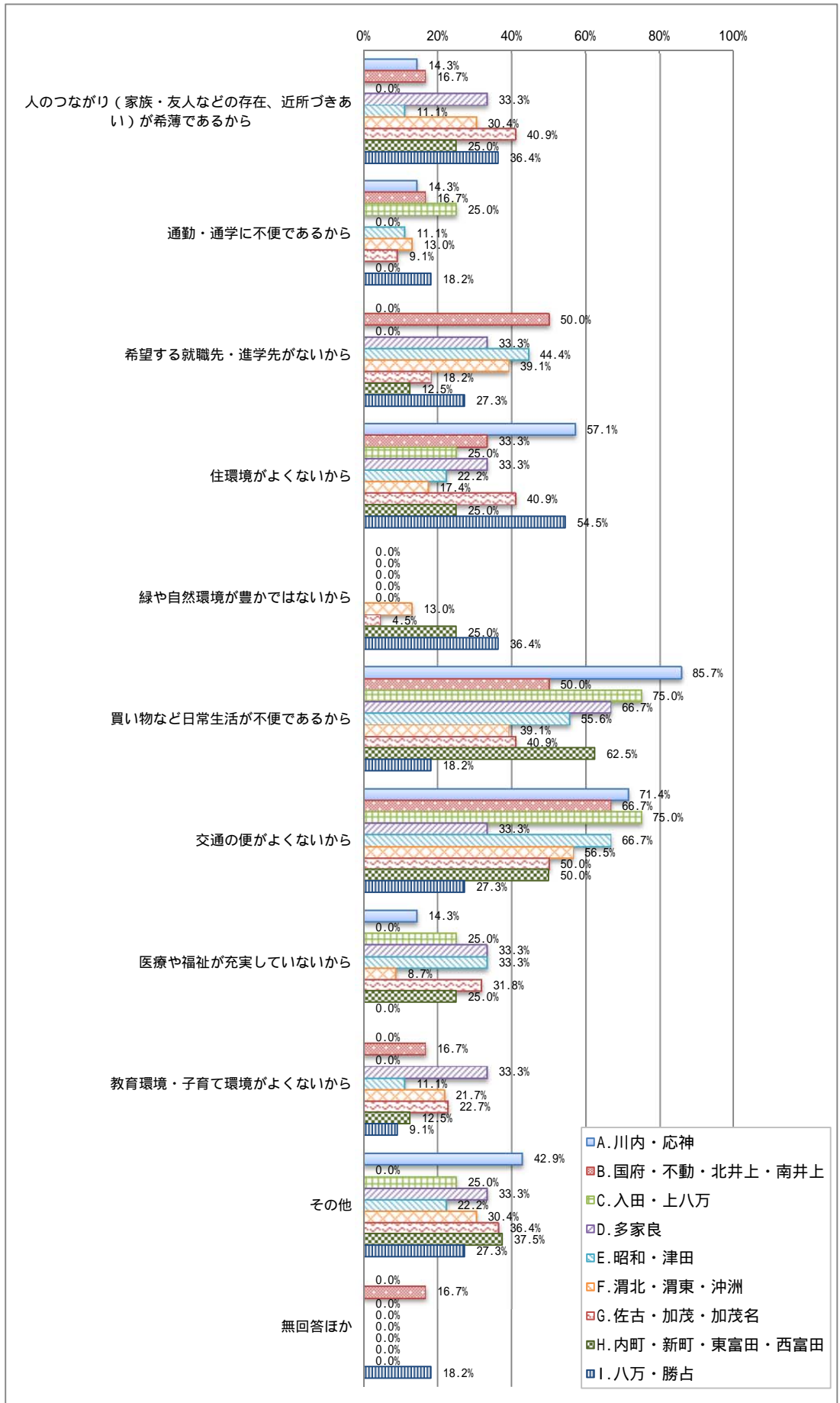
【男女別】



【年代別】



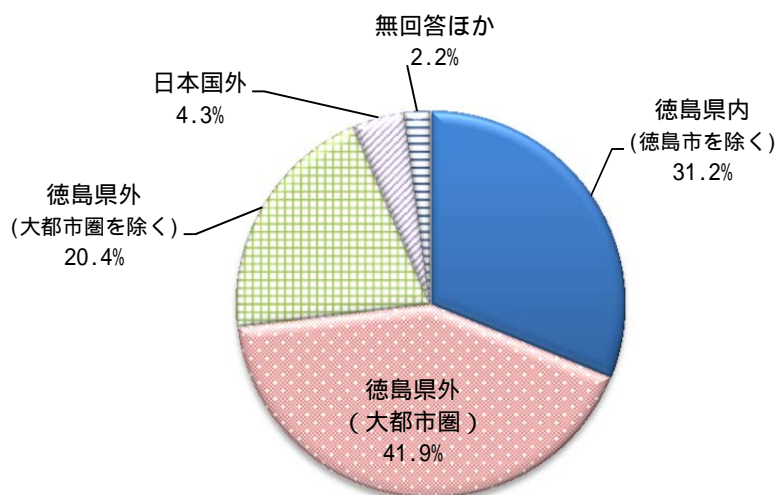
【地区別】



(8) 今後、徳島市以外で住むとしたら、どんなところに住みたいですか。(前記(3)で、「他の市町村に移りたい」、「どちらかといえば他の市町村に移りたい」に回答した場合のみ回答)

徳島市以外で住みたいところについて、「徳島県外(大都市圏)」が最も多く(41.9%)、次いで、「徳島県内(徳島市を除く)」(31.2%)、「徳島県外(大都市圏を除く)」(20.4%)となっている。

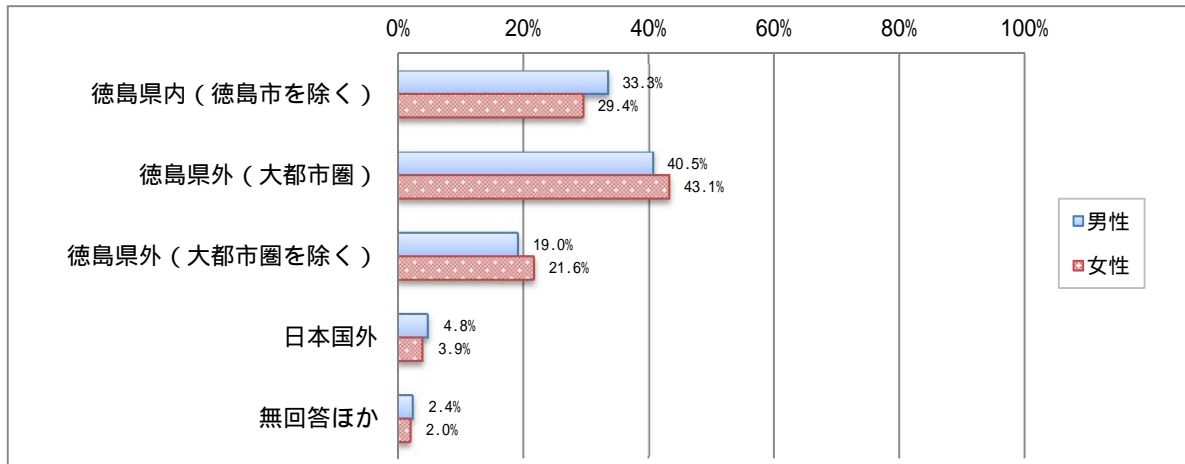
図16 徳島市外でどんなところに住みたいか



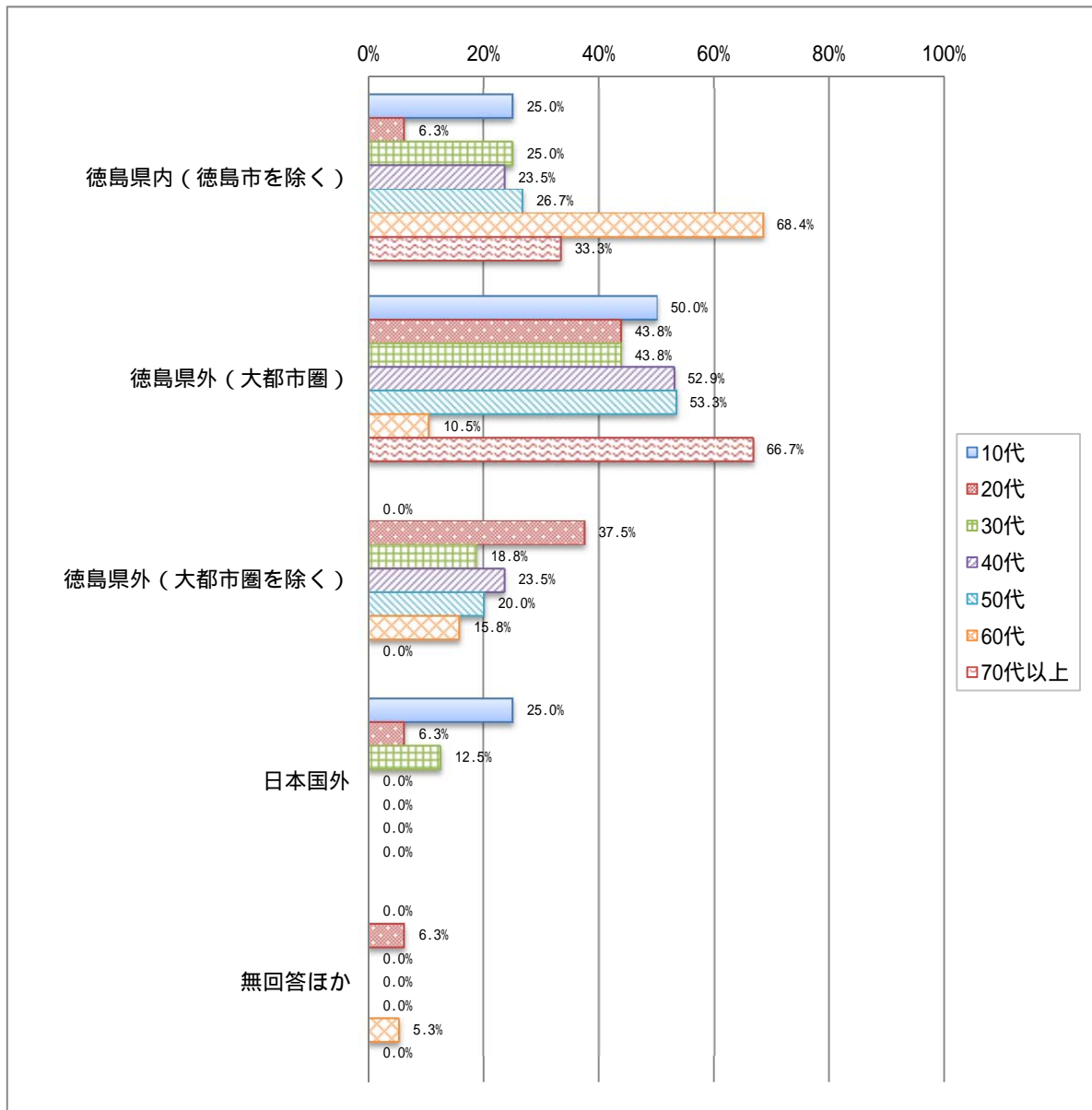
	人数	構成比
徳島県内(徳島市を除く)	29	31.2%
徳島県外(大都市圏)	39	41.9%
徳島県外(大都市圏を除く)	19	20.4%
日本国外	4	4.3%
有効回答数	91	97.8%
無回答ほか	2	2.2%
総回答数	93	100.0%

徳島市以外で住みたいところについて、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

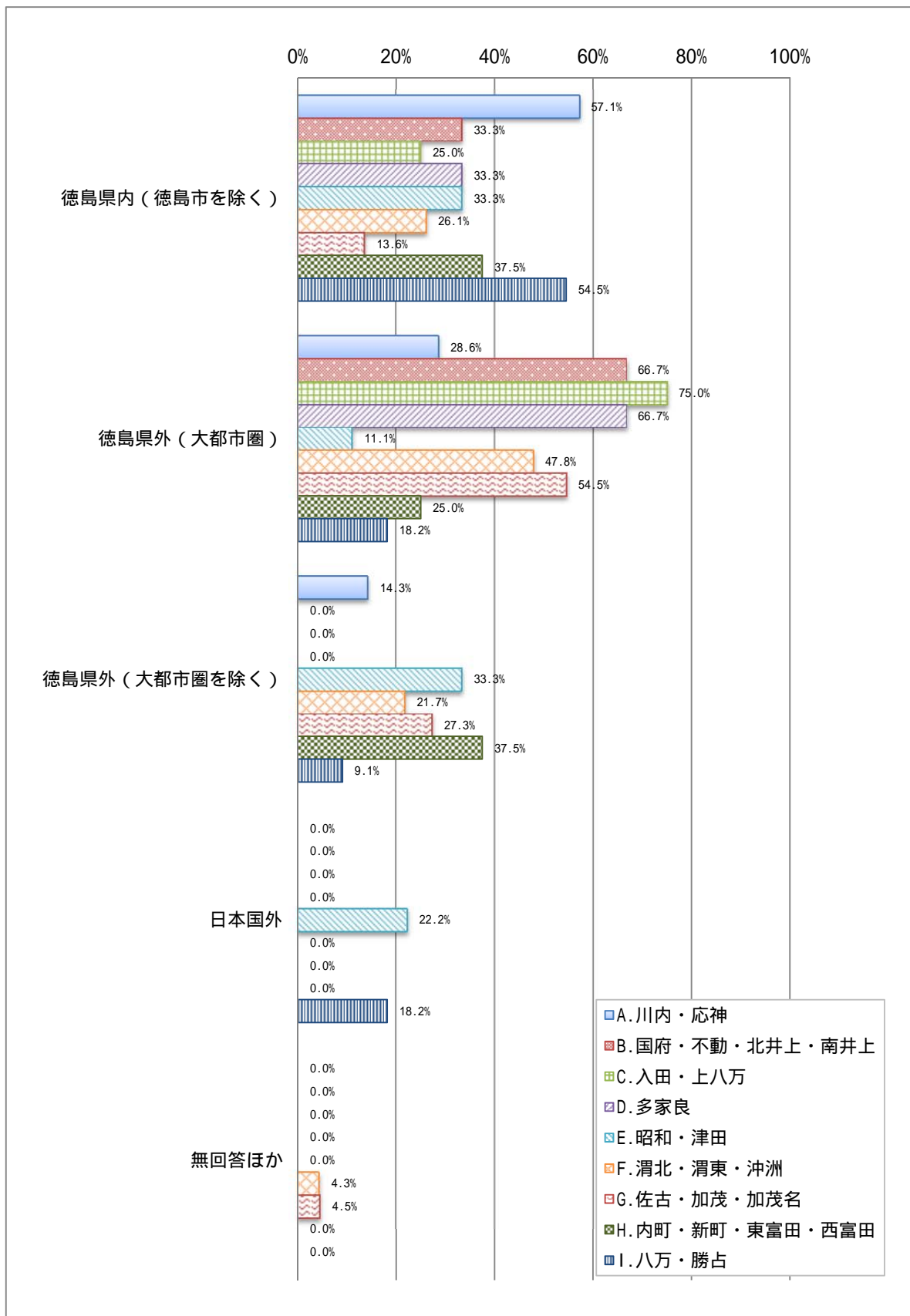
【男女別】



【年代別】



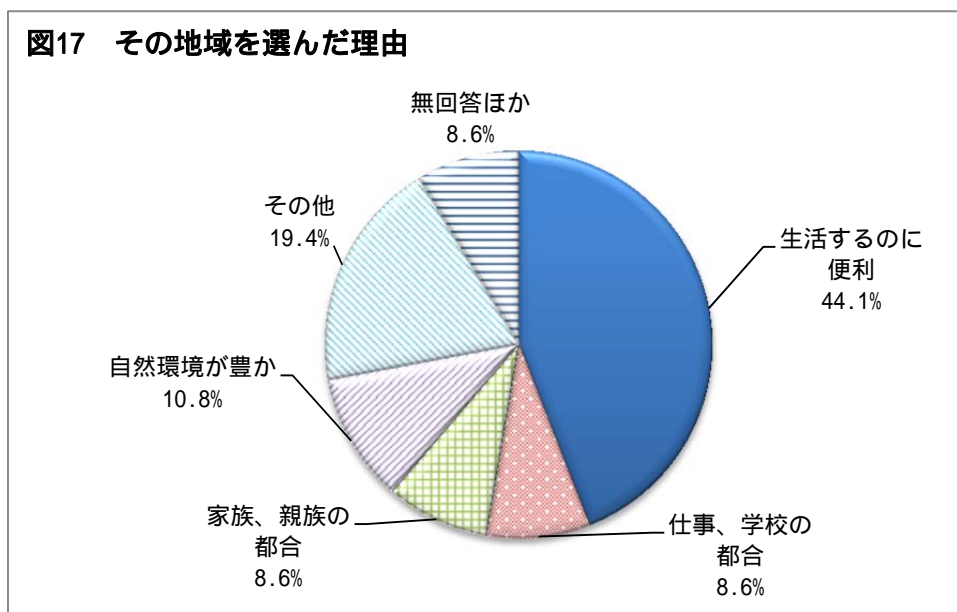
【地区別】



(9) なぜ、その地域を選びましたか。(前記(3)で、「他の市町村に移りたい」、「どちらかといえば他の市町村に移りたい」に回答した場合のみ回答)

前記の問(8)で、住みたい地域を選んだ理由について、「生活するのに便利」が最も多く(44.1%)、次いで、「その他」(19.4%)となっている。

図17 その地域を選んだ理由

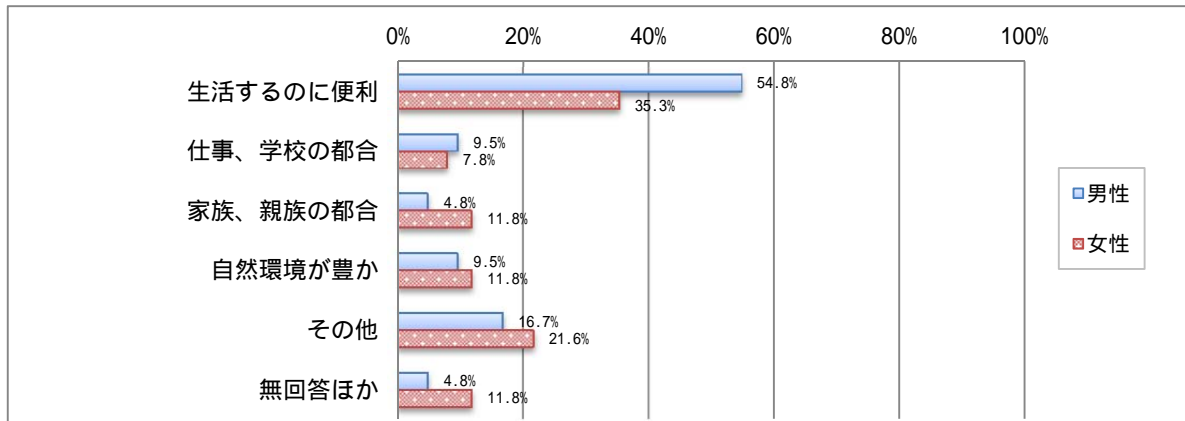


	人数	構成比
生活するのに便利	41	44.1%
仕事、学校の都合	8	8.6%
家族、親族の都合	8	8.6%
自然環境が豊か	10	10.8%
その他	18	19.4%
有効回答数	85	91.4%
無回答ほか	8	8.6%
総回答数	93	100.0%

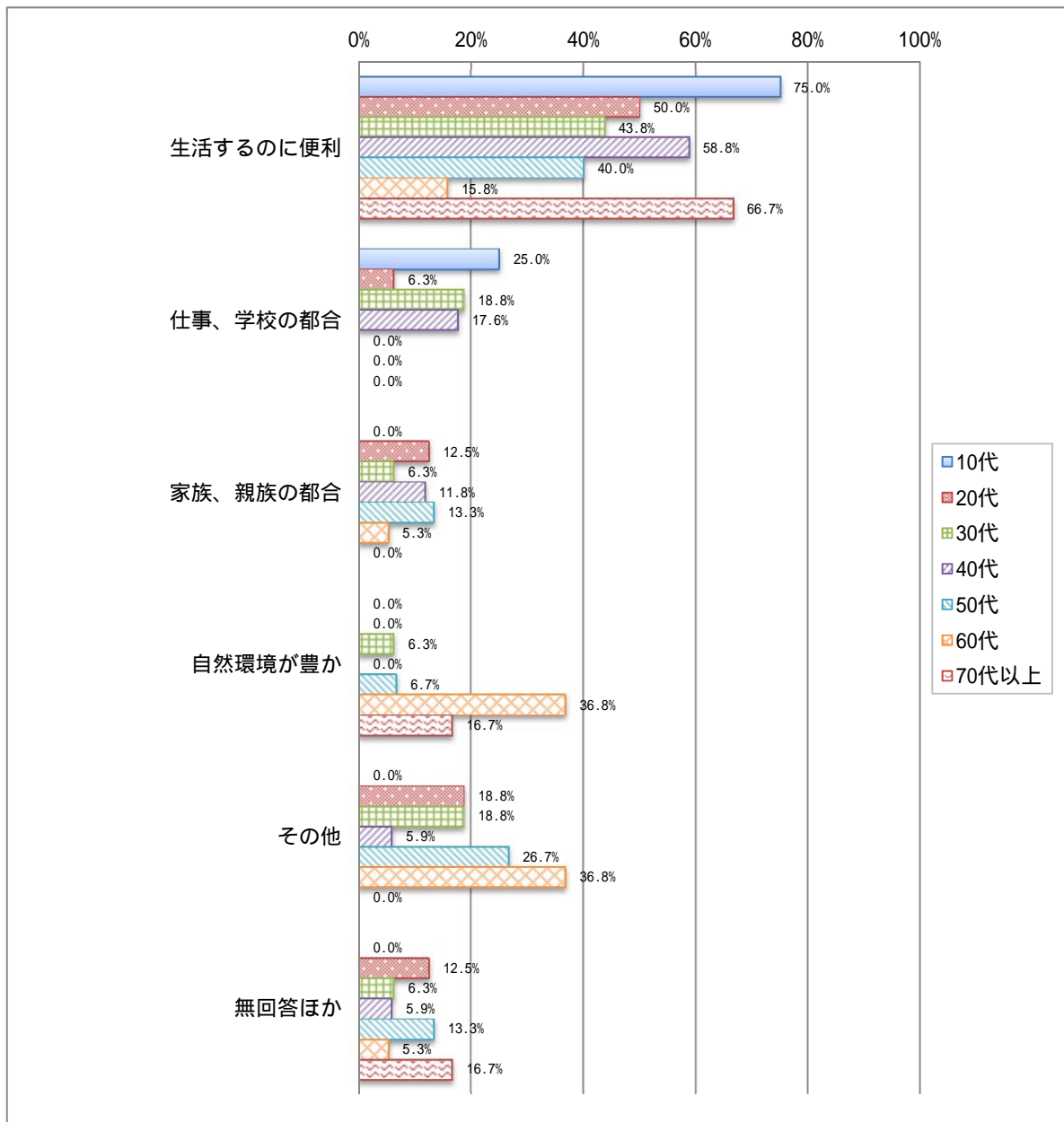
「その他」の自由記入欄には、30件の回答があった。(その他を選択した18人のうち17人、その他を未選択の13人が記入。)このうち、「津波や地震等、防災面での安心」が5件と最も多く、「郷里・以前に住んでいた」が4件、「税金面が低い」が2件などであった。

住みたい地域を選んだ理由について、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

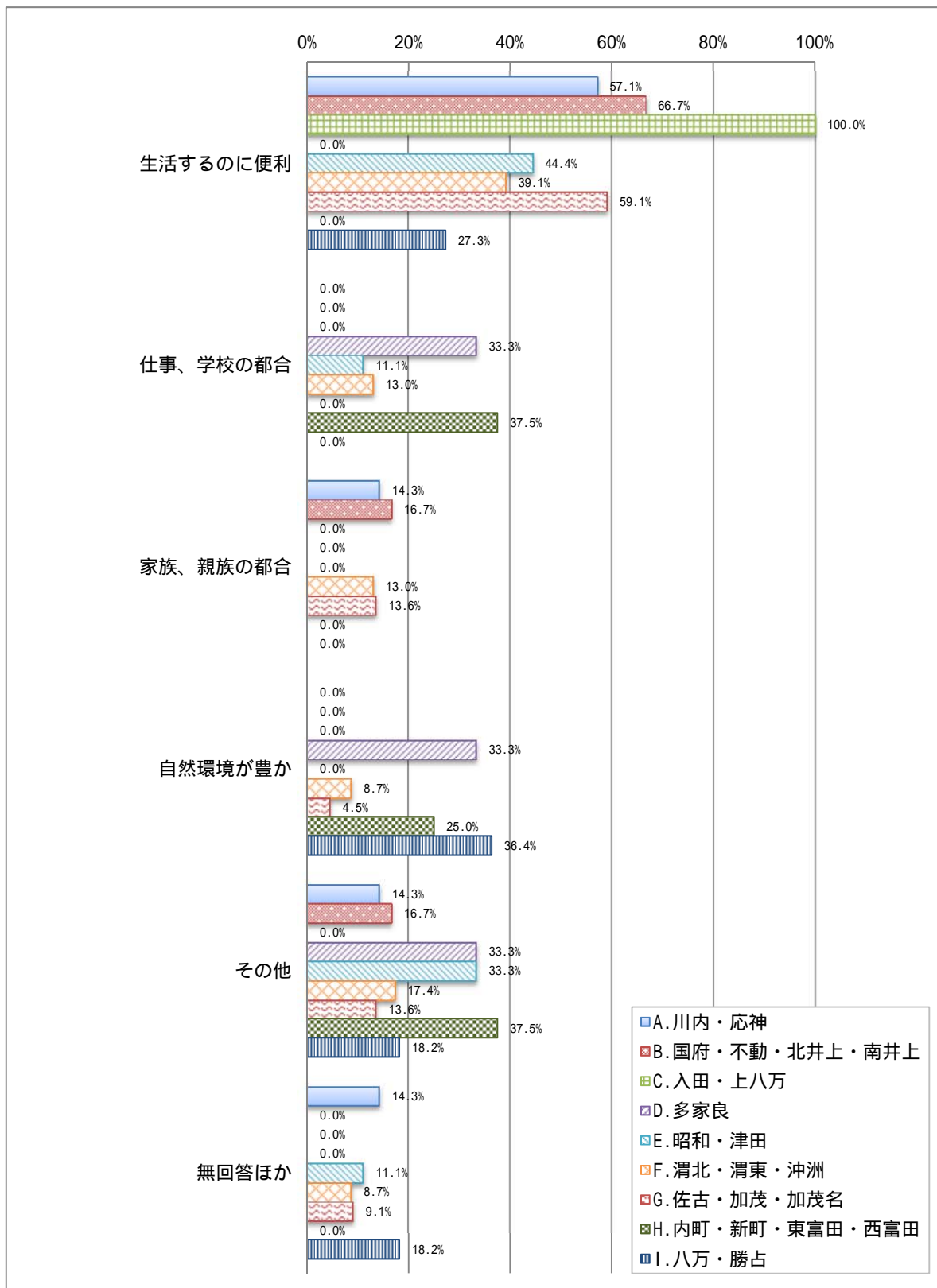
【男女別】



【年代別】



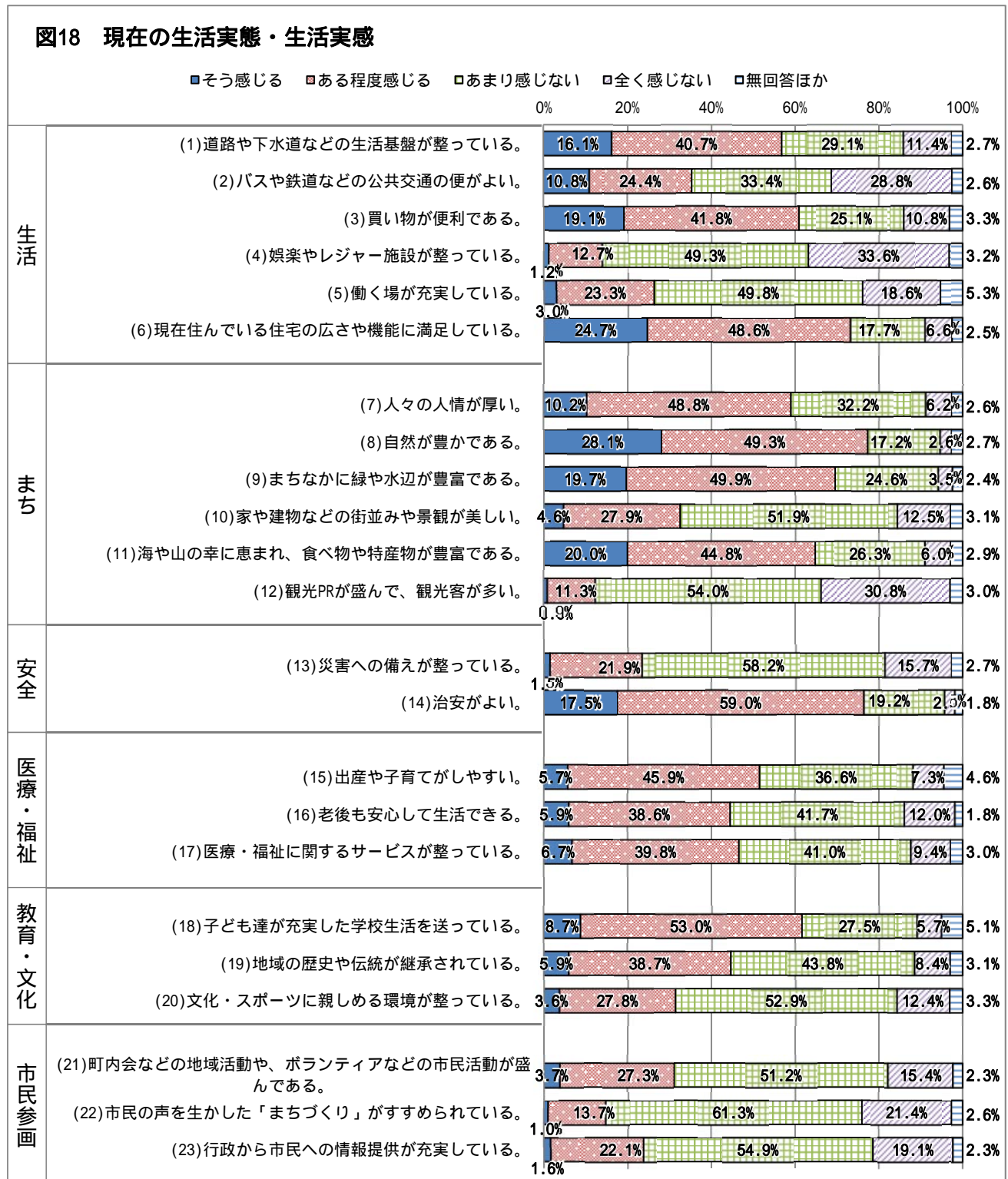
【地区別】



2-2 . 現在の生活実態・生活実感に対する意識

徳島市での現在の生活実態や生活実感について、生活、まち、安全、医療・福祉、教育・文化、市民参画の各分野の主な23項目について、実態と実感を「そう感じる」、「ある程度感じる」、「あまり感じない」、「全く感じない」の4つから回答を得た。

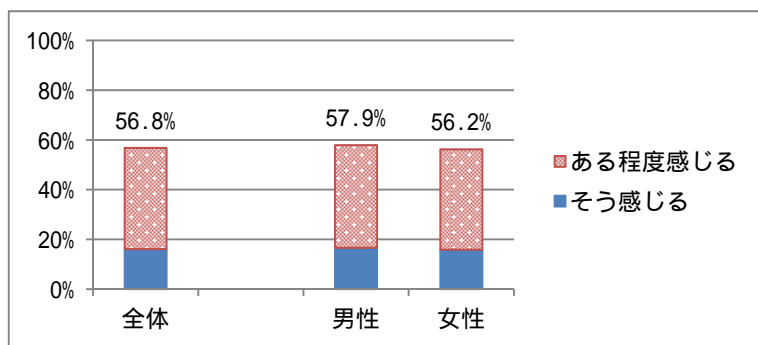
評価が最も高かったのは、「(8)自然が豊かである」(77.4%)、次いで「(14)治安がよい」(76.5%)と「(6)現在住んでいる住宅の広さや機能に満足している」(73.3%)となっている。(「そう感じる」、「ある程度感じる」の合計。以下同様。)



各項目別集計・クロス集計（男女別・年代別・地区別）

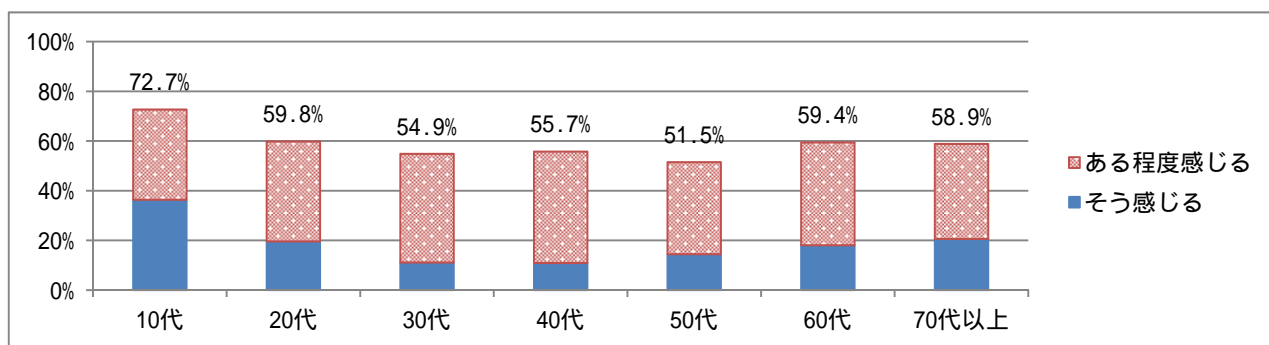
「(1)道路や下水道などの生活基盤が整っている。」と感じている市民の割合（「そう感じる」、「ある程度感じる」の合計。以下同様。）は、56.8%となっている。

【全体・男女別】



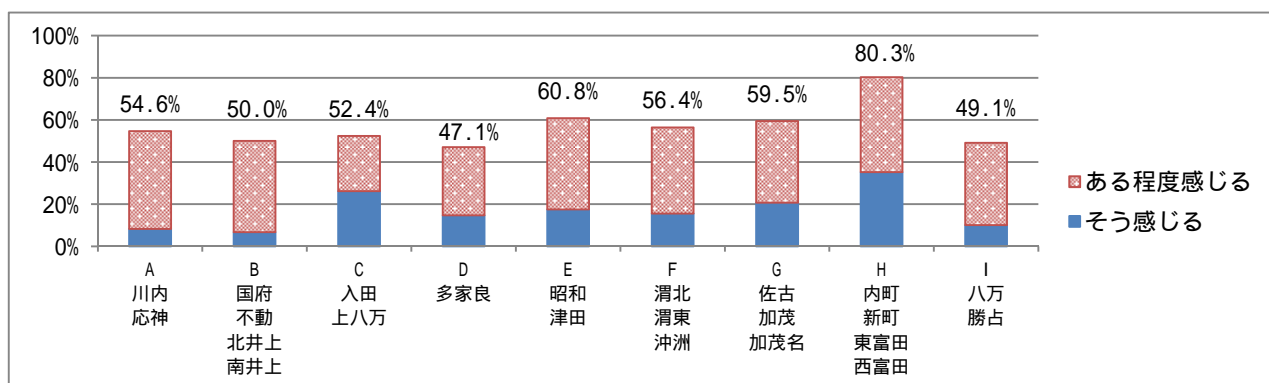
男女別では、大きな差はみられない。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（72.7%）、50代が最も低く（51.5%）になっているが、顕著な傾向はみられない。

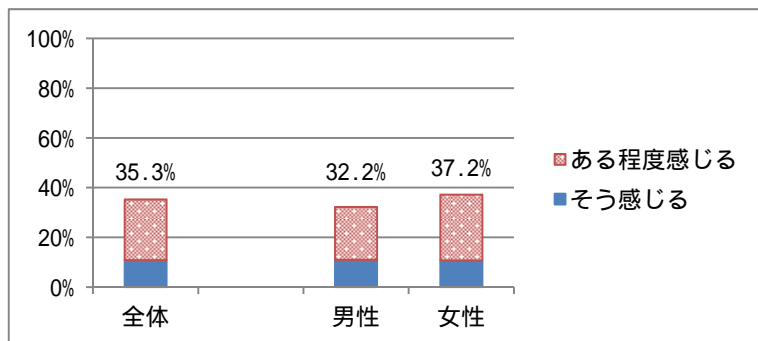
【地区別】



地区別では、最も高いのはH（80.3%）、最も低いのはD（47.1%）、次いで、I（49.1%）で、地区によって顕著な違いがみられる。

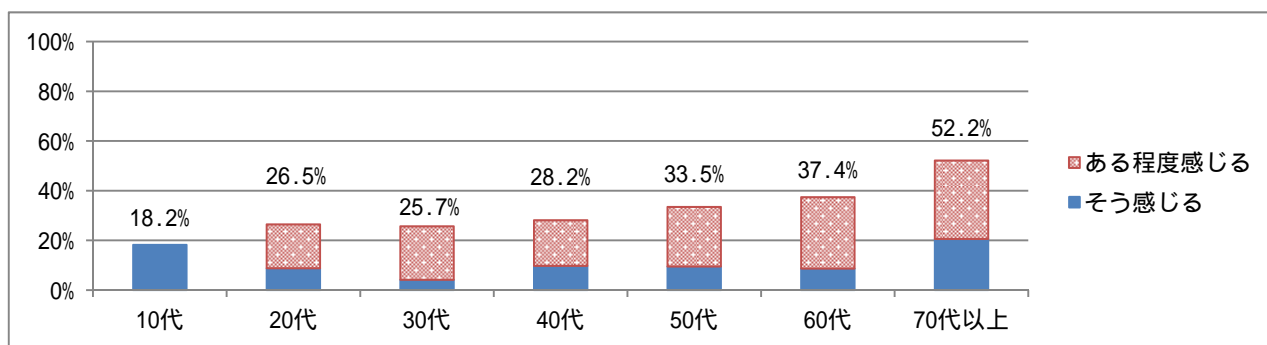
「(2)バスや鉄道などの公共交通の便がよい。」と感じている市民の割合は、35.3%となっている。

【全体・男女別】



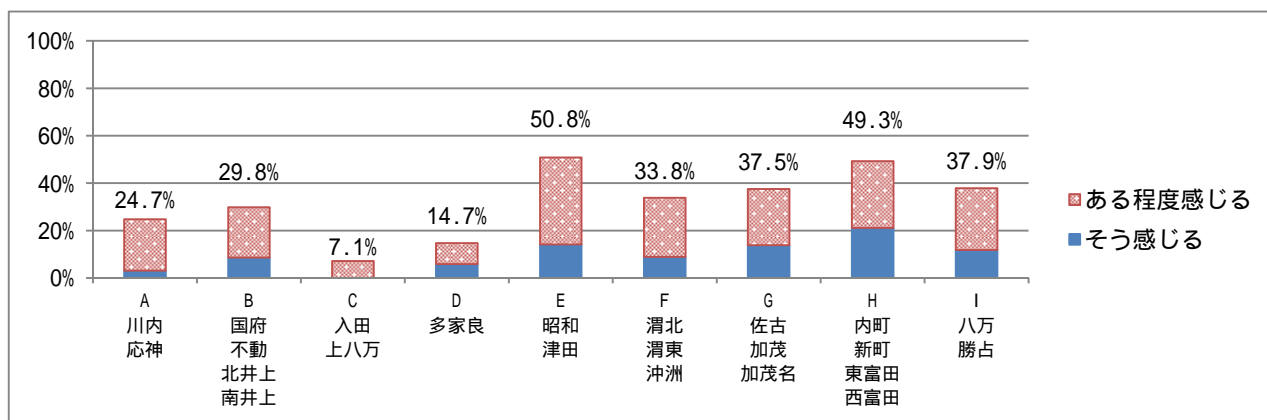
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、年代が上がるにつれて、交通の便がよいと感じている人の割合が高くなる傾向がみられ、公共交通機関の利用が多いとみられる70代が最も高く（52.2%）になっている。

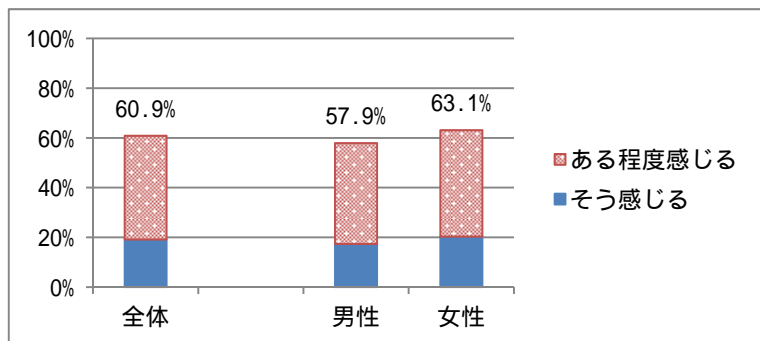
【地区別】



地区別では、最も高いのは E（50.8%）、次いで、H（49.3%）で、最も低いのは C（7.1%）、次いで、D（14.7%）となっており、地区によって顕著な違いがみられる。

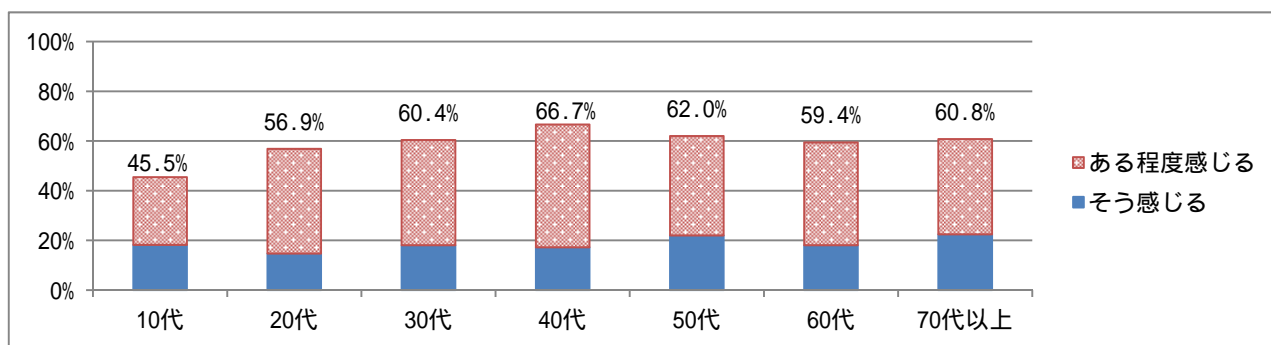
「(3)買い物が便利である。」と感じている市民の割合は、60.9%となっている。

【全体・男女別】



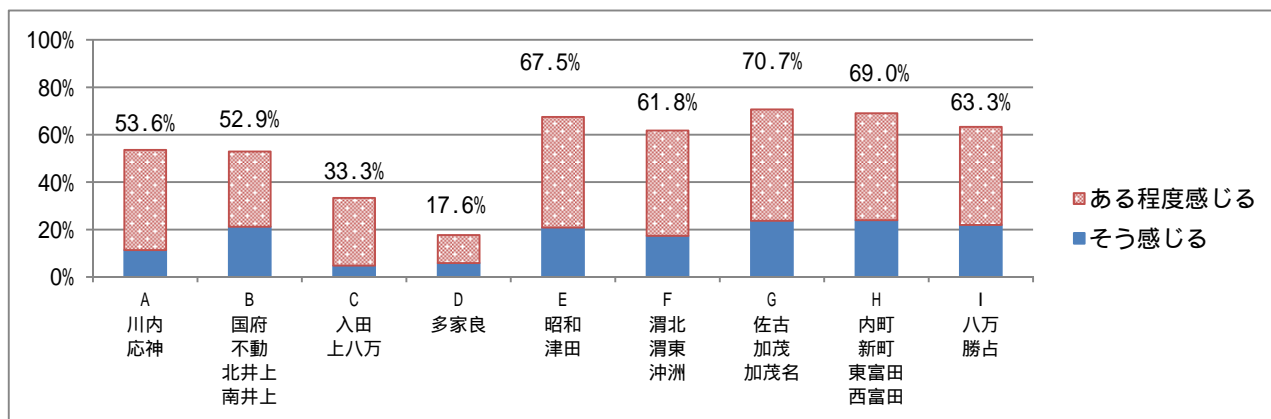
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、40代が最も高く（66.7%）、10代が最も低く（45.5%）となっている。

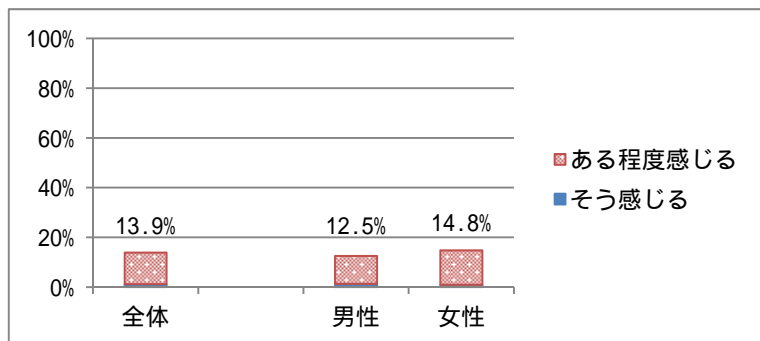
【地区別】



地区別では、最も高いのはG（70.7%）、次いで、H（69.0%）、E（67.5%）で、最も低いのはD（17.6%）、次いで、C（33.3%）となっており、地区によって顕著な違いがみられる。

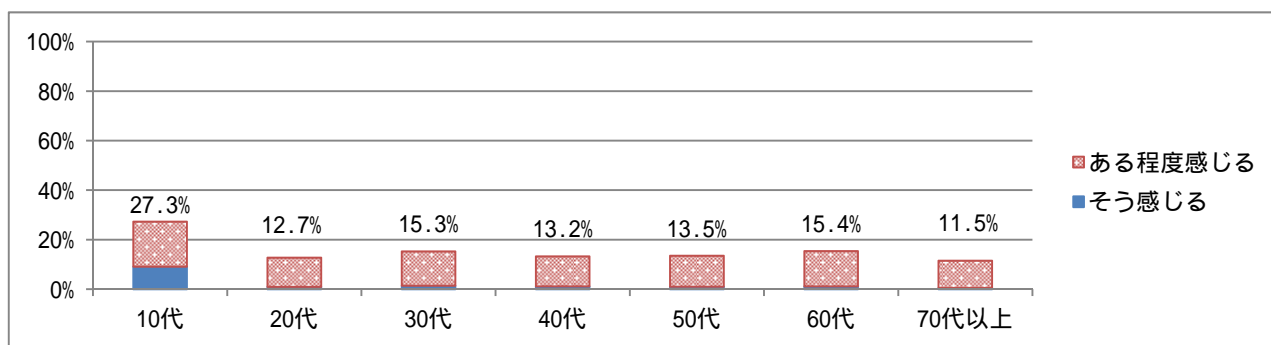
「(4)娯楽やレジャー施設が整っている。」と感じている市民の割合は、13.9%となっている。

【全体・男女別】



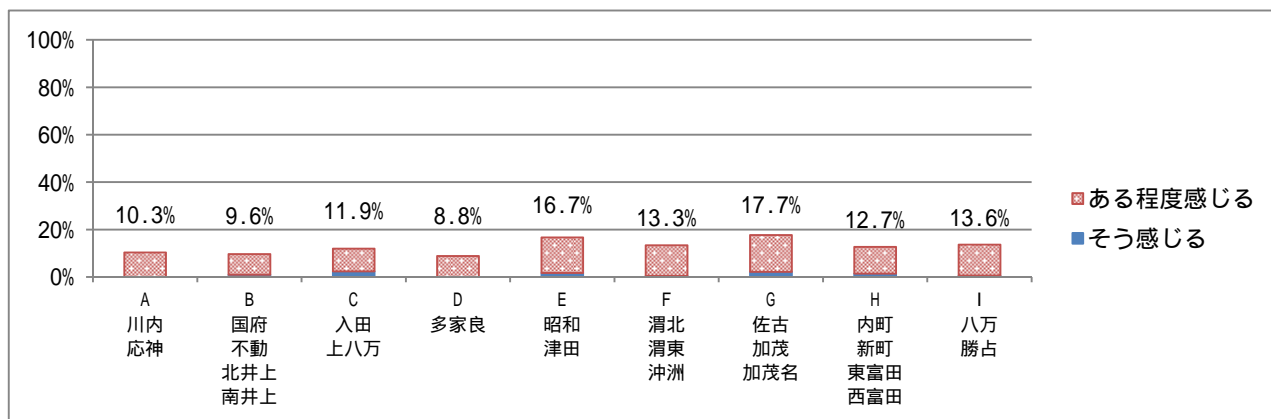
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（27.3%）、70代以上が最も低く（11.5%）になっている。

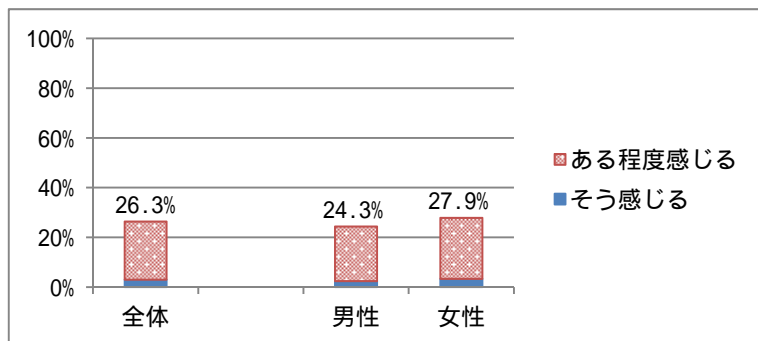
【地区別】



地区別では、最も高いのは G（17.7%）で、次いで、E（16.7%）で、最も低いのは D（8.8%）、次いで、B（9.6%）となっている。

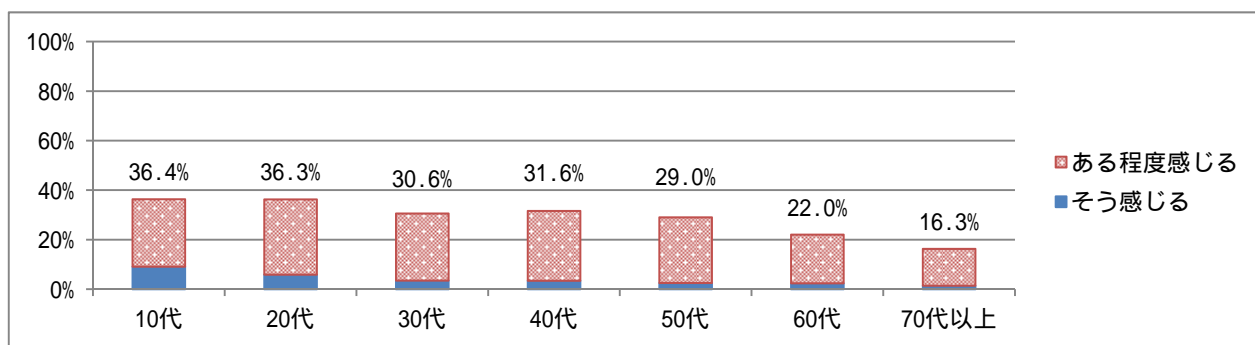
「(5)働く場が充実している。」と感じている市民の割合は、26.3%となっている。

【全体・男女別】



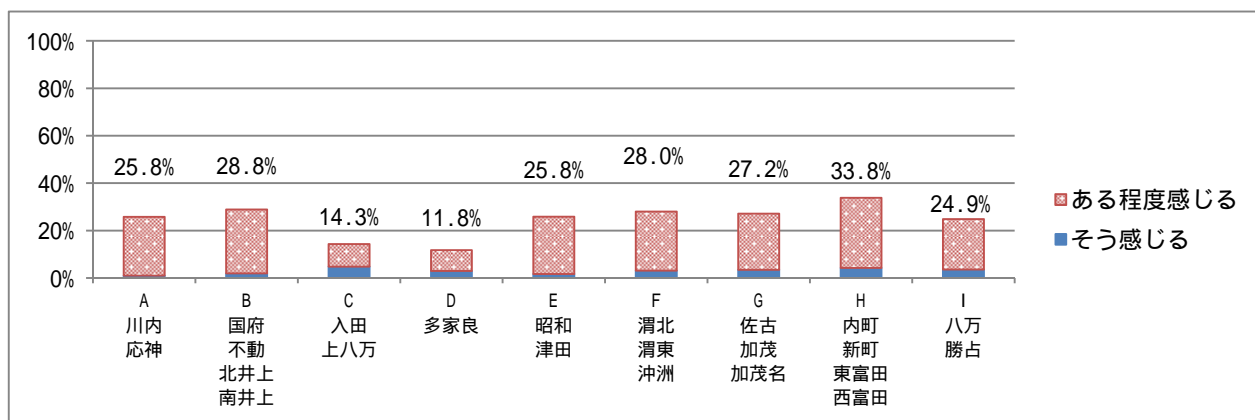
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、年代が上がるにつれて、働く場が充実していると感じている人の割合が低くなる傾向がみられ、10代が最も高く（36.4%）、70代以上が最も低く（16.3%）になっている。

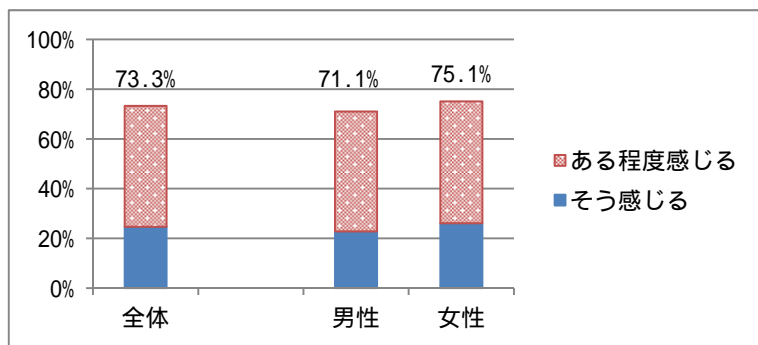
【地区別】



地区別では、最も高いのはH（33.8%）で、最も低いD（11.8%）と、続くC（14.3%）の2地区は他地区と差があり、地区によって違いがみられる。

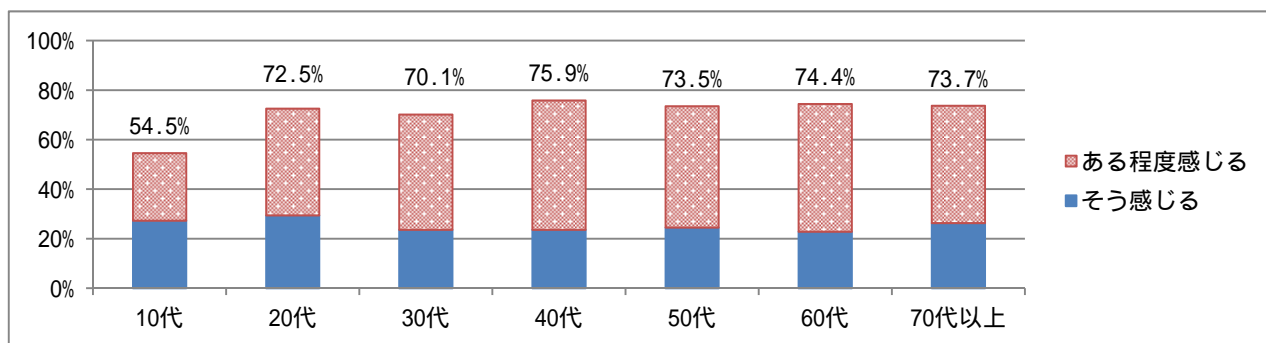
「(6)現在住んでいる住宅の広さや機能に満足している。」と感じている市民の割合は、73.3%となっている。

【全体・男女別】



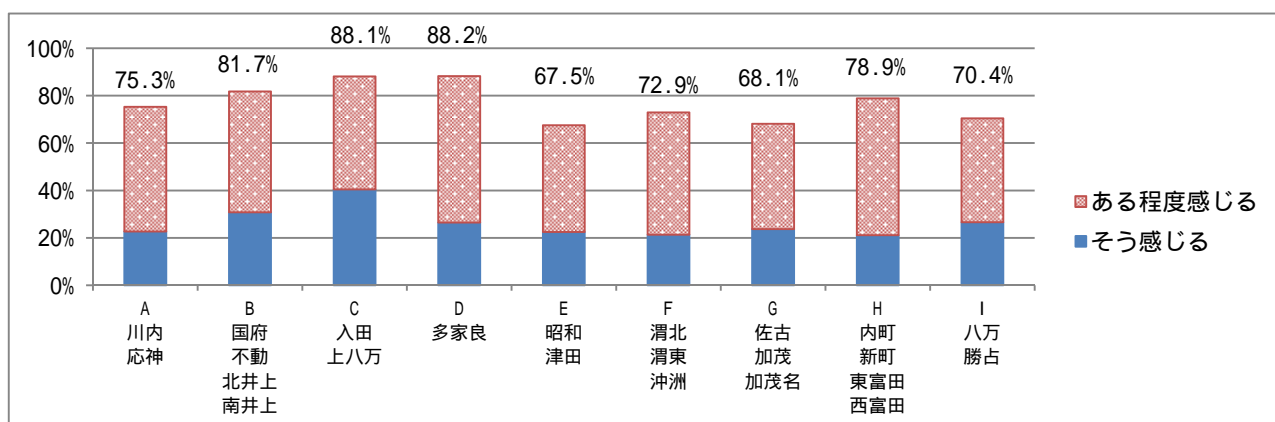
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、40代が最も高く（75.9%）、10代が最も低く（54.5%）になっている。

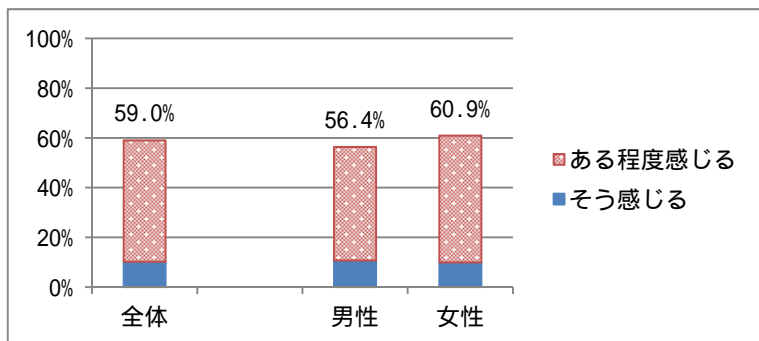
【地区別】



地区別では、最も高いのはD（88.2%）、次いで、C（88.1%）で、最も低いのはE（67.5%）、次いで、G（68.1%）となっており、地区によって違いがみられる。

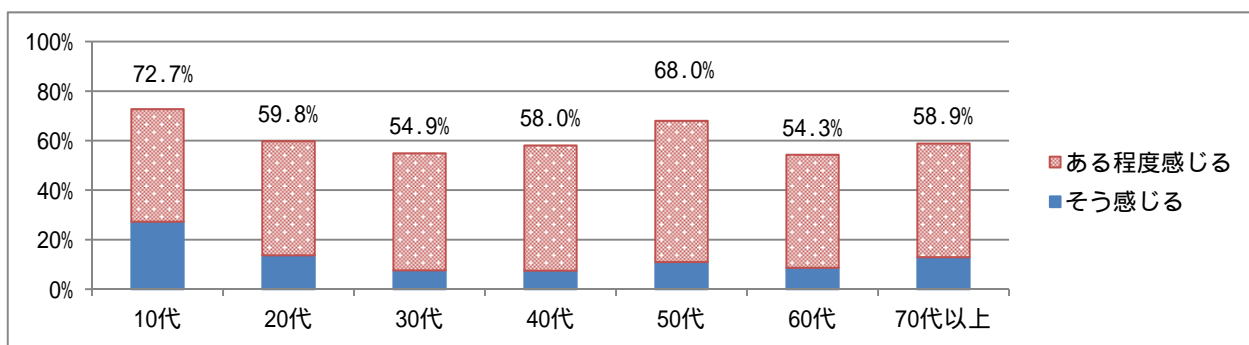
「(7)人々の人情が厚い。」と感じている市民の割合は、59.0%となっている。

【全体・男女別】



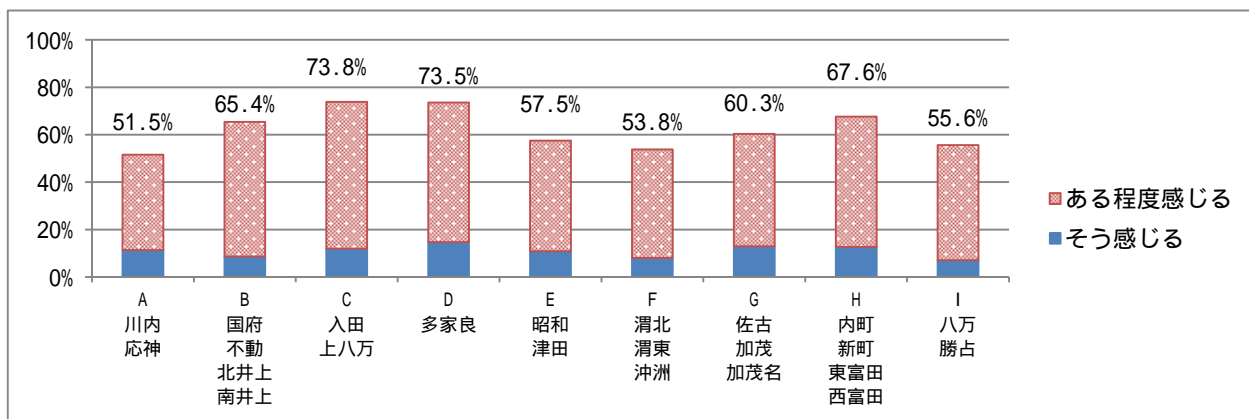
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（72.7%）、60代が最も低く（54.3%）となっている。

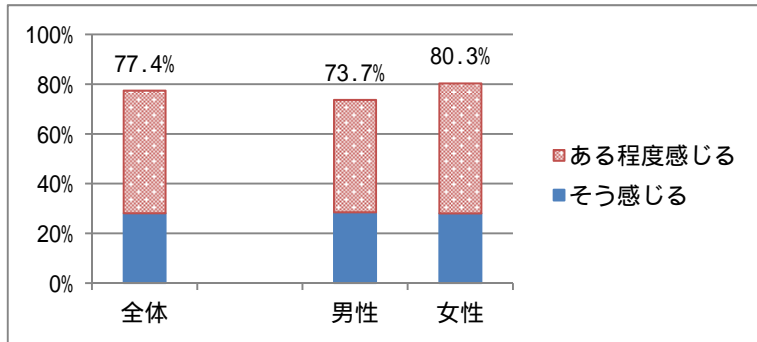
【地区別】



地区別では、最も高いのはC（73.8%）、次いで、D（73.5%）で、最も低いのはA（51.5%）、次いで、F（53.8%）となっており、地区によって違いがみられる。

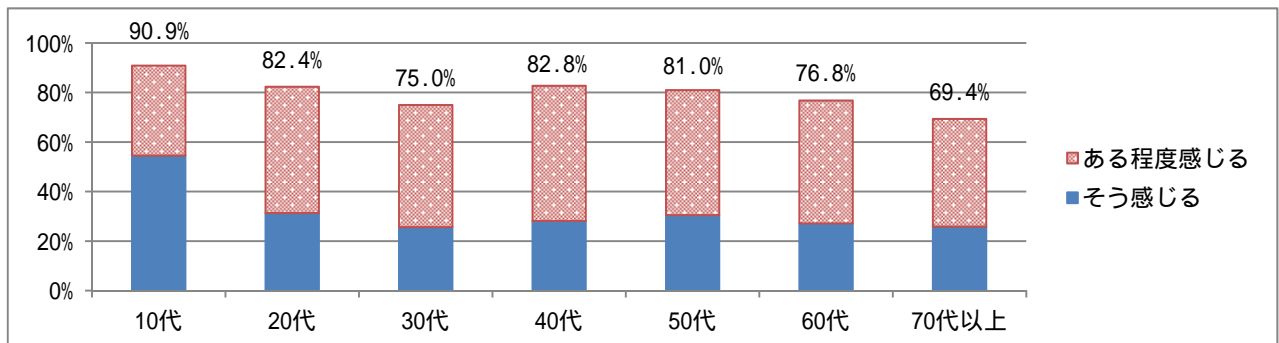
「(8)自然が豊かである。」と感じている市民の割合は、77.4%となっている。

【全体・男女別】



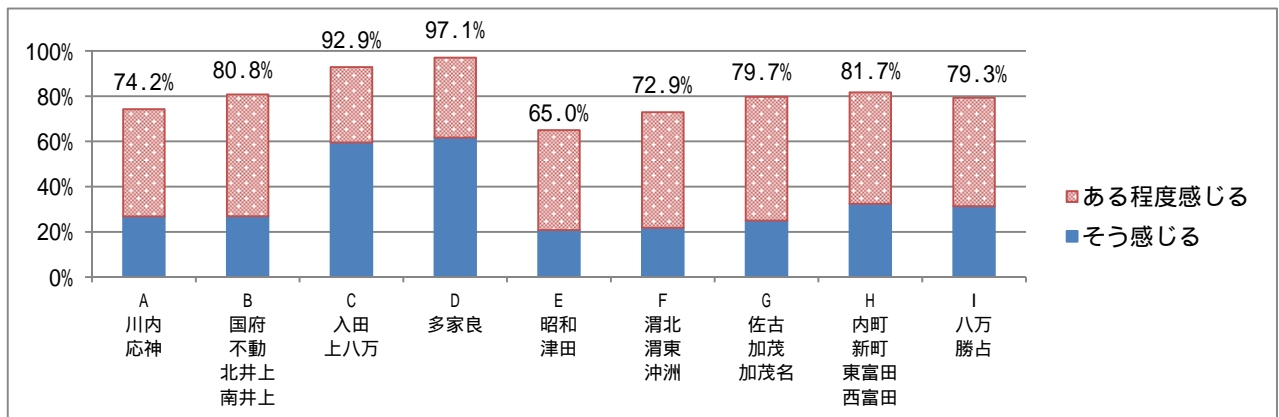
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（90.9%）70代以上が最も低く（69.4%）になっている。

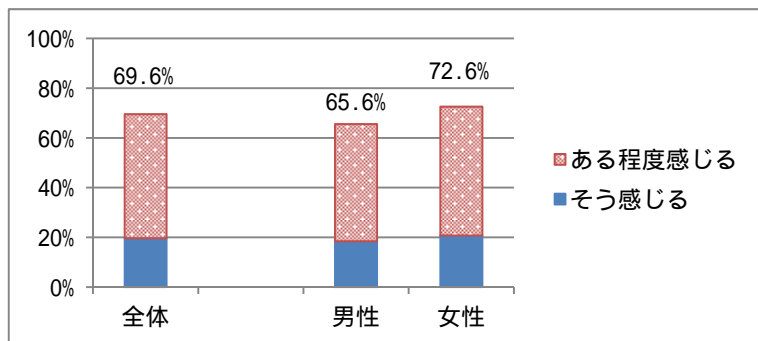
【地区別】



地区別では、最も高いのは D（97.1%）次いで、C（92.9%）で、最も低いのは E（65.0%）となっており、地区によって顕著な違いがみられる。

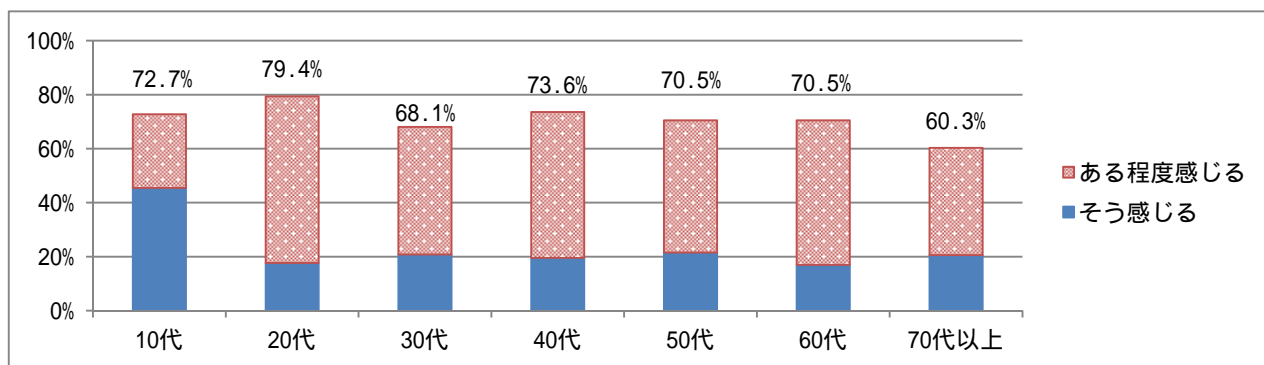
「(9)まちなかに緑や水辺が豊富である。」と感じている市民の割合は、69.6%となっている。

【全体・男女別】



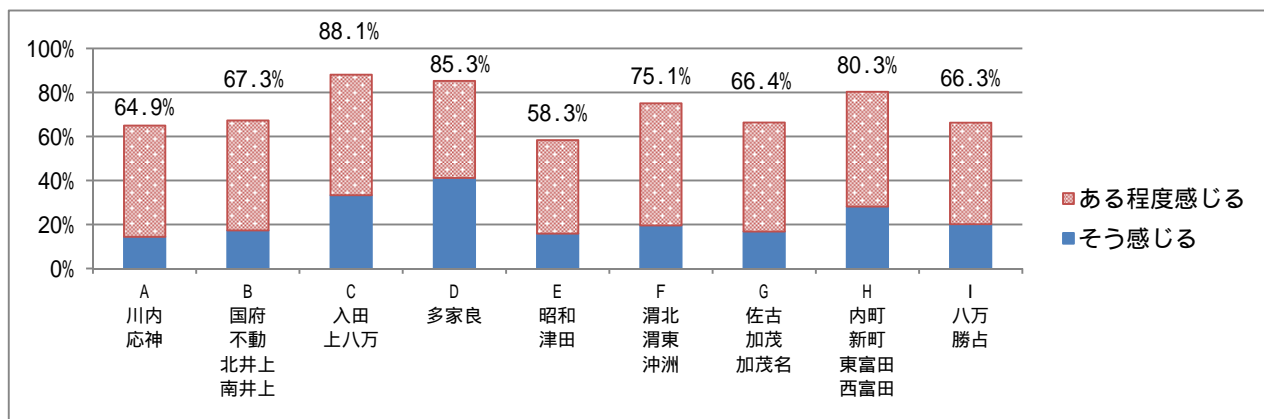
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、20代が最も高く（79.4%）、70代以上が最も低く（60.3%）になっている。

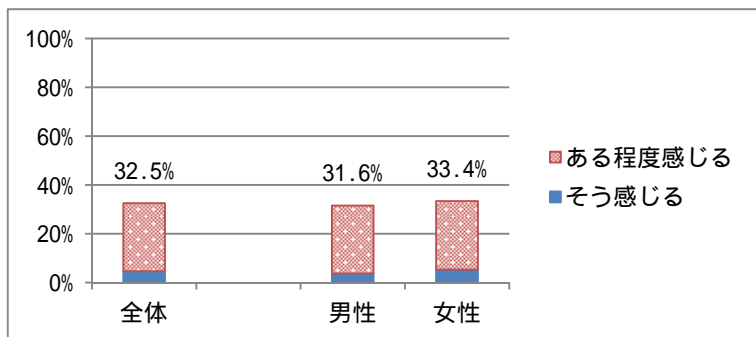
【地区別】



地区別では、最も高いのは C（88.1%）、次いで、D（85.3%）で、最も低いのは E（58.3%）となっており、地区によって顕著な違いがみられる。

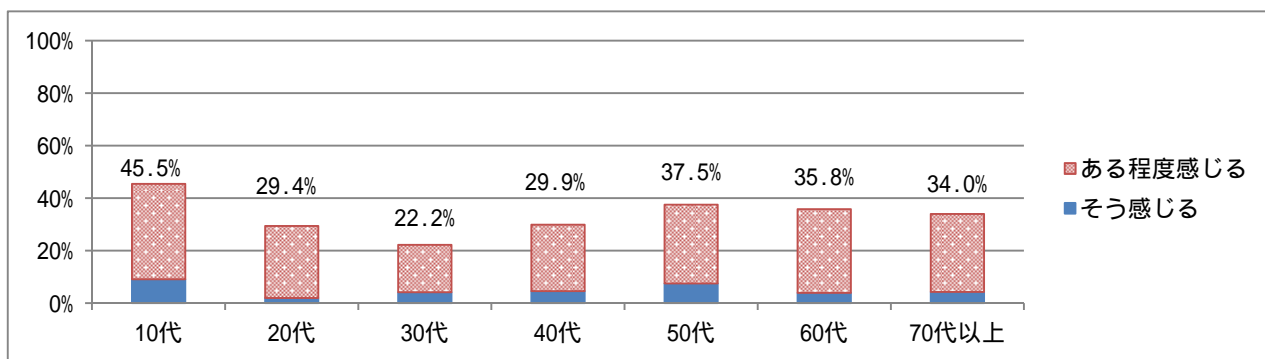
「(10)家や建物などの街並みや景観が美しい。」と感じている市民の割合は、32.5%となっている。

【全体・男女別】



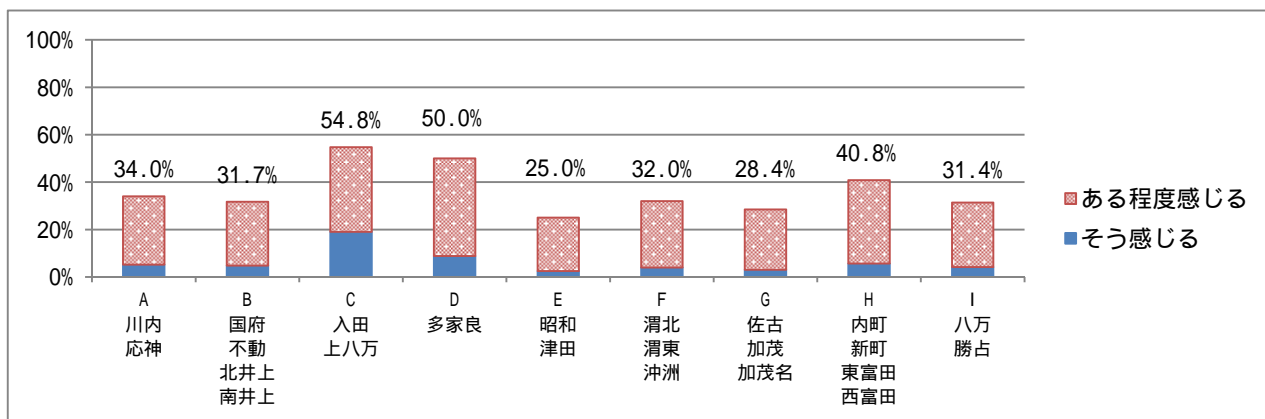
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（45.5%）、30代が最も低く（22.2%）となっている。

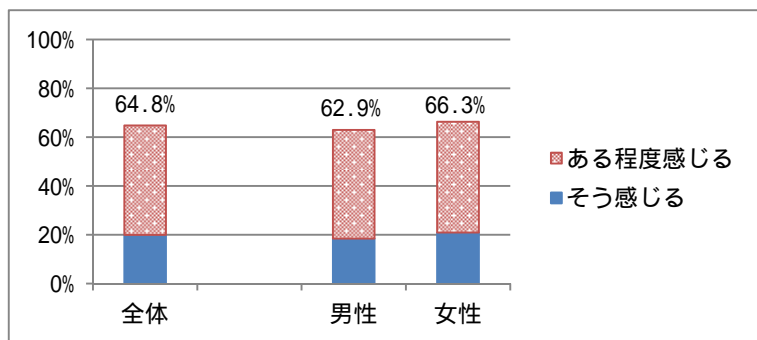
【地区別】



地区別では、最も高いのはC（54.8%）、次いで、D（50.0%）で、最も低いのはE（25.0%）、次いで、G（28.4%）となっており、地区によって顕著な違いがみられる。

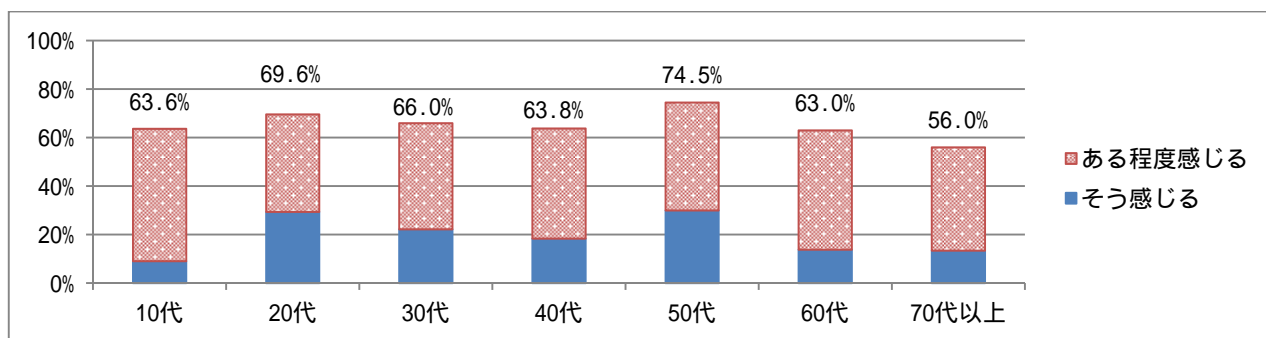
「(11)海や山の幸に恵まれ、食べ物や特産物が豊富である。」と感じている市民の割合は、64.8%となっている。

【全体・男女別】



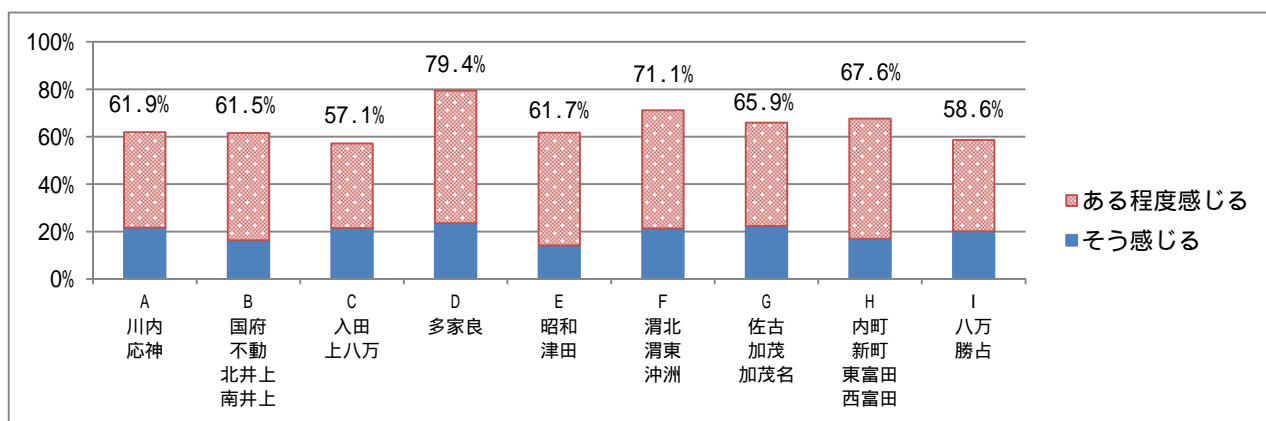
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、50代が最も高く（74.5%）、70代以上が最も低く（56.0%）になっている。

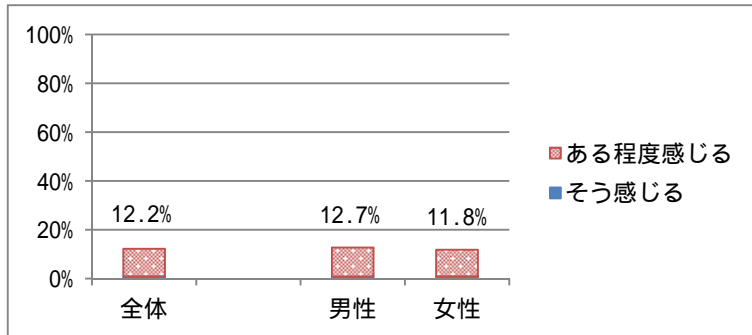
【地区別】



地区別では、最も高いのはD（79.4%）、次いで、F（71.1%）で、最も低いのはC（57.1%）、次いで、I（58.6%）となっており、地区によって違いがみられる。

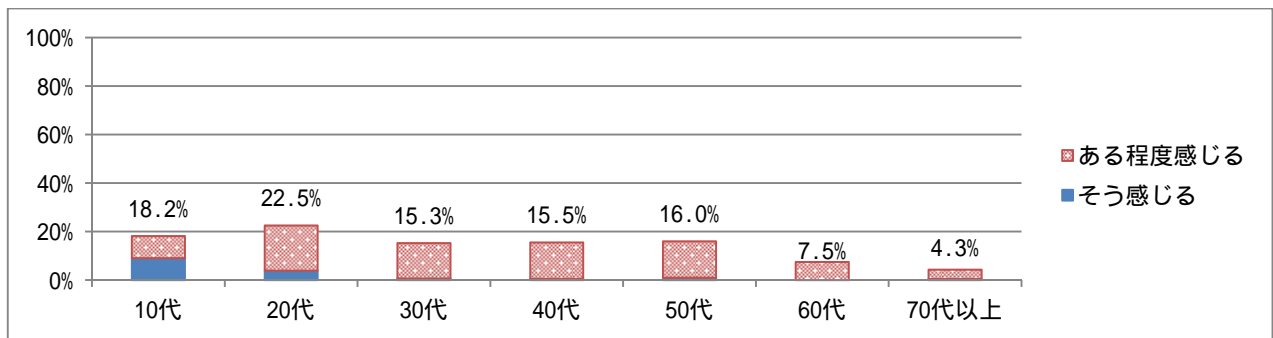
「(12)観光 PR が盛んで、観光客が多い。」と感じている市民の割合は、12.2%となっている。

【全体・男女別】



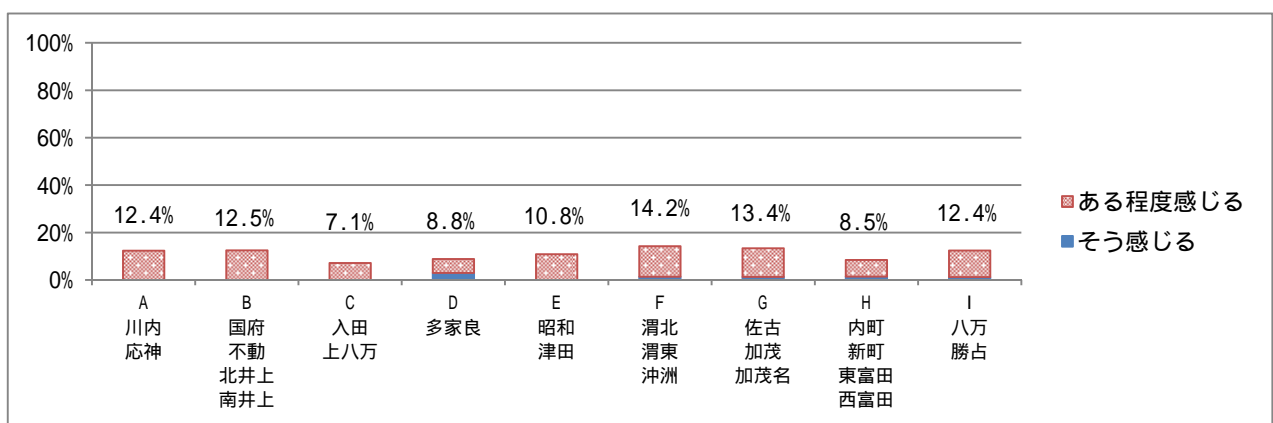
男女別では、若干、男性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、20代が最も高く（22.5%）、70代以上が最も低く（4.3%）になっている。

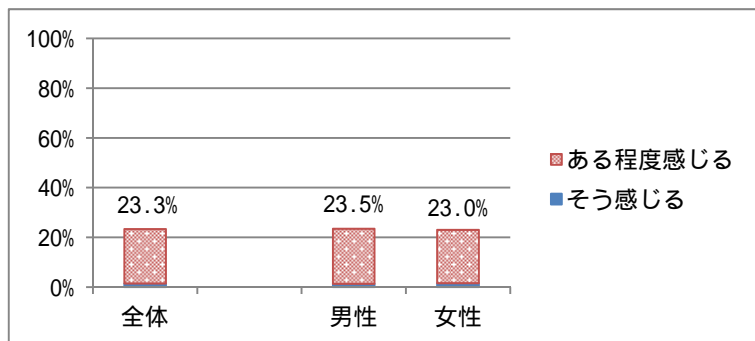
【地区別】



地区別では、最も高いのは F（14.2%）、次いで、G（13.4%）で、最も低いのは C（7.1%）、次いで、H（8.5%）となっている。

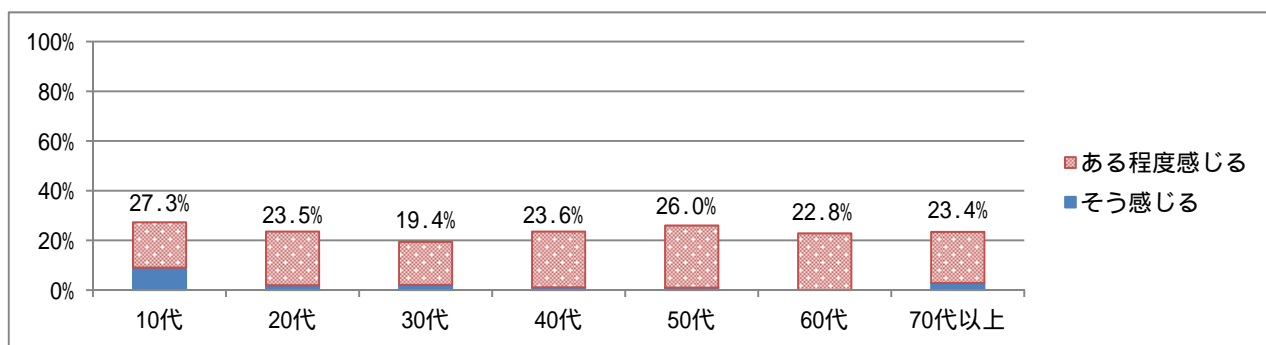
「(13)災害への備えが整っている。」と感じている市民の割合は、23.3%となっている。

【全体・男女別】



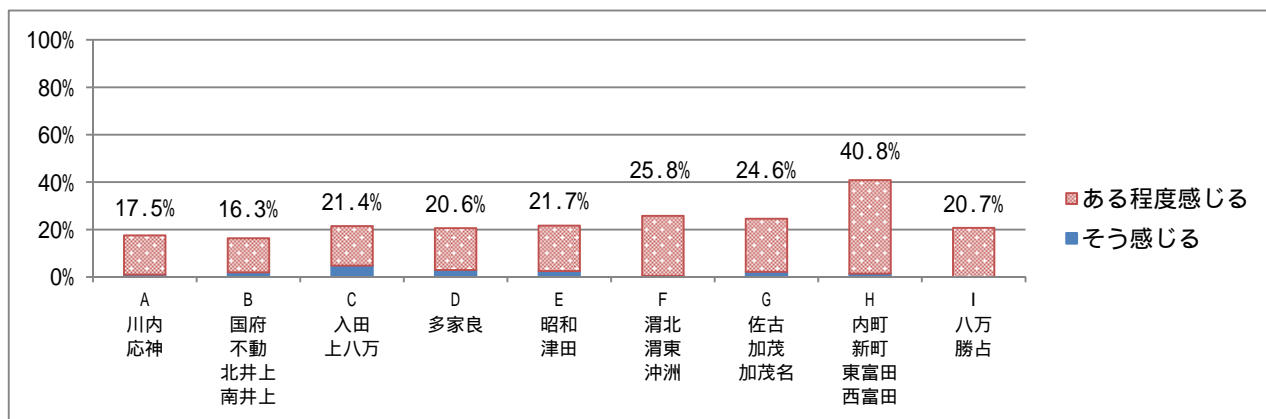
男女別では、若干、男性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（27.3%）、30代が最も低く（19.4%）となっている。

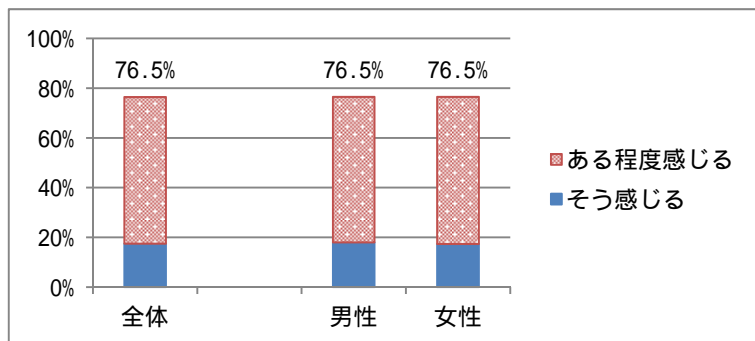
【地区別】



地区別では、最も高いのはH（40.8%）で、最も低いのはB（16.3%）、次いで、A（17.5%）となっており、地区によって顕著な違いがみられる。

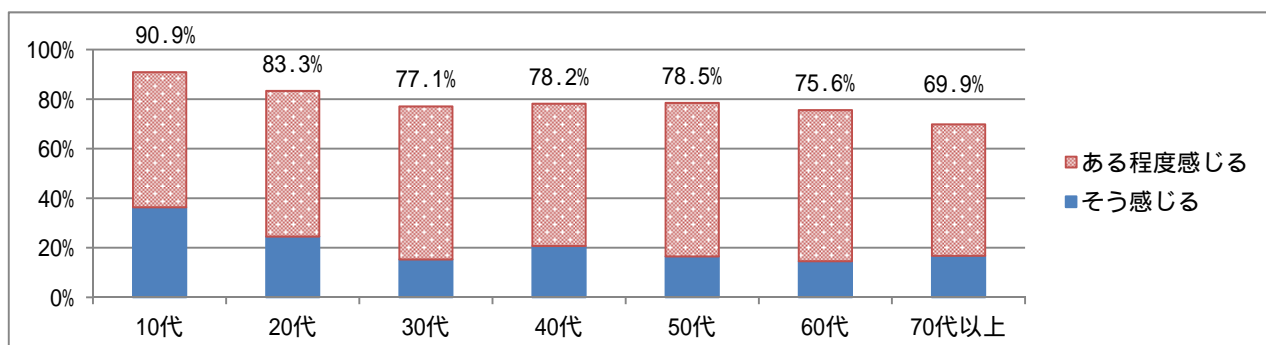
「(14)治安がよい。」と感じている市民の割合は、76.5%となっている。

【全体・男女別】



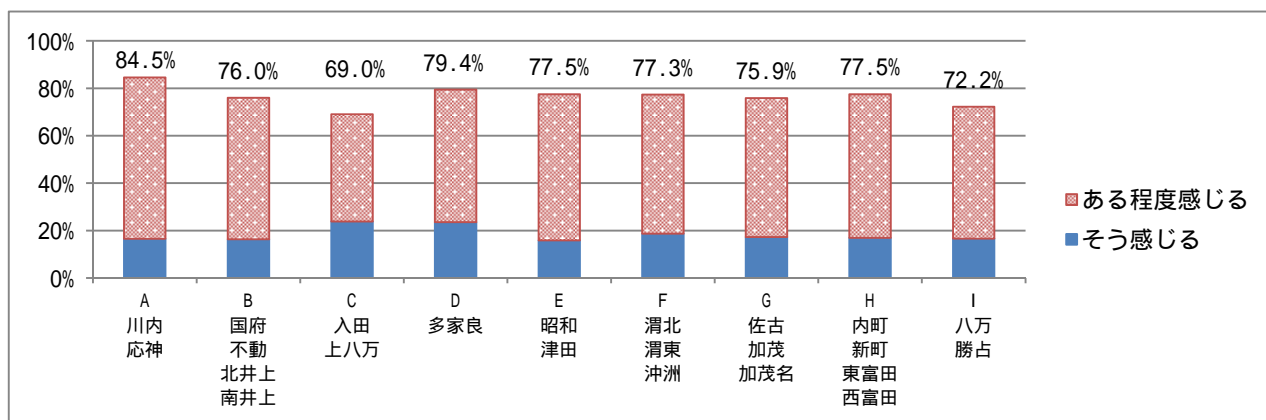
男女別では、男性、女性とも同数となっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（90.9%）、70代以上が最も低く（69.9%）となっている。年代があがるにつれて、治安がよいと感じている割合が低くなるような傾向がみられる。

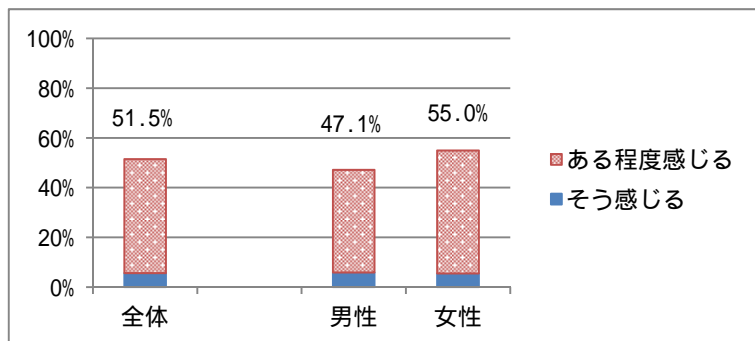
【地区別】



地区別では、最も高いのはA（84.5%）、次いで、D（79.4%）で、最も低いのはC（69.0%）、次いで、I（72.2%）となっている。

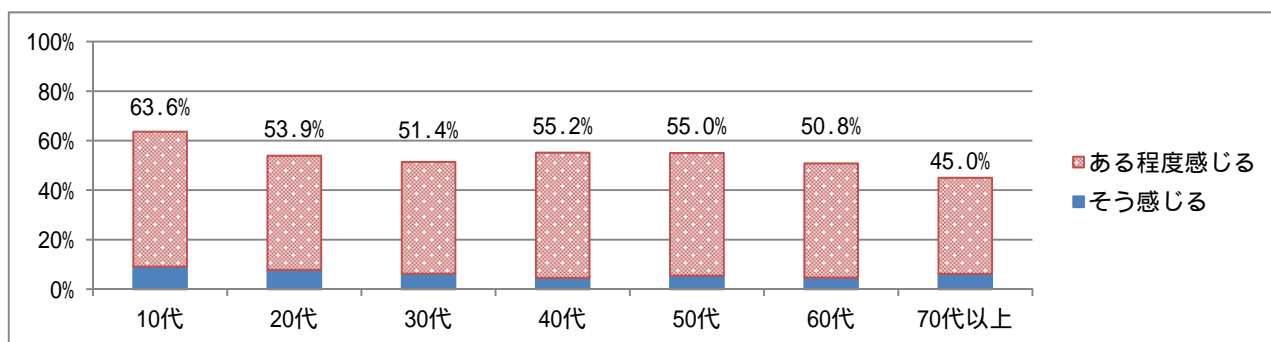
「(15)出産や子育てがしやすい。」と感じている市民の割合は、51.5%となっている。

【全体・男女別】



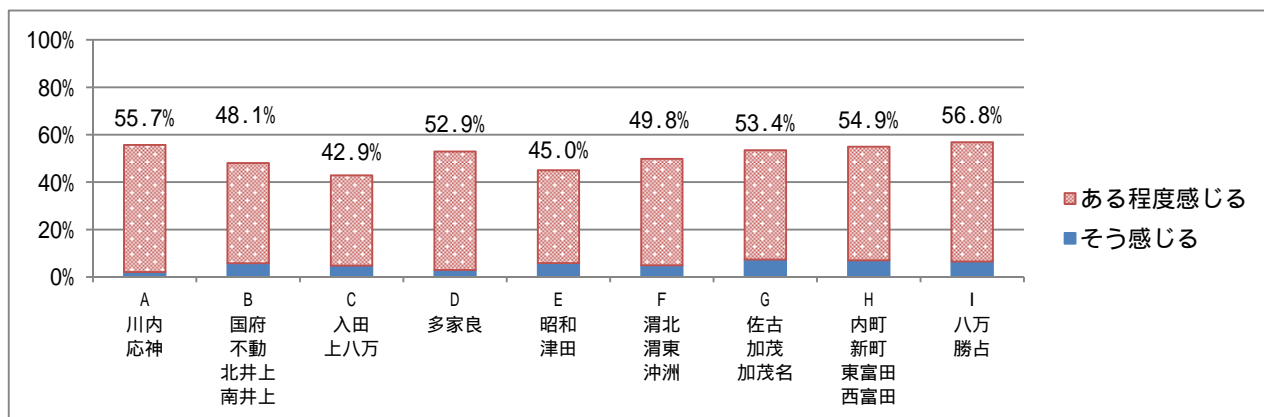
男女別では、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（63.6%）70代以上が最も低く（45.0%）になっている。

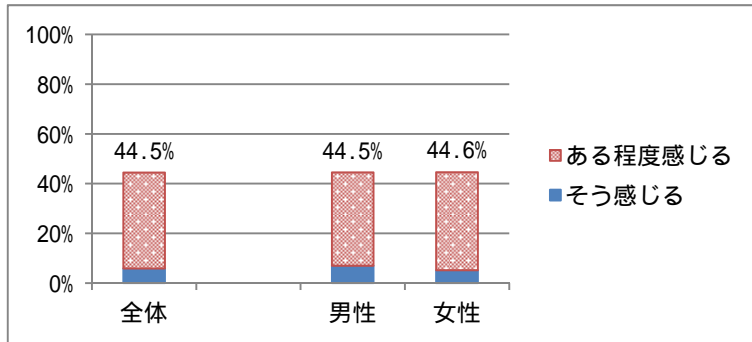
【地区別】



地区別では、最も高いのはI（56.8%）次いで、A（55.7%）H（54.9%）で、最も低いのはC（42.9%）次いで、E（45.0%）となっており、地区によって違いがみられる。

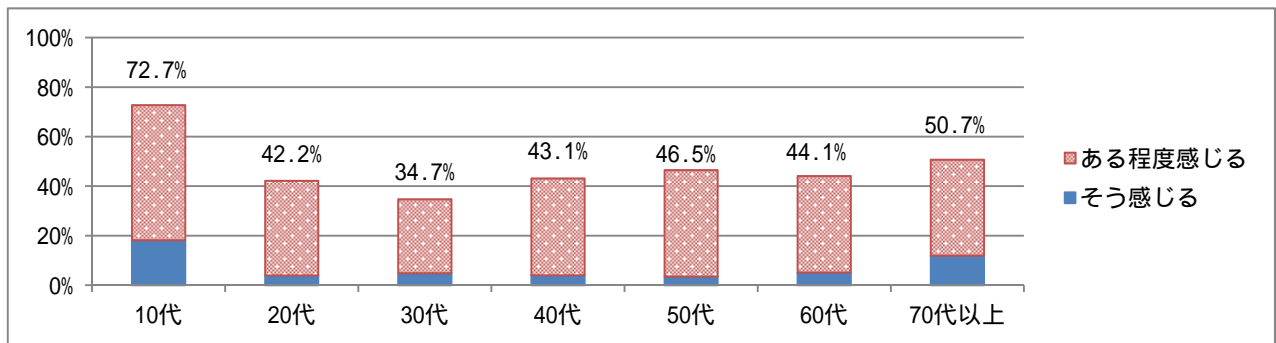
「(16)老後も安心して生活できる。」と感じている市民の割合は、44.5%となっている。

【全体・男女別】



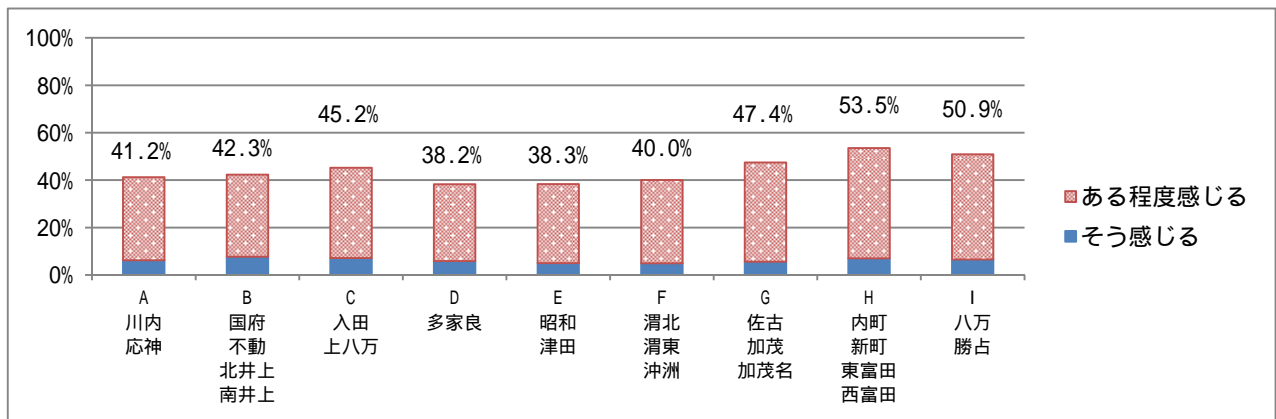
男女別では、若干、女性の方が高いが、ほぼ同じとなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（72.7%）、30代が最も低く（34.7%）となっている。

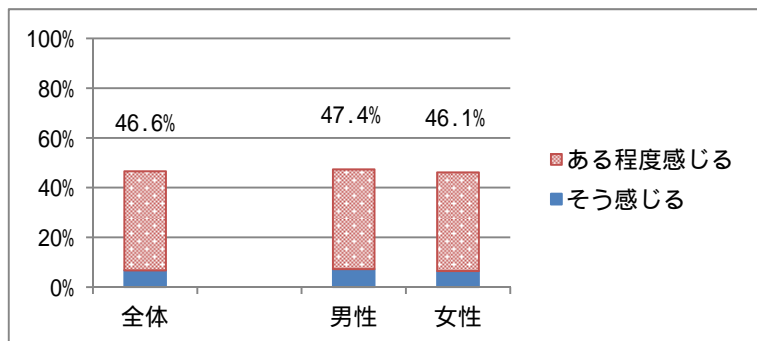
【地区別】



地区別では、最も高いのはH（53.5%）、次いで、I（50.9%）で、最も低いのはD（38.2%）、次いで、E（38.3%）となっており、地区によって違いがみられる。

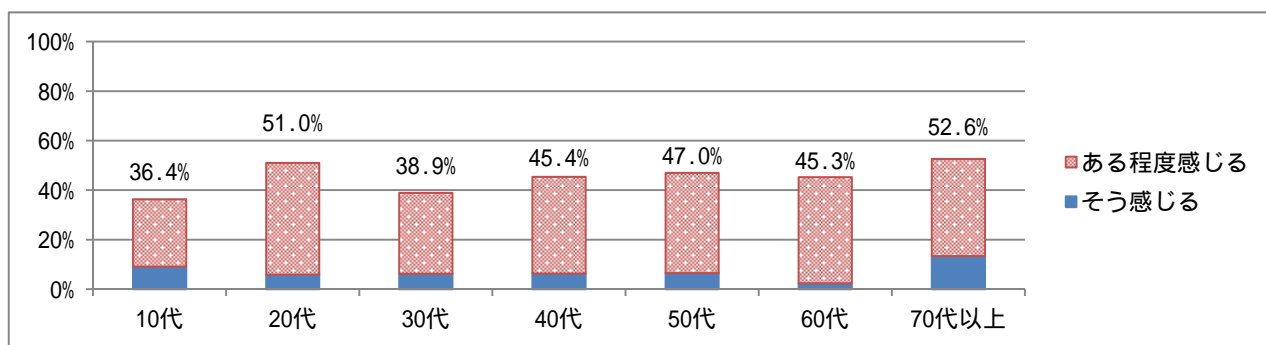
「(17)医療・福祉に関するサービスが整っている。」と感じている市民の割合は、46.6%となっている。

【全体・男女別】



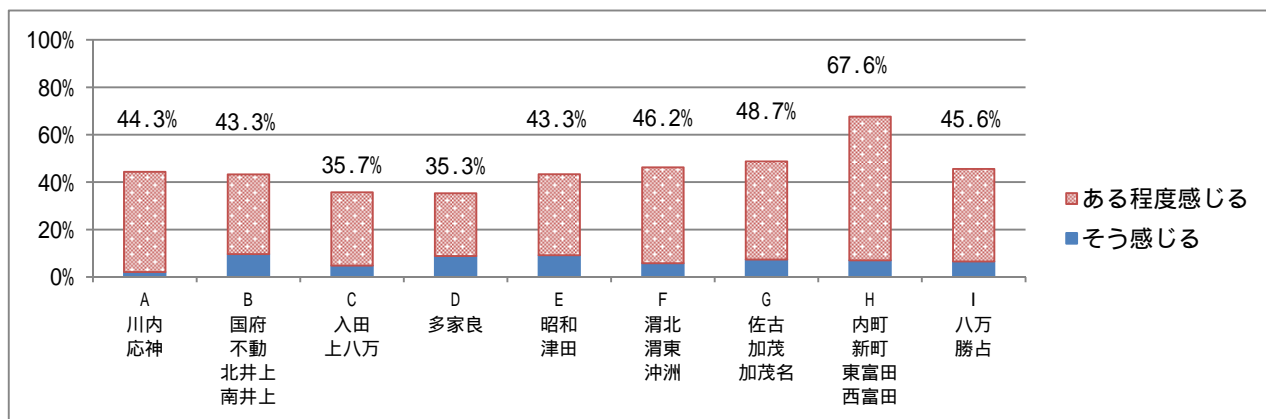
男女別では、若干、男性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、70代以上が最も高く（52.6%）、10代が最も低く（36.4%）になっている。

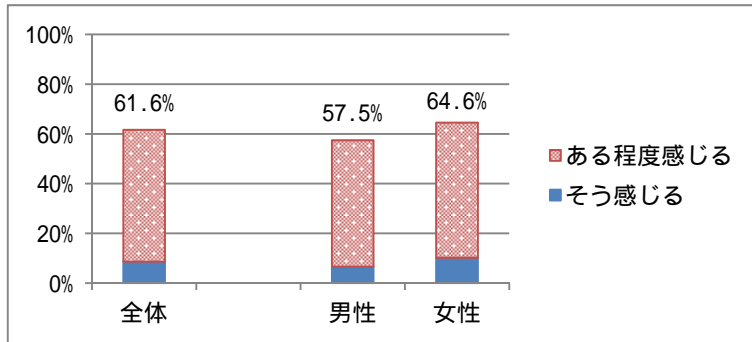
【地区別】



地区別では、最も高いのはH（67.6%）で、最も低いのはD（35.3%）、次いで、C（35.7%）となっており、地区によって顕著な違いがみられる。

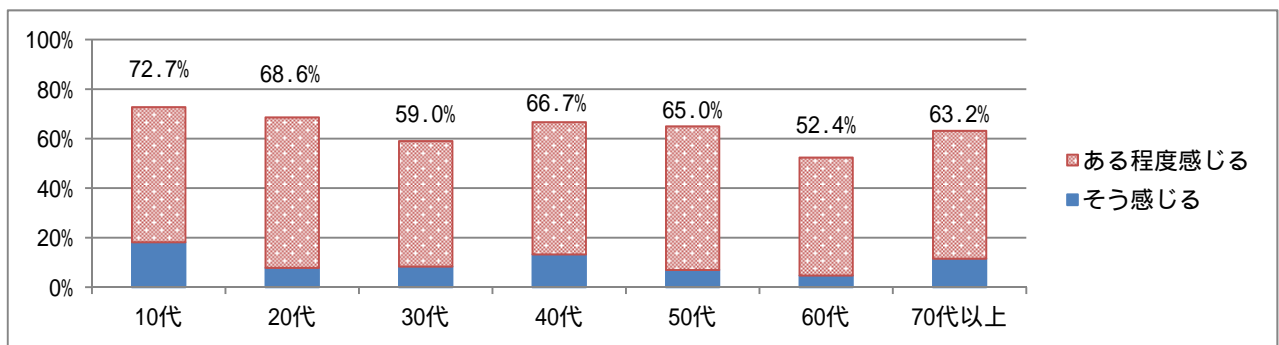
「(18)子ども達が充実した学校生活を送っている。」と感じている市民の割合は、61.6%となっている。

【全体・男女別】



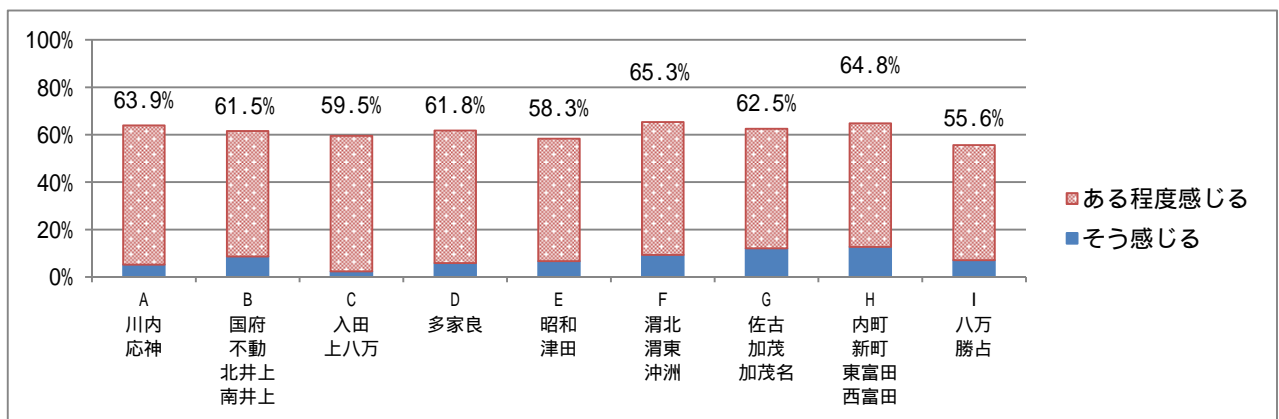
男女別では、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（72.7%）、60代が最も低く（52.4%）となっている。

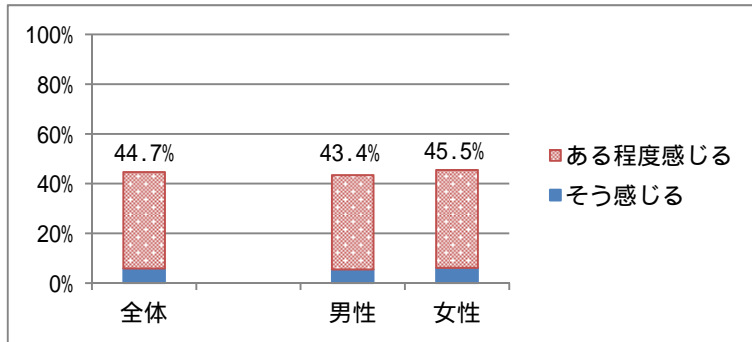
【地区別】



地区別では、最も高いのはF（65.3%）、次いで、H（64.8%）、で、最も低いのはA（55.6%）、次いで、E（58.3%）となっており、地区によって違いがみられる。

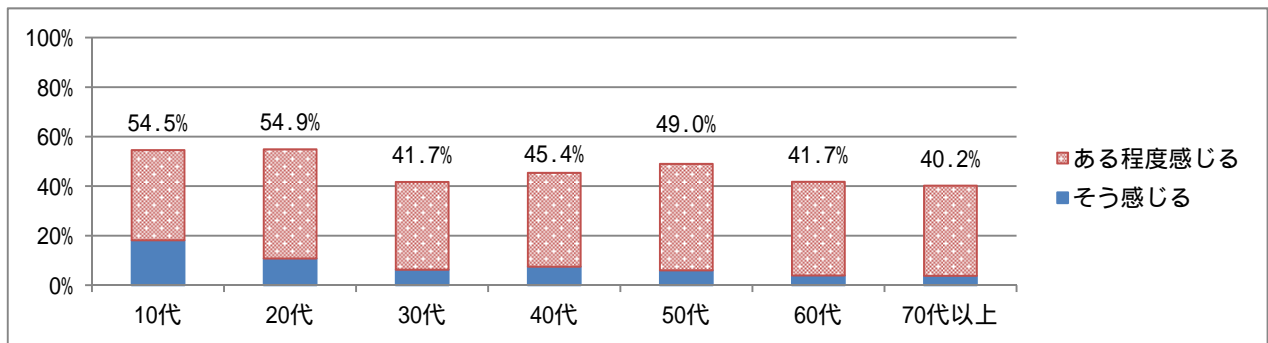
「(19)地域の歴史や伝統が継承されている。」と感じている市民の割合は、44.7%となっている。

【全体・男女別】



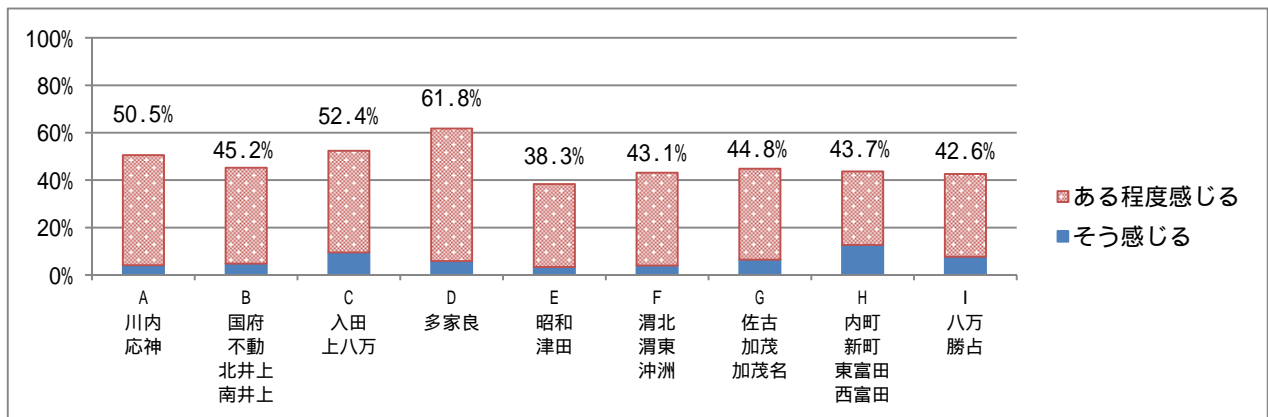
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、20代が最も高く（54.9%）、70代以上が最も低く（40.2%）となっている。

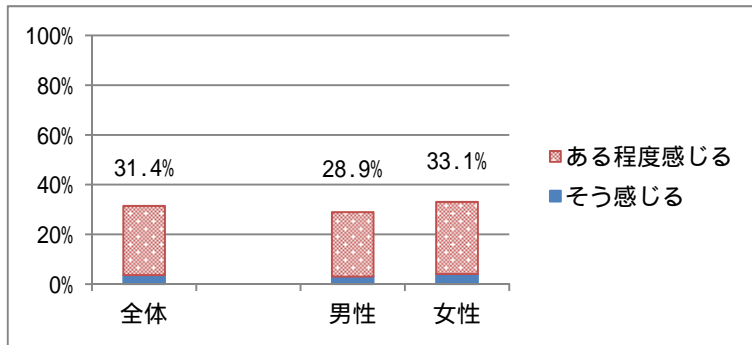
【地区別】



地区別では、最も高いのはD（61.8%）、次いで、C（52.4%）で、最も低いのはE（38.3%）となっており、地区によって違いがみられる。

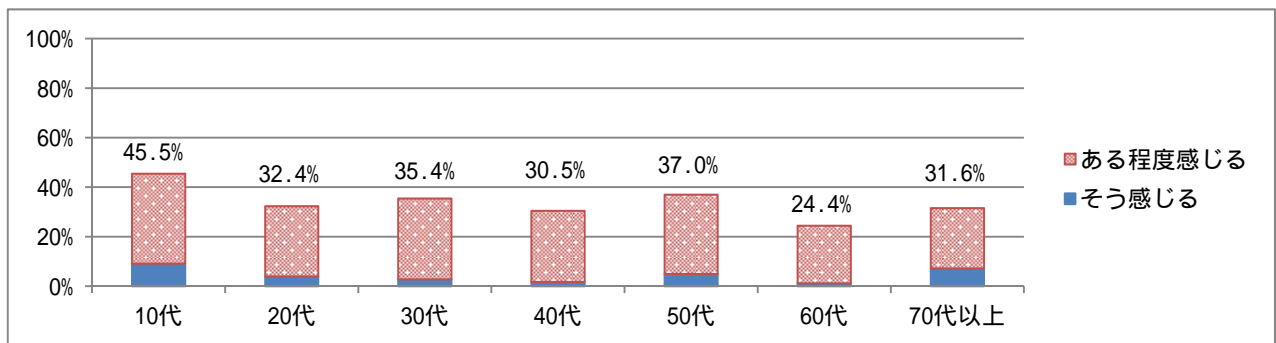
「(20)文化・スポーツに親しめる環境が整っている。」と感じている市民の割合は、31.4%となっている。

【全体・男女別】



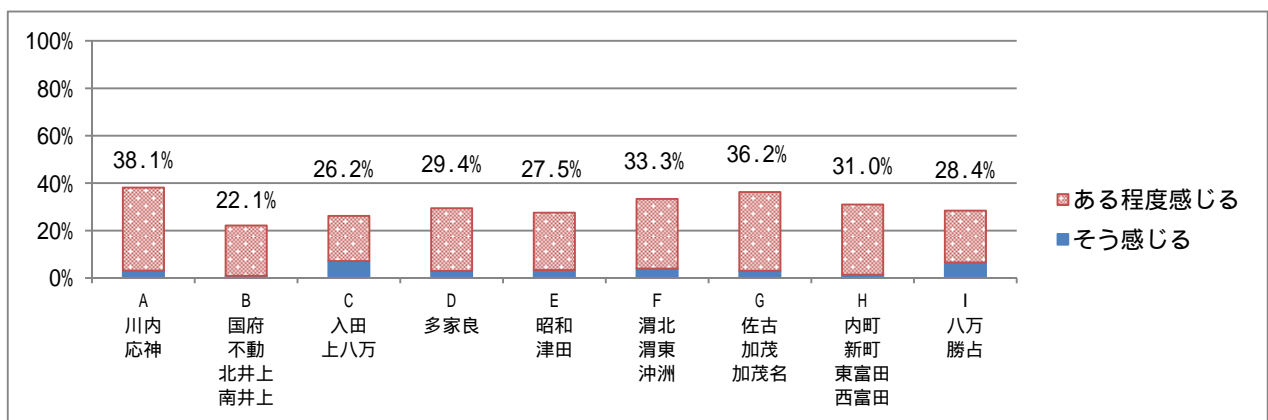
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（45.5%）、60代が最も低く（24.4%）になっている。

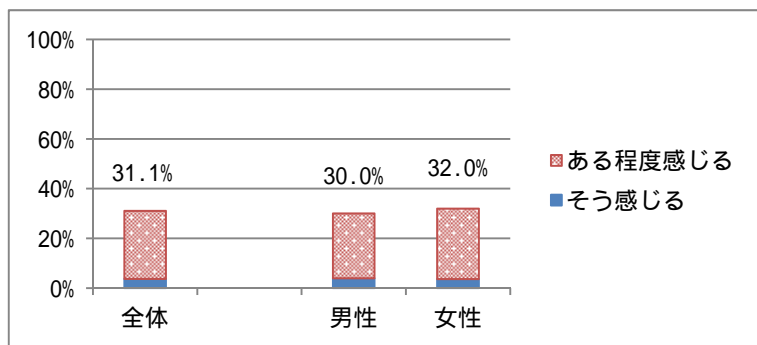
【地区別】



地区別では、最も高いのは A（38.1%）、次いで、G（36.2%）で、最も低いのは B（22.1%）となっており、地区によって違いがみられる。

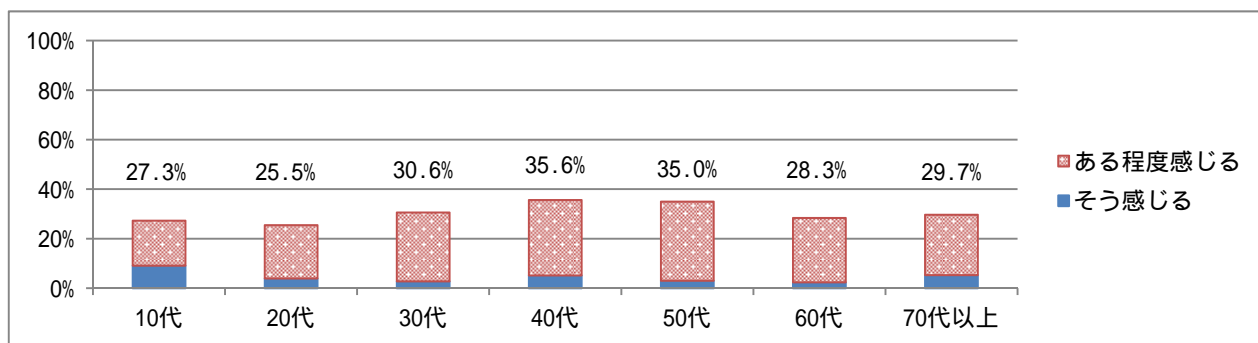
「(21)町内会などの地域活動や、ボランティアなどの市民活動が盛んである。」と感じている市民の割合は、31.1%となっている。

【全体・男女別】



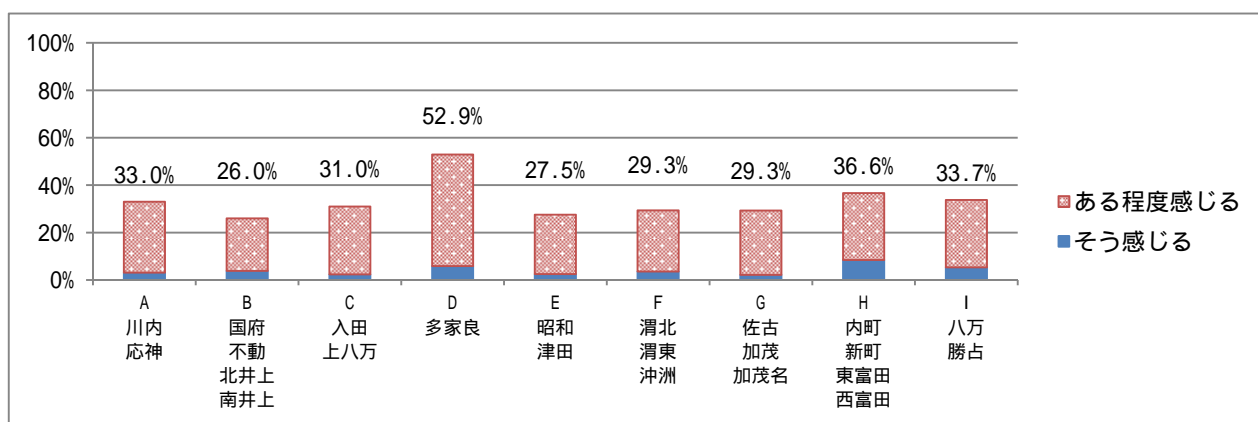
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、40代が最も高く（35.6%）、20代が最も低く（25.5%）になっている。

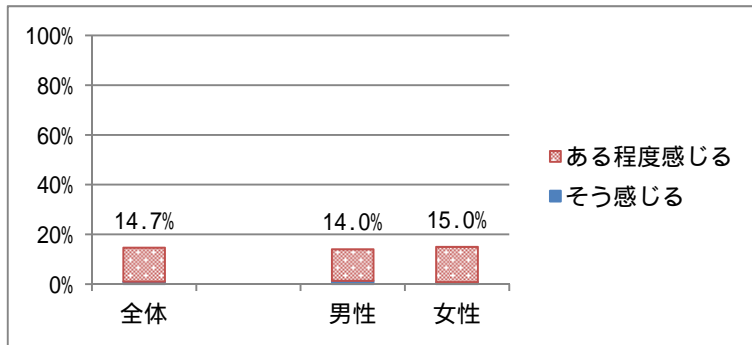
【地区別】



地区別では、最も高いのはD（52.9%）で、最も低いのはB（26.0%）、次いで、E（27.5%）となっており、地区によって顕著な違いがみられる。

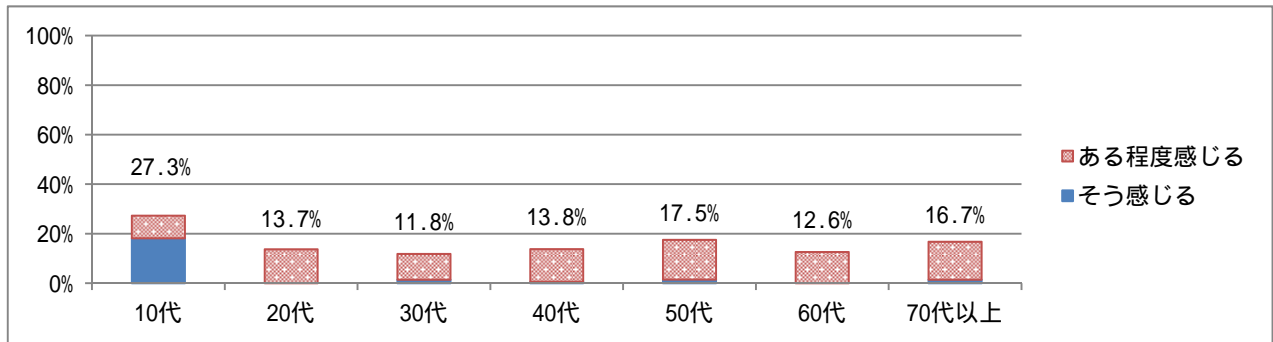
「(22)市民の声を生かした「まちづくり」がすすめられている。」と感じている市民の割合は、14.7%となっている。

【全体・男女別】



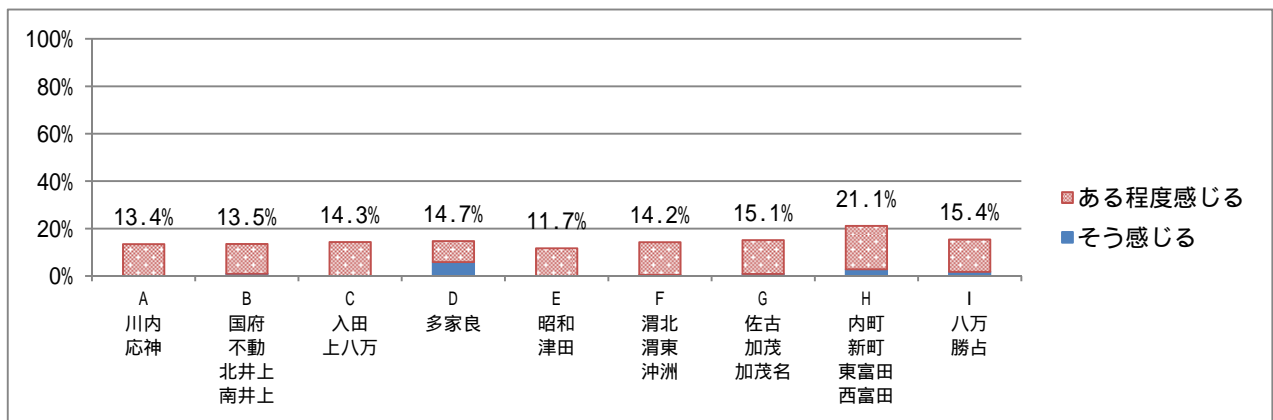
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、10代が最も高く（27.3%）、30代が最も低く（11.8%）となっている。

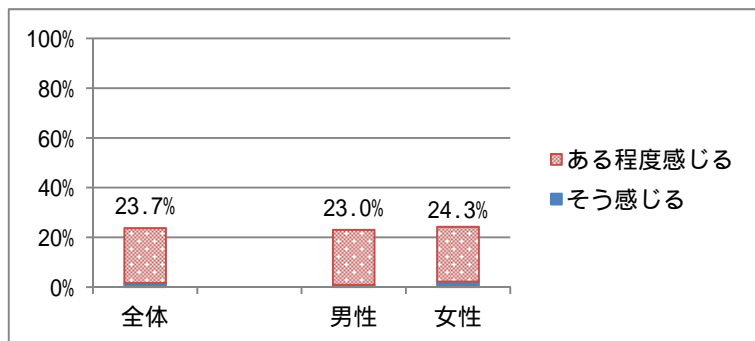
【地区別】



地区別では、最も高いのはH（21.1%）、最も低いのはE（11.7%）となっている。

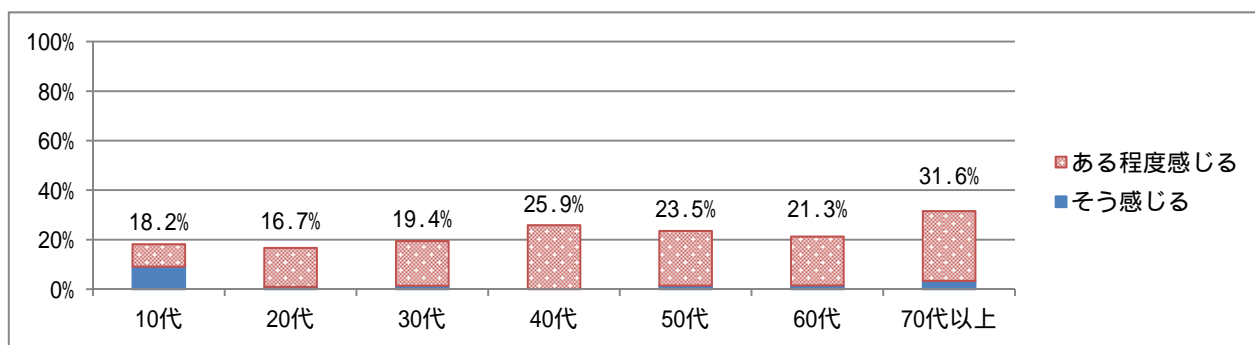
「(23)行政から市民への情報提供が充実している。」と感じている市民の割合は、23.7%となっている。

【全体・男女別】



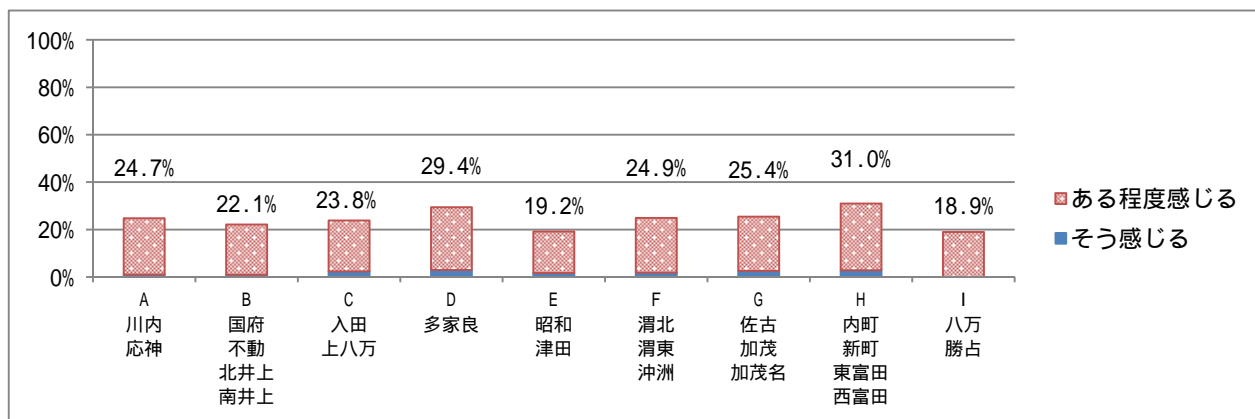
男女別では、若干、女性の方が高くなっている。

【年代別】



年代別では、70代以上が最も高く（31.6%）、20代が最も低く（16.7%）となっている。

【地区別】

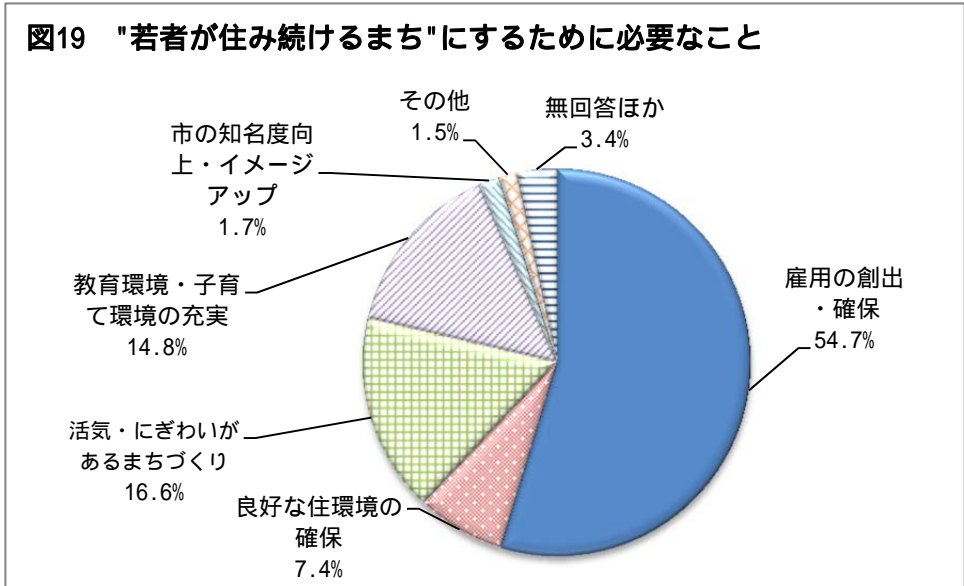


地区別では、最も高いのはH（31.0%）、次いで、D（29.4%）で、最も低いのはI（18.9%）、次いで、E（19.2%）となっており、地区によって違いがみられる。

2-3. 魅力あるまちづくりに対する意識

(1) “若者が住み続けるまち” にするために最も必要と思われることは何ですか。

“若者が住み続けるまち” にするために必要なことは、「雇用の創出・確保」が最も多く（54.7%）、次いで「活気・にぎわいがあるまちづくり」（16.6%）、「教育環境・子育て環境の充実」（14.8%）となっている。

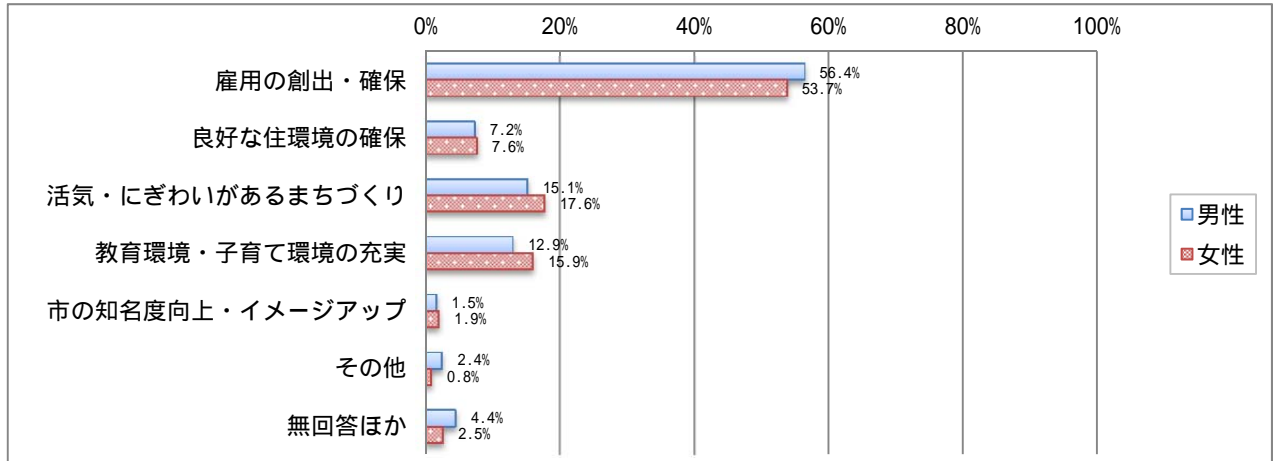


	人数	構成比
雇用の創出・確保	600	54.7%
良好な住環境の確保	81	7.4%
活気・にぎわいがあるまちづくり	182	16.6%
教育環境・子育て環境の充実	162	14.8%
市の知名度向上・イメージアップ	19	1.7%
その他	16	1.5%
有効回答数	1060	96.6%
無回答ほか	37	3.4%
総回答数	1097	100.0%

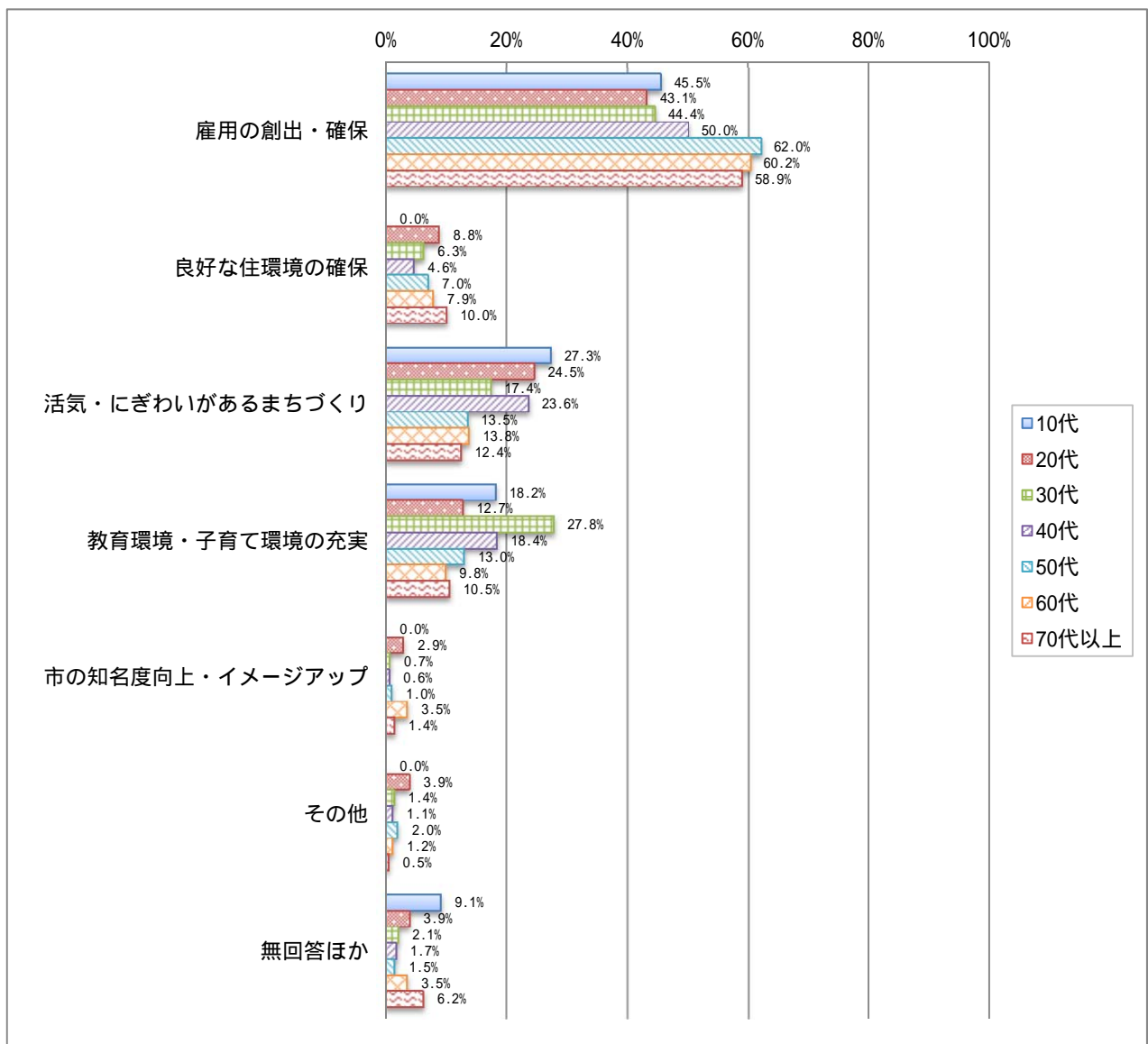
「その他」の自由記入欄には、22件の回答があった。（その他を選択した16人のうち15人、その他を未選択の7人が記入。）このうち、複数の回答があったのは、「道路・公共交通機関の充実」に関するものが3件、「税金面等の軽減」に関するものが2件であった。

“若者が住み続けるまち”にするために必要なことについて、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

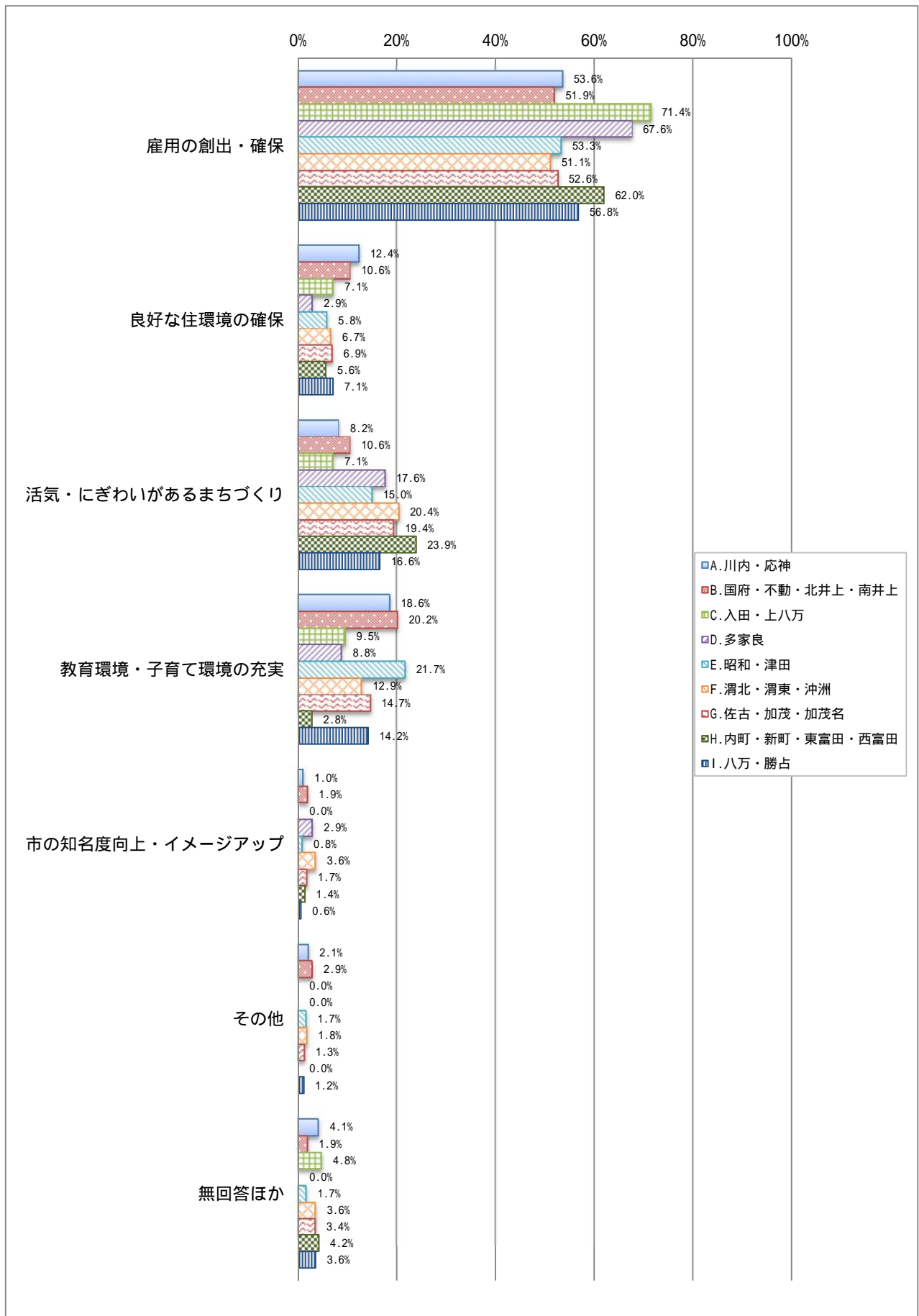
【男女別】



【年代別】

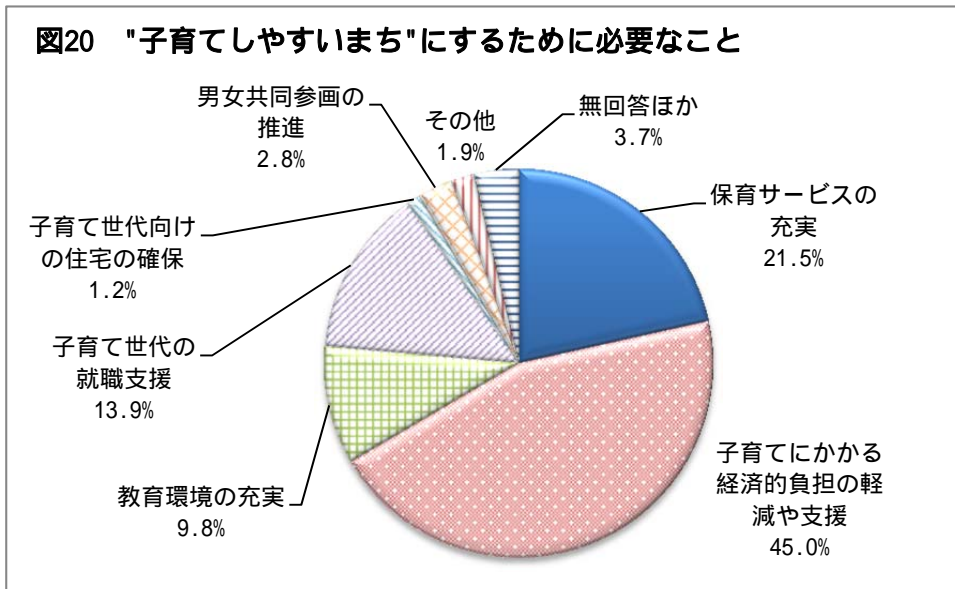


【地区別】



(2) “子育てしやすいまち” にするために最も必要と思われることは何ですか。

“子育てしやすいまち” にするために必要なことは、「子育てにかかる経済的負担の軽減や支援」が最も多く(45.0%)、次いで「保育サービスの充実」(21.5%)、「子育て世代の就職支援」(13.9%)となっている。

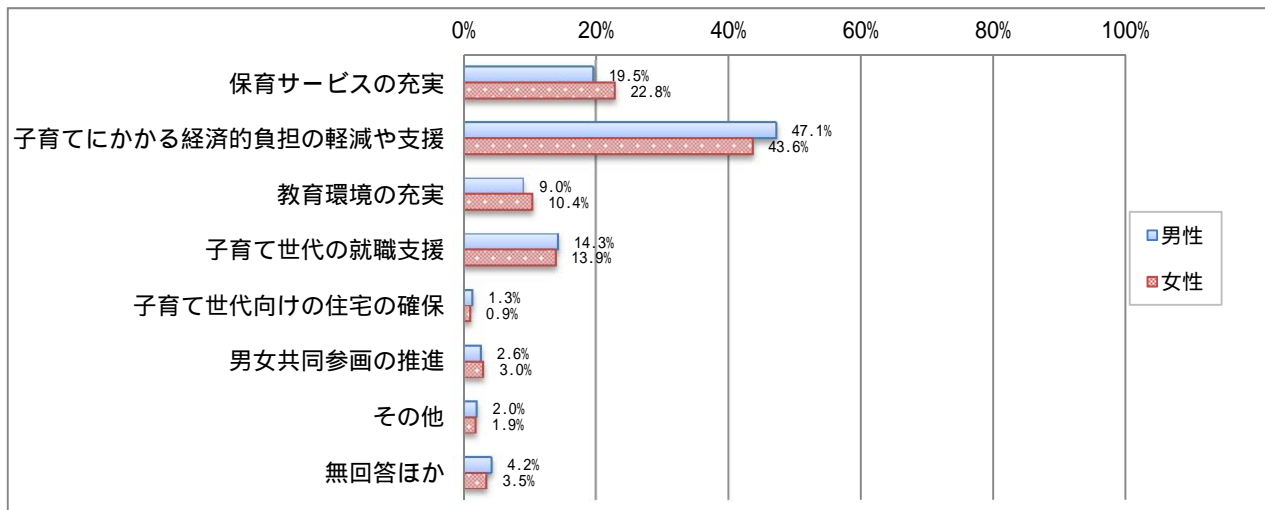


	人数	構成比
保育サービスの充実	236	21.5%
子育てにかかる経済的負担の軽減や支援	494	45.0%
教育環境の充実	108	9.8%
子育て世代の就職支援	153	13.9%
子育て世代向けの住宅の確保	13	1.2%
男女共同参画の推進	31	2.8%
その他	21	1.9%
有効回答数	1056	96.3%
無回答ほか	41	3.7%
総回答数	1097	100.0%

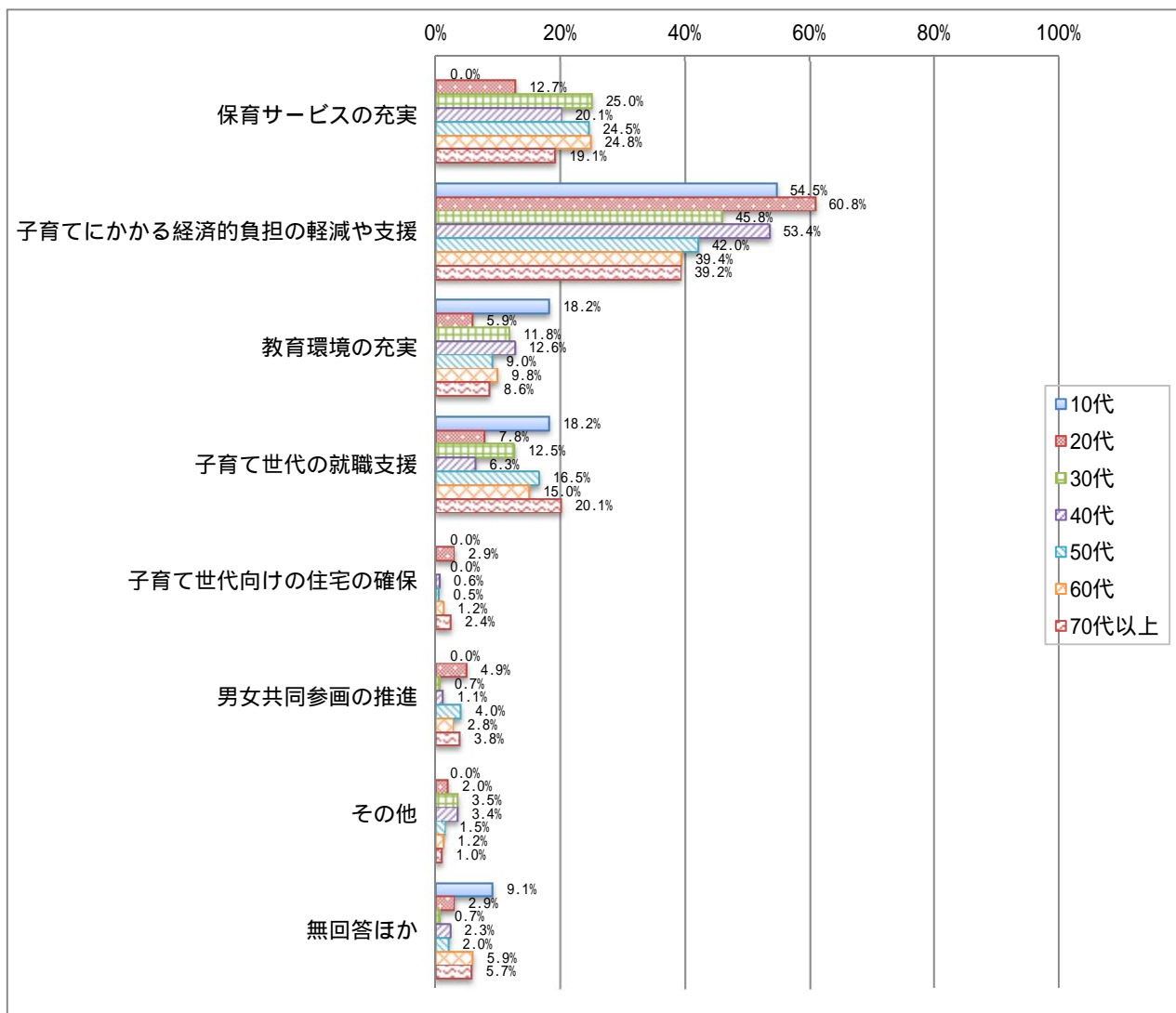
「その他」の自由記入欄には、27件の回答があった。(その他を選択した21人のうち20人、その他を未選択の7人が記入。)このうち、「選択項目の全て」といったものが5件、「公園等の整備」に関するものが6件、「保育所の入所や学童保育など、子育て世代の就労支援」に関するものが2件、「企業等の意識改革」に関するものが2件であった。

“子育てしやすいまち”にするために必要なことについて、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

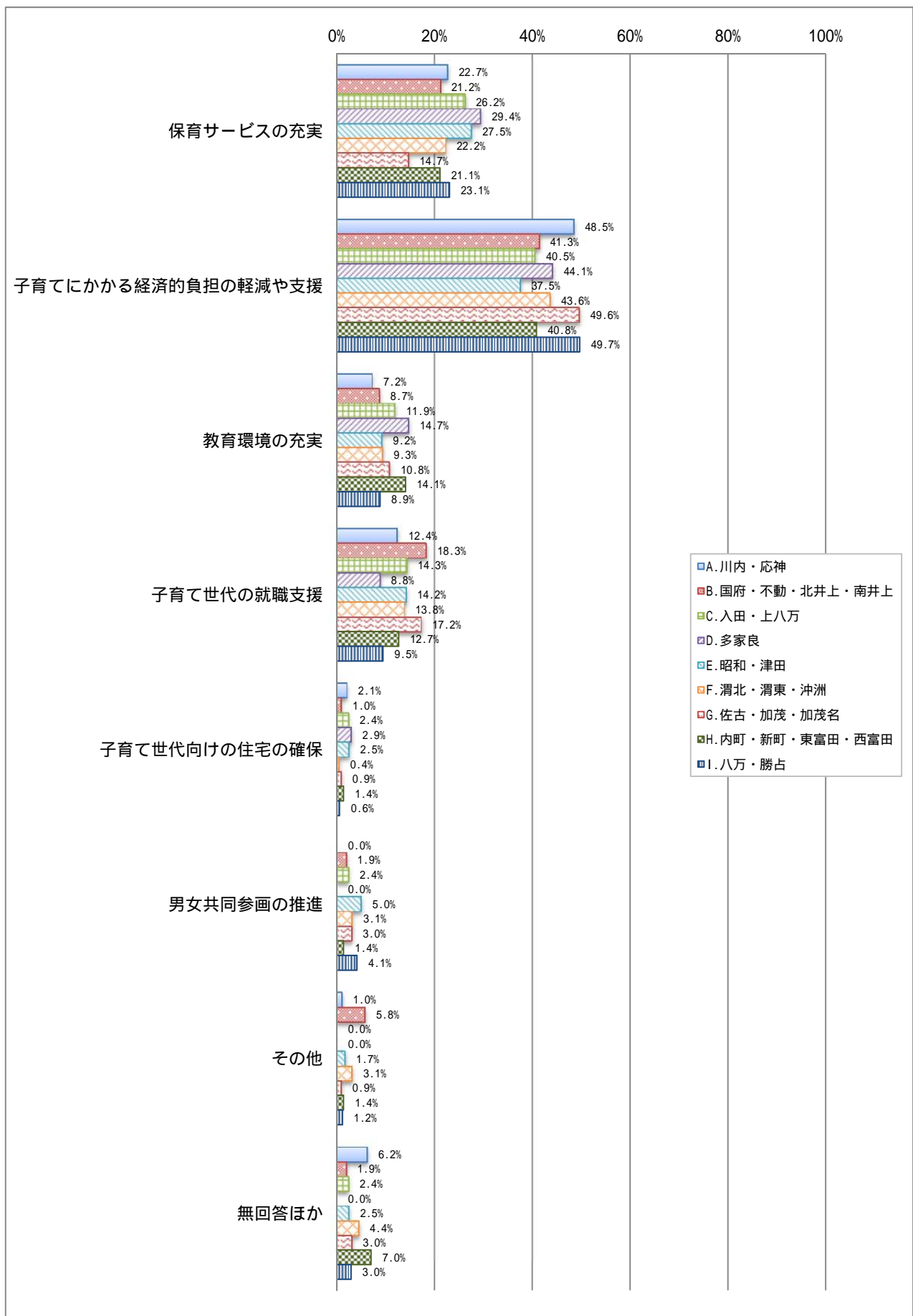
【男女別】



【年代別】



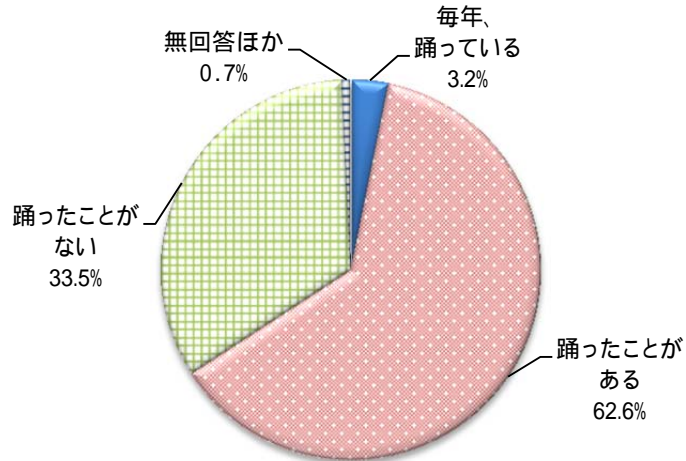
【地区別】



(3) 徳島市は阿波おどりの本場として有名ですが、あなたは阿波おどりを踊ったことがありますか。

“阿波おどりの経験については、「踊ったことがある」が最も多く(62.6%)、「毎年、踊っている」(3.2%)とあわせると65.8%の人が阿波おどりの経験があると回答している。

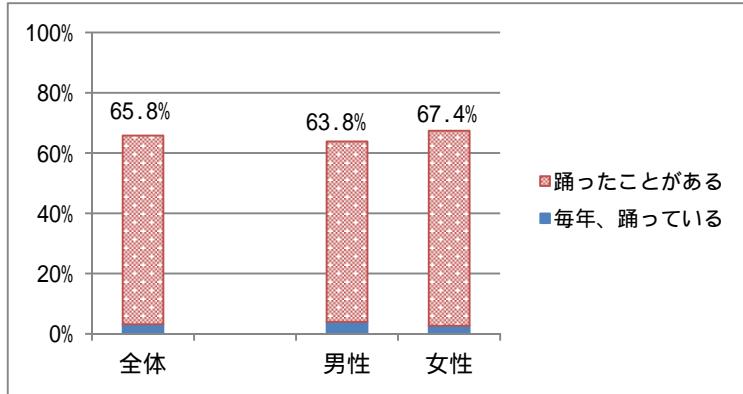
図21 "阿波おどり"を踊ったことがあるか



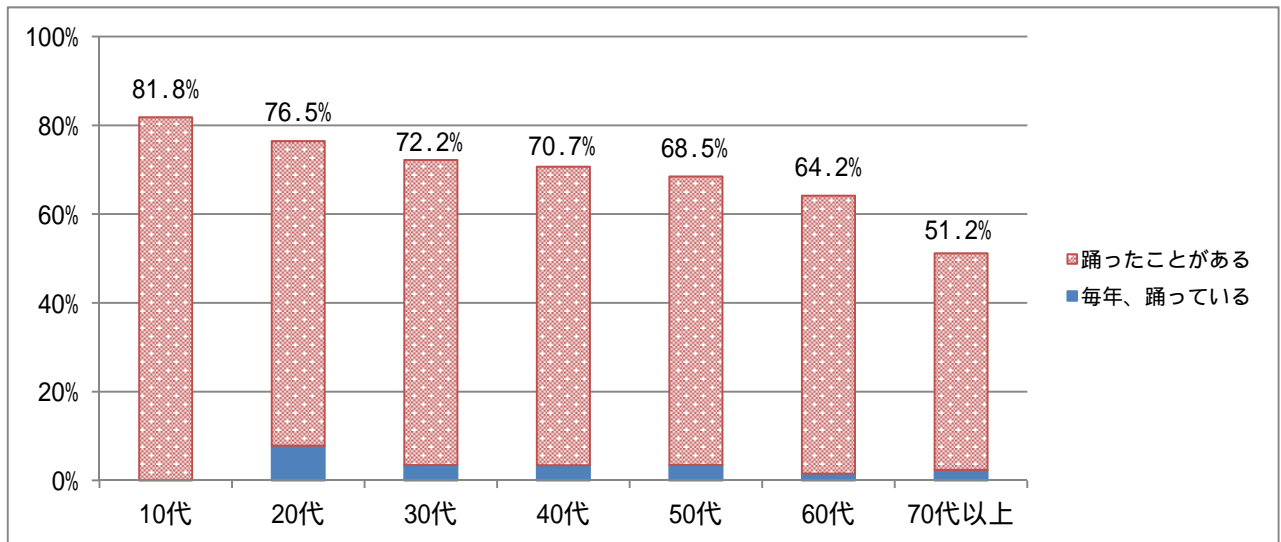
	人数	構成比
毎年、踊っている	35	3.2%
踊ったことがある	687	62.6%
踊ったことがない	367	33.5%
有効回答数	1089	99.3%
無回答ほか	8	0.7%
総回答数	1097	100.0%

“阿波おどりの経験があると回答した人の割合(「毎年、踊っている」、「踊ったことがある」の合計。)について、【全体・男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

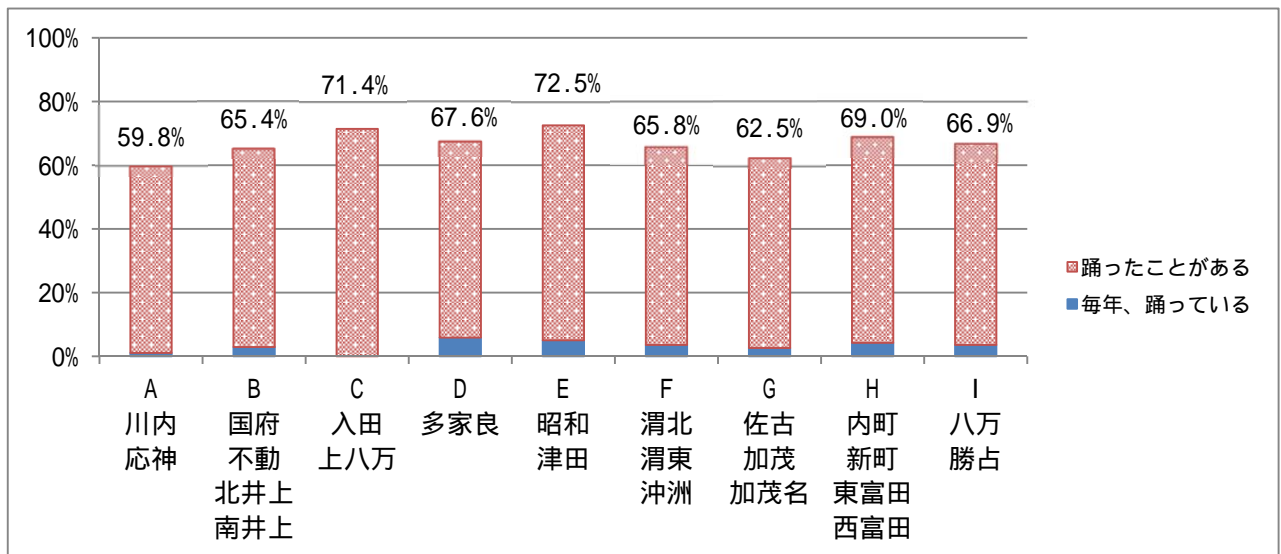
【全体・男女別】



【年代別】



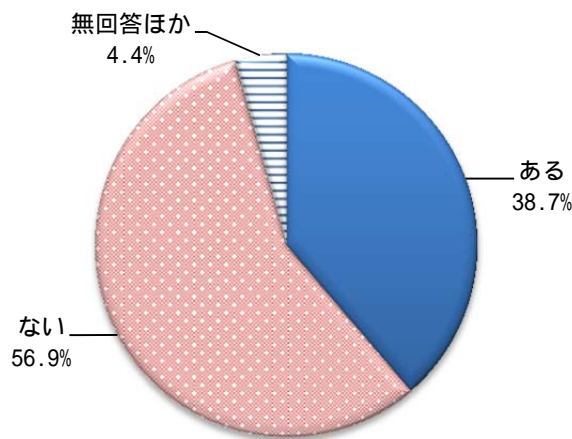
【地区別】



(4) 徳島市内では、阿波おどり以外でも人々が多く参加するイベント(例: はな・はる・フェスタ、阿波の狸まつり、吉野川フェスティバルなど)が開催されています。あなたが好きな、または今後も継続的に参加したい、発展させていきたいイベントはありますか?

好きな、または今後も継続的に参加したい、発展させていきたいイベントについては、「ある」が38.7%、「ない」が56.9%となっている。

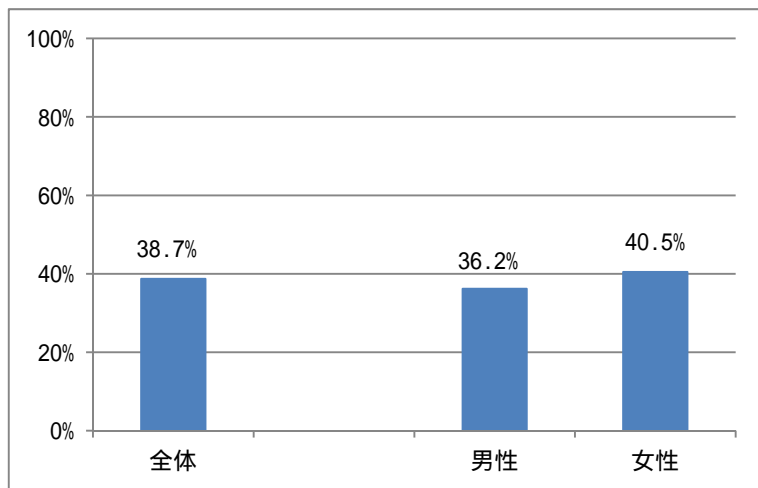
図22 好きな・参加したい・発展させたいイベントがあるか



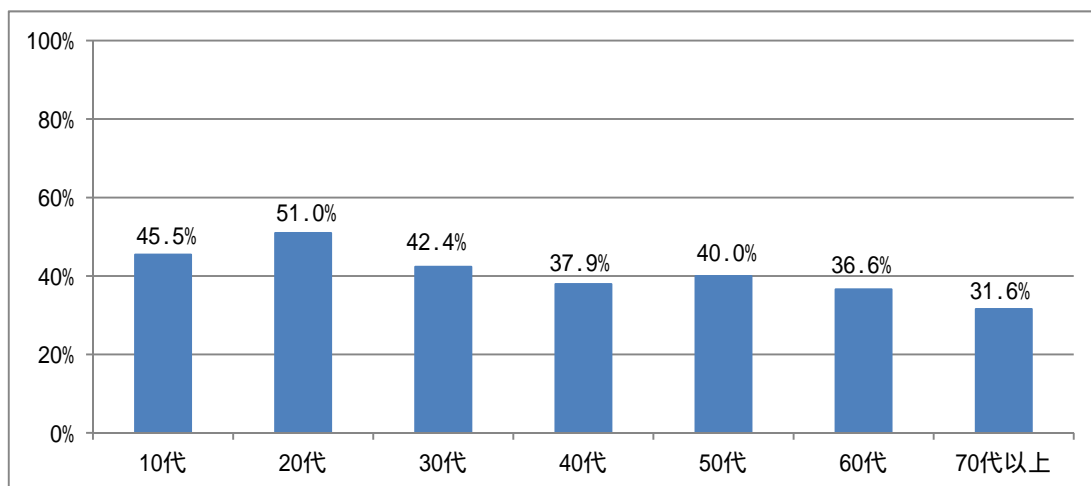
	人数	構成比
ある	425	38.7%
ない	624	56.9%
有効回答数	1049	95.6%
無回答ほか	48	4.4%
総回答数	1097	100.0%

好きな、または今後も継続的に参加したい、発展させていきたいイベントが「ある」と回答した割合について、【全体・男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

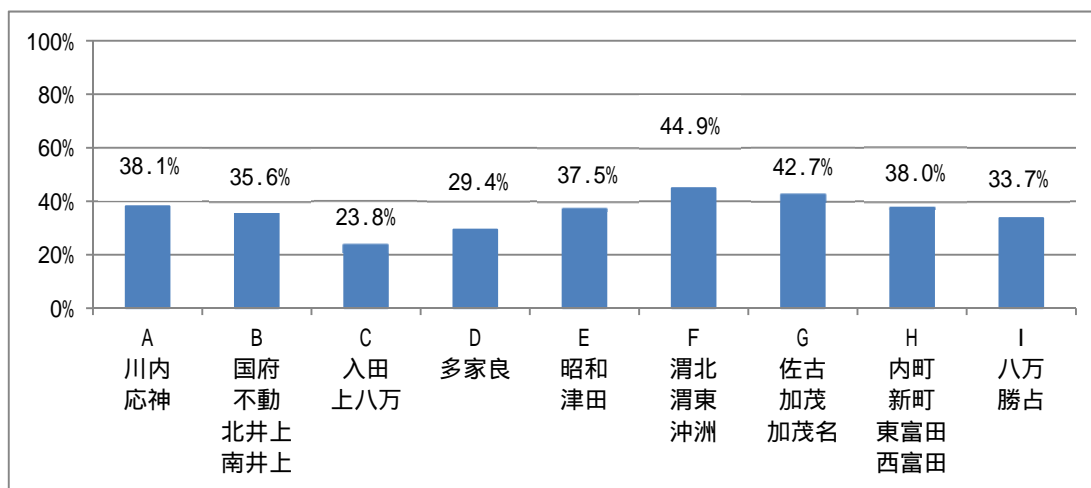
【全体・男女別】



【年代別】

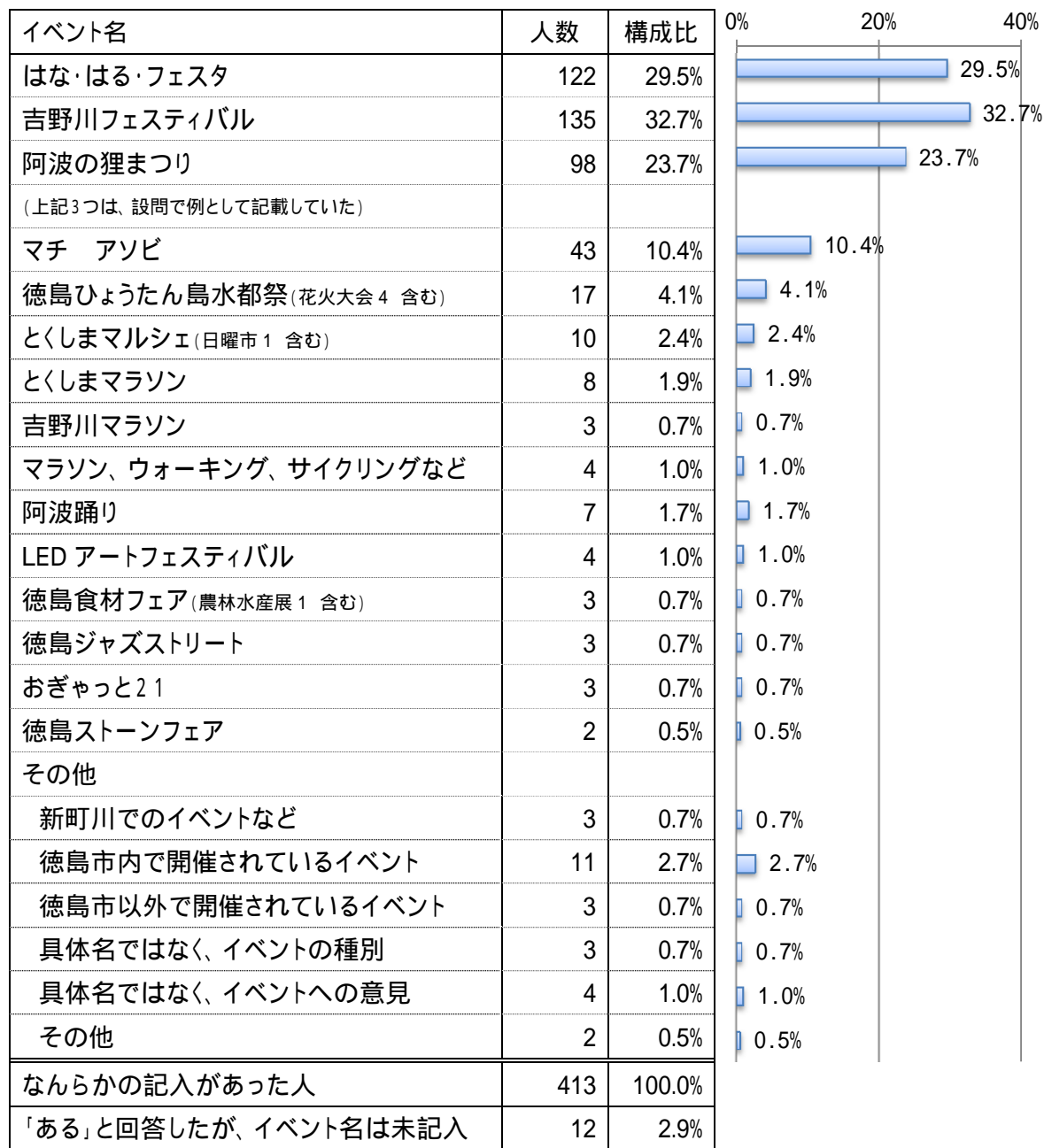


【地区別】



「ある」と回答した人（計 425 人）のうち、イベント名の回答があったのは 413 人で、このうち最も多かったのが、「吉野川フェスティバル」（32.7%）、次いで「はな・はる・フェスタ」（29.5%）、「阿波の狸まつり」（23.7%）となっている。設問内に例として記載のなかったイベントで最も多かったのは「マチアソビ」（10.4%）で、次いで「徳島ひょうたん島水都祭」（4.1%）、「とくしまマルシェ」（2.4%）となっている。（注意：「イベント名」の自由記入欄に複数の記入があった場合、それぞれに計上した。）

図23 好きな・参加したい・発展させたいイベント名



また、「ある」と回答した人（452 人）のうち、イベント名を記入した理由についての回答があったのは 359 人である。このうち、上位 4 つのイベントについての理由を次頁の表に整理した。

イベント	理由 (単位は人)	はな・ はる・ フェスタ	吉野川 フェスティバル	阿波の 狸まつり	マチ アソビ
共通	いろいろな世代が楽しめる内容である	13	11	18	
	市内の中心地で開催されているので、場所的に参加しやすい	10	7	4	
	活気・賑わいがある	5	4	7	8
	歌手などのライブや一般人のステージ	7	6	3	
	楽しい	6	3	4	6
	季節的に出かけやすい	8		3	
特徴的な意見					
はな・ はる・ フェスタ	農産物や特産品を購入したり味わったりできる。 広報の良い機会。	13		1	
	自然が良い、花がきれい	7			
	春にも阿波踊りが楽しめる	7			
	ラーメン博	6			
	春が来たイメージ	4			
吉野川 フェスティバル	花火が楽しみ		46		
	自然、吉野川を感じられる		15		
	バーベキューができる		7		
	広い、駐車場がある		6		
	屋台が楽しみ		6		
	3日間の連続開催が良い		5		
阿波の 狸まつり	「阿波の狸合戦の歴史があり、徳島らしい独特なイベント」			12	
	長年続いており、恒例となっている	1	1	11	
マチ アソビ	県内外からの集客がある				19
	全国的にも有名になりつつある				3

上位4つのイベントについての理由をみると、「活気・賑わいがある」「楽しい」などの意見が共通して多くみられた。

それぞれのイベントの特徴的な意見としては、「はな・はる・フェスタ」では、「農産物や特産品を購入したり味わったりできる。広報の良い機会。」という意見が最も多く、「自然が良い、花がきれい」や「春にも阿波踊りが楽しめる」といった意見も多かった。

「吉野川フェスティバル」では、「花火が楽しみ」という意見が最も多く、「自然、吉野川を感じられる」や「バーベキューができる」といった意見も多かった。

「阿波の狸まつり」では、「阿波の狸合戦の歴史があり、徳島らしい独特なイベント」や「長年続いており、恒例となっている」といった意見が多かった。

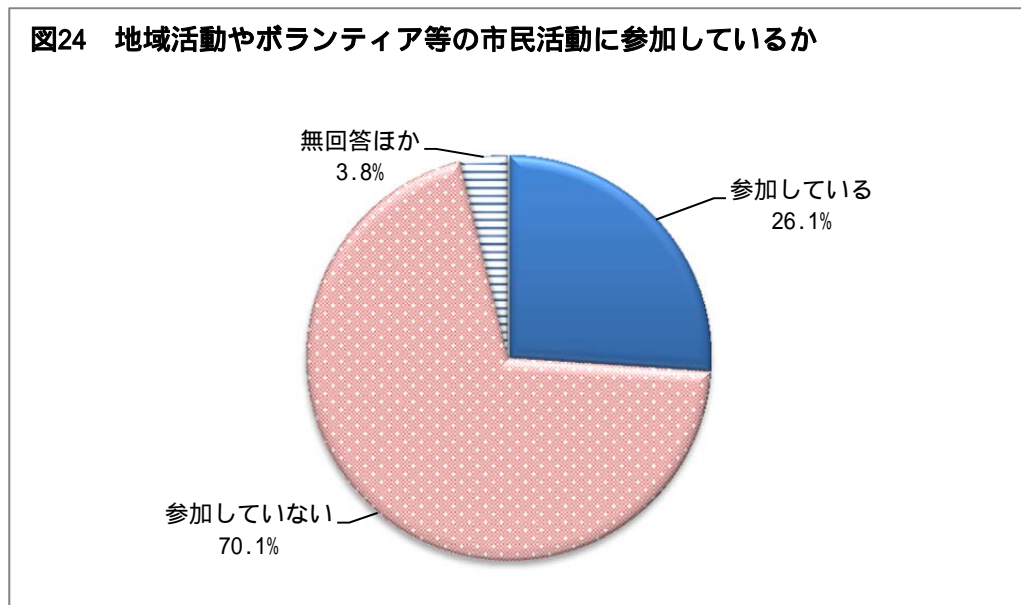
「マチ アソビ」については、「県内外からの集客がある」という意見が最も多く、「全国的にも有名になりつつある」などの意見も多い。また、「活気・賑わいがある」という意見の中でも「若者」をキーワードにした意見が多くみられた。

上位3つのイベントは、「いろいろな世代が楽しめる内容である」、「市内の中心地で開催されているので、場所的に参加しやすい」など、市民が自ら楽しむものであるという印象を受けるのに対して、『マチ アソビ』については、集客効果、経済効果のある観光イベントとしての価値を重視したような理由が多いことが特徴的である。

2-4．市民と市役所の協働のまちづくりに対する意識

(1) 現在、町内会や子ども会などの地域活動、またはボランティア、NPOなどの市民活動に参加していますか。

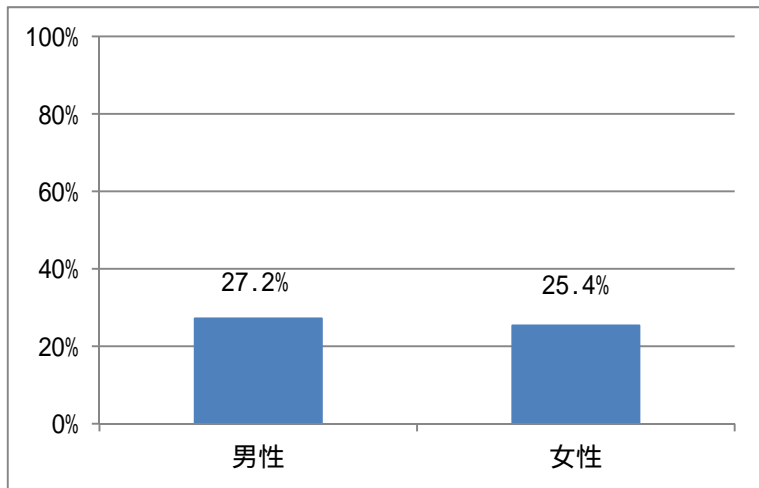
地域活動やボランティア等の市民活動への参加については、「参加していない」が70.1%、「参加している」が26.1%となっている。



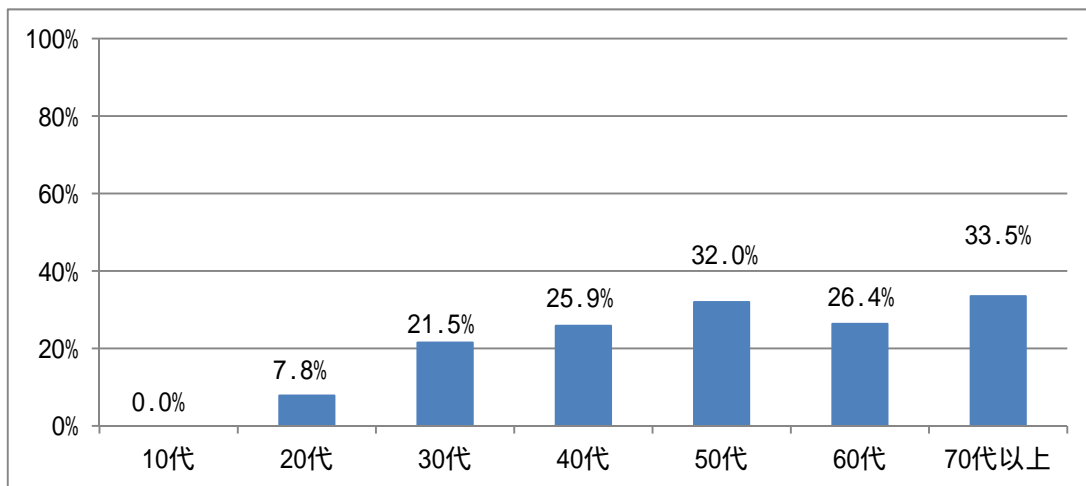
	人数	構成比
参加している	286	26.1%
参加していない	769	70.1%
有効回答数	1055	96.2%
無回答ほか	42	3.8%
総回答数	1097	100.0%

地域活動やボランティア等の市民活動へ「参加している」と回答した割合について、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

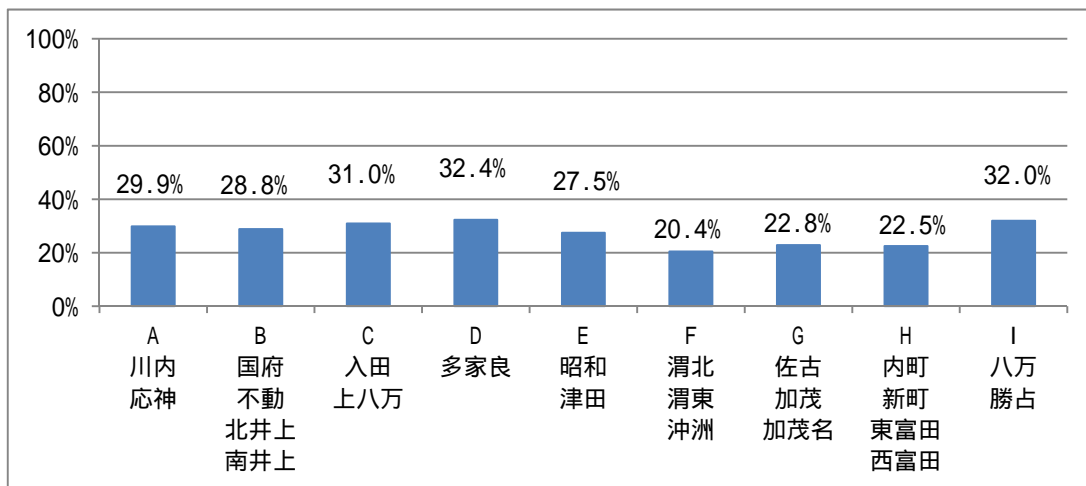
【男女別】



【年代別】



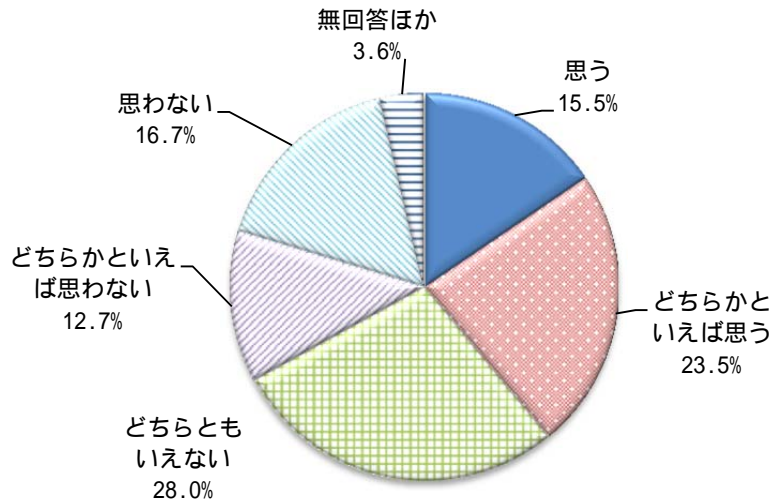
【地区別】



(2) 今後、地域活動や市民活動に参加したいと思いますか。

今後の、地域活動やボランティア等の市民活動への参加については、「どちらともいえない」が最も多く(28.0%)、「どちらかといえば思う」(23.5%)、「思う」(15.5%)をあわせると39.0%。「思わない」(16.7%)、「どちらかといえば思わない」(12.7%)をあわせると29.4%となっている。

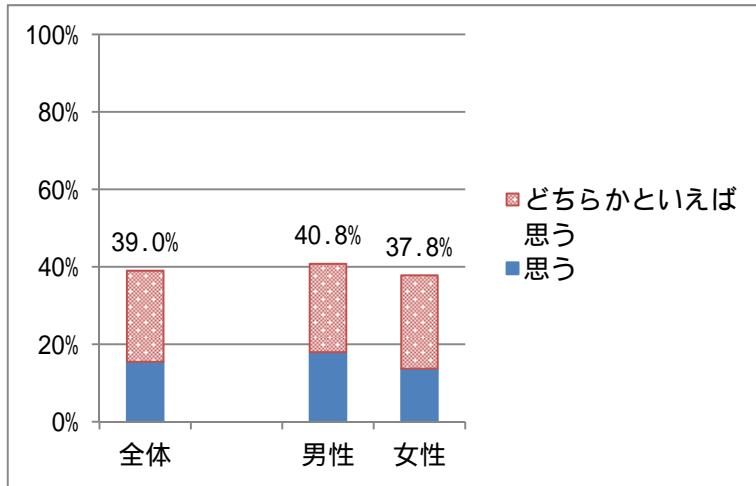
図25 今後、地域活動や市民活動に参加したいか



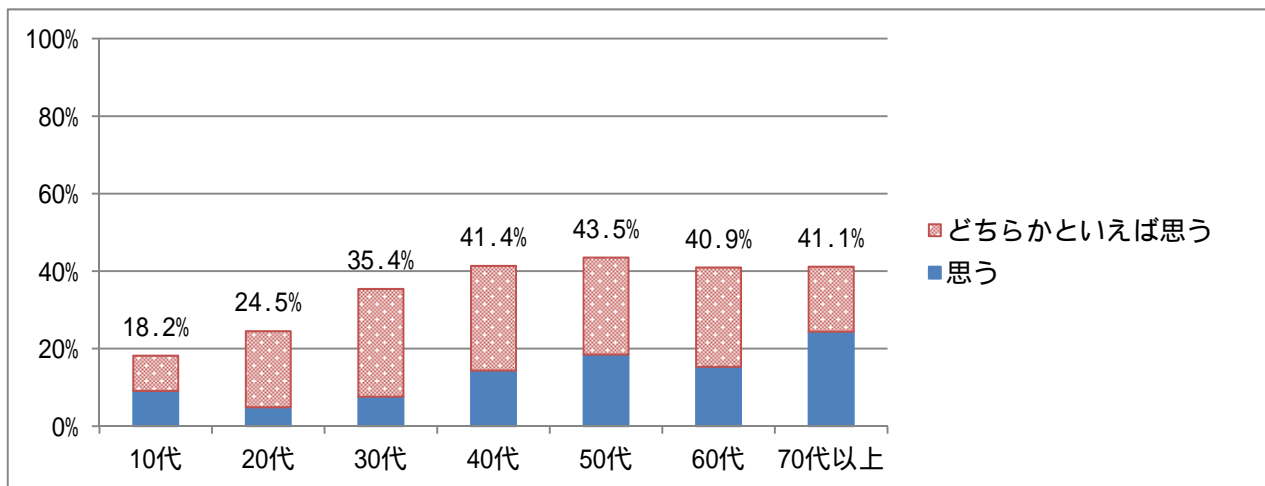
	人数	構成比
思う	170	15.5%
どちらかといえば思う	258	23.5%
どちらともいえない	307	28.0%
どちらかといえば思わない	139	12.7%
思わない	183	16.7%
有効回答数	1057	96.4%
無回答ほか	40	3.6%
総回答数	1097	100.0%

今後の、地域活動やボランティア等の市民活動へ「参加したい」と回答した割合（「思う」、「どちらかといえば思う」の合計。）について、【全体・男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

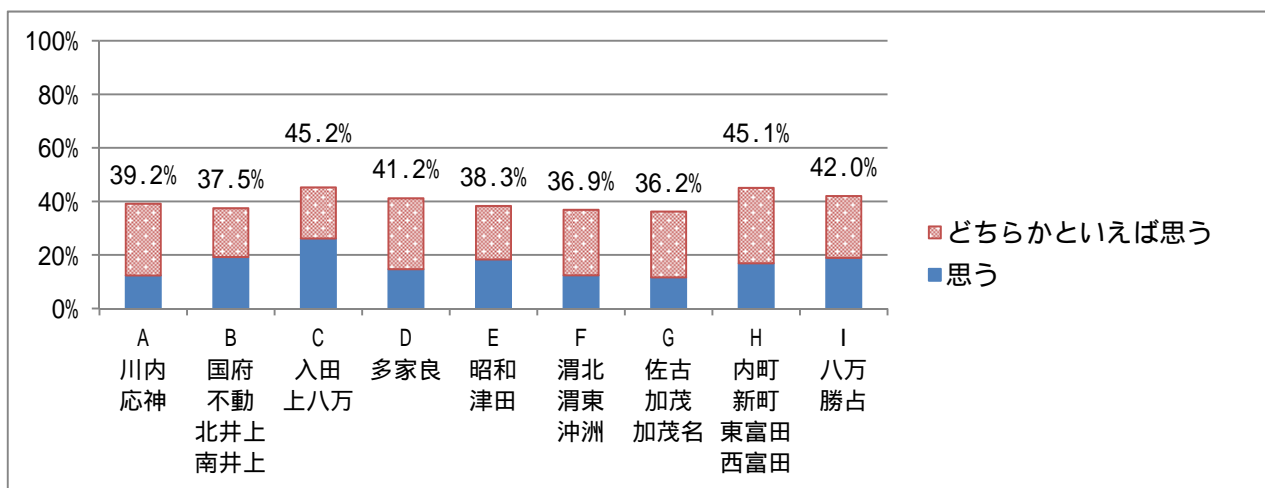
【全体・男女別】



【年代別】



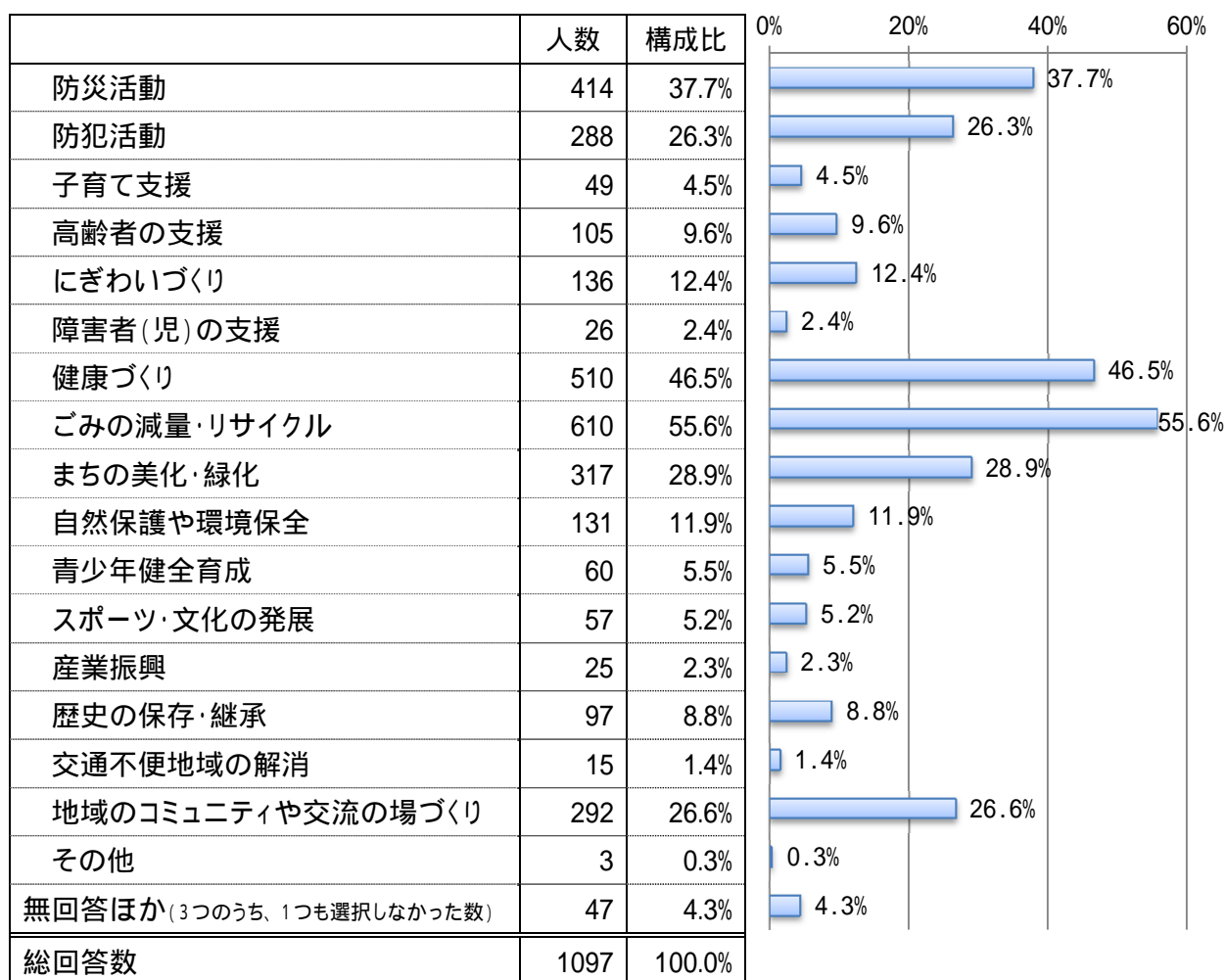
【地区別】



(3)次の中で、市民ができることや市民がやるべきこと、市役所がやるべきことをそれぞれ3つ選択してください。

市民ができること・やるべきことについて、「ごみの減量・リサイクル」が最も多く(55.6%)、次いで、「健康づくり」(46.5%)、「防災活動」(37.7%)となっている。

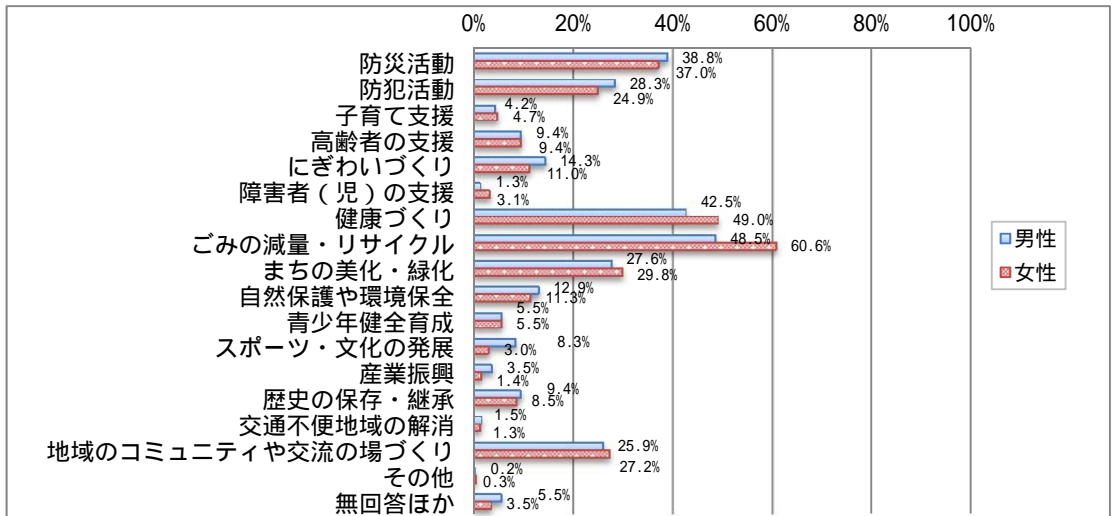
図26 市民ができること・市民がやるべきこと



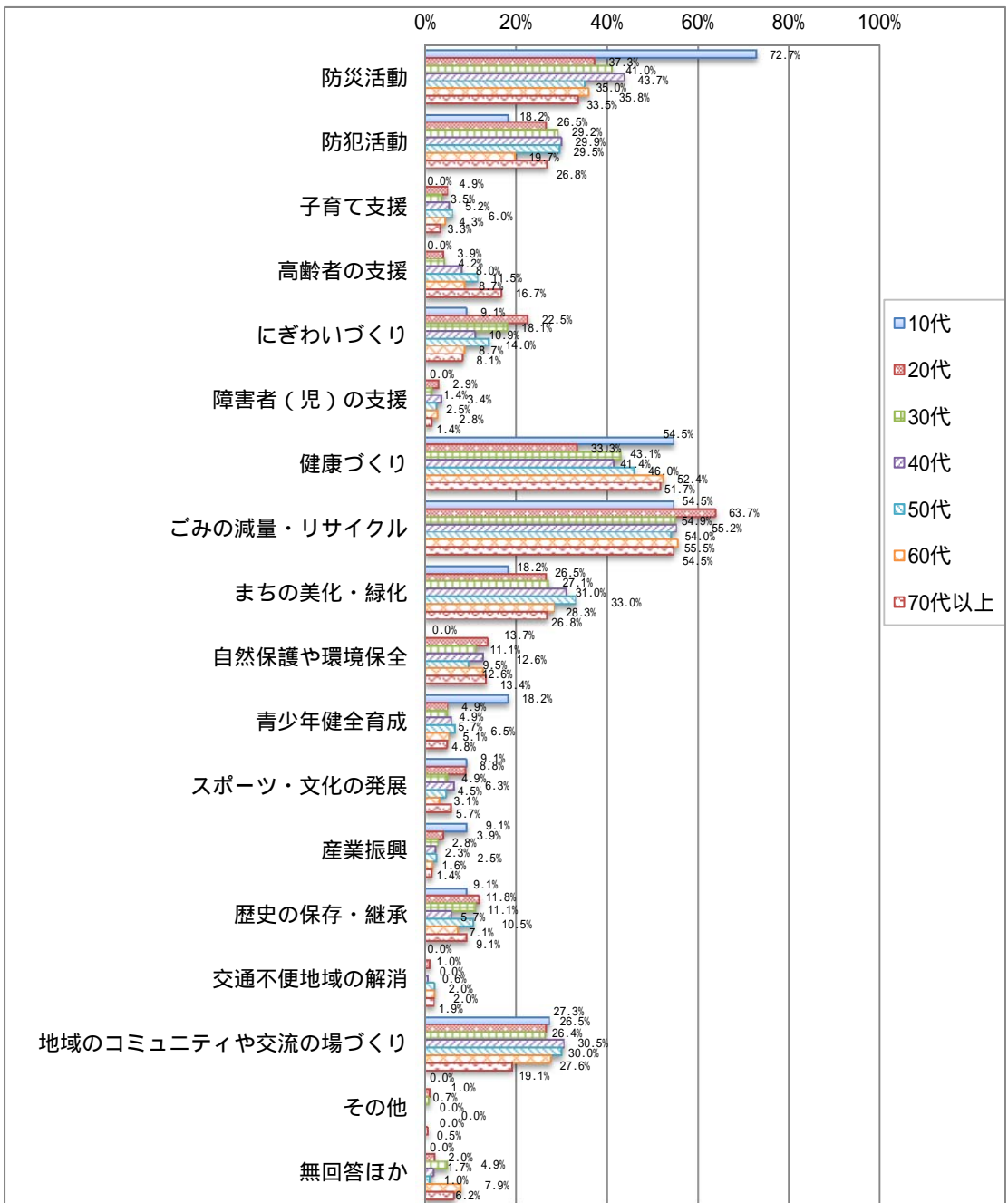
「その他」の自由記入欄には、3件の回答があった。(その他を選択した3人が記入。)

市民ができること・やるべきことについて、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

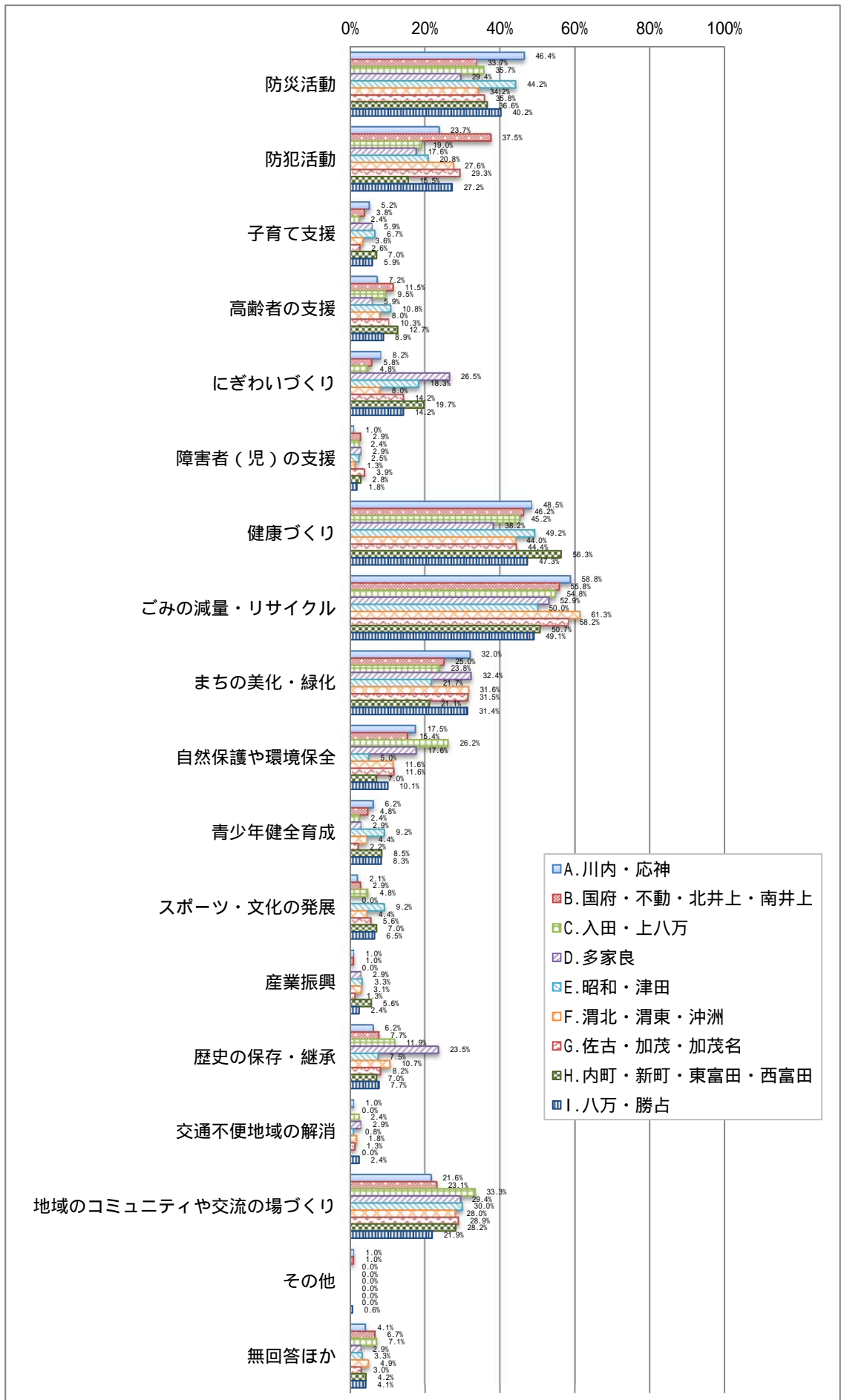
【男女別】



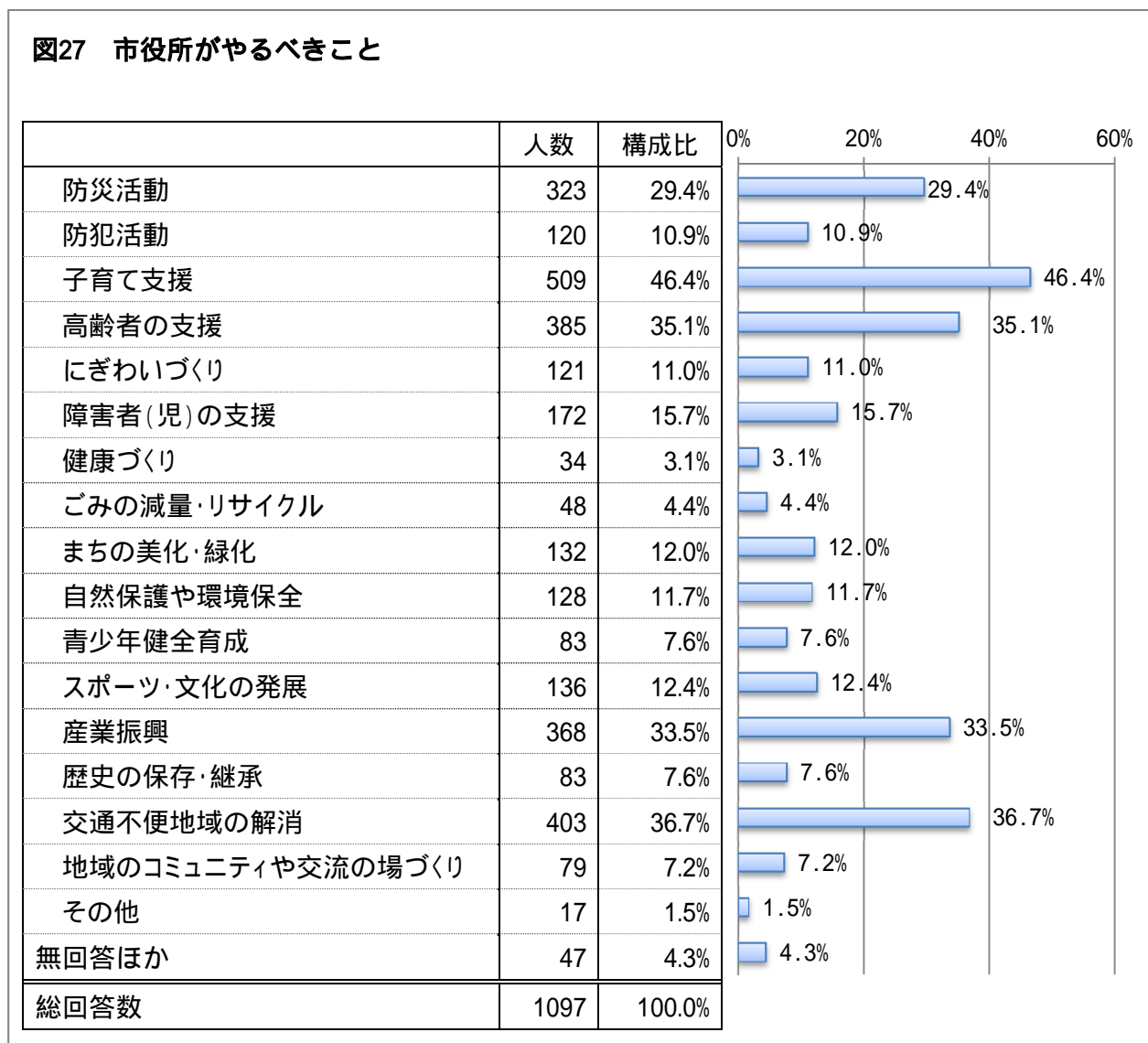
【年代別】



【地区別】



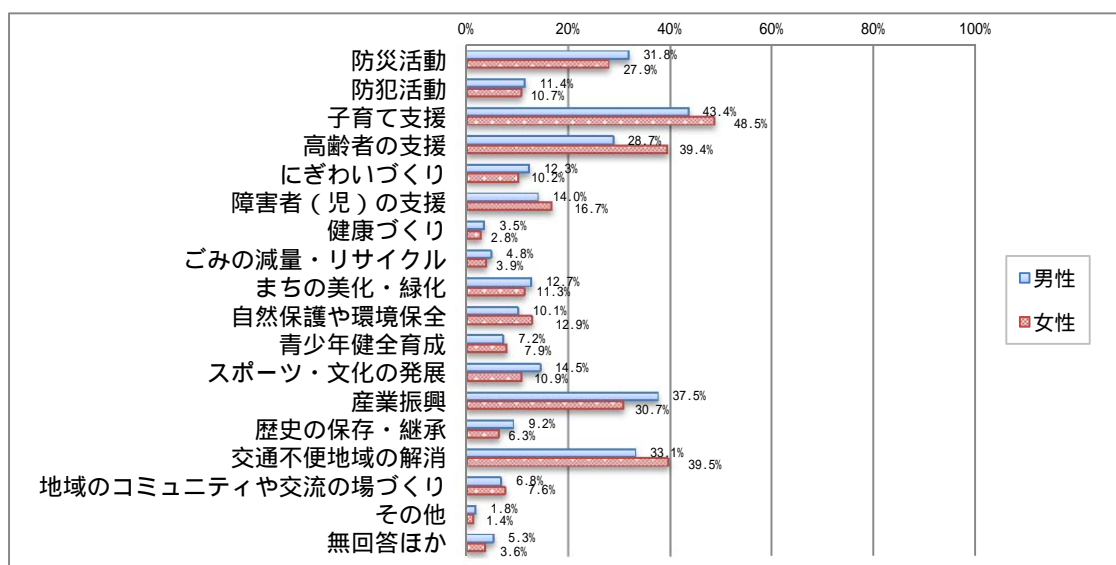
市役所がやるべきことについて、「子育て支援」が最も多く（46.4%）次いで、「交通不便地域の解消」（36.7%）「高齢者の支援」（35.1%）「産業振興」（33.5%）となっている。



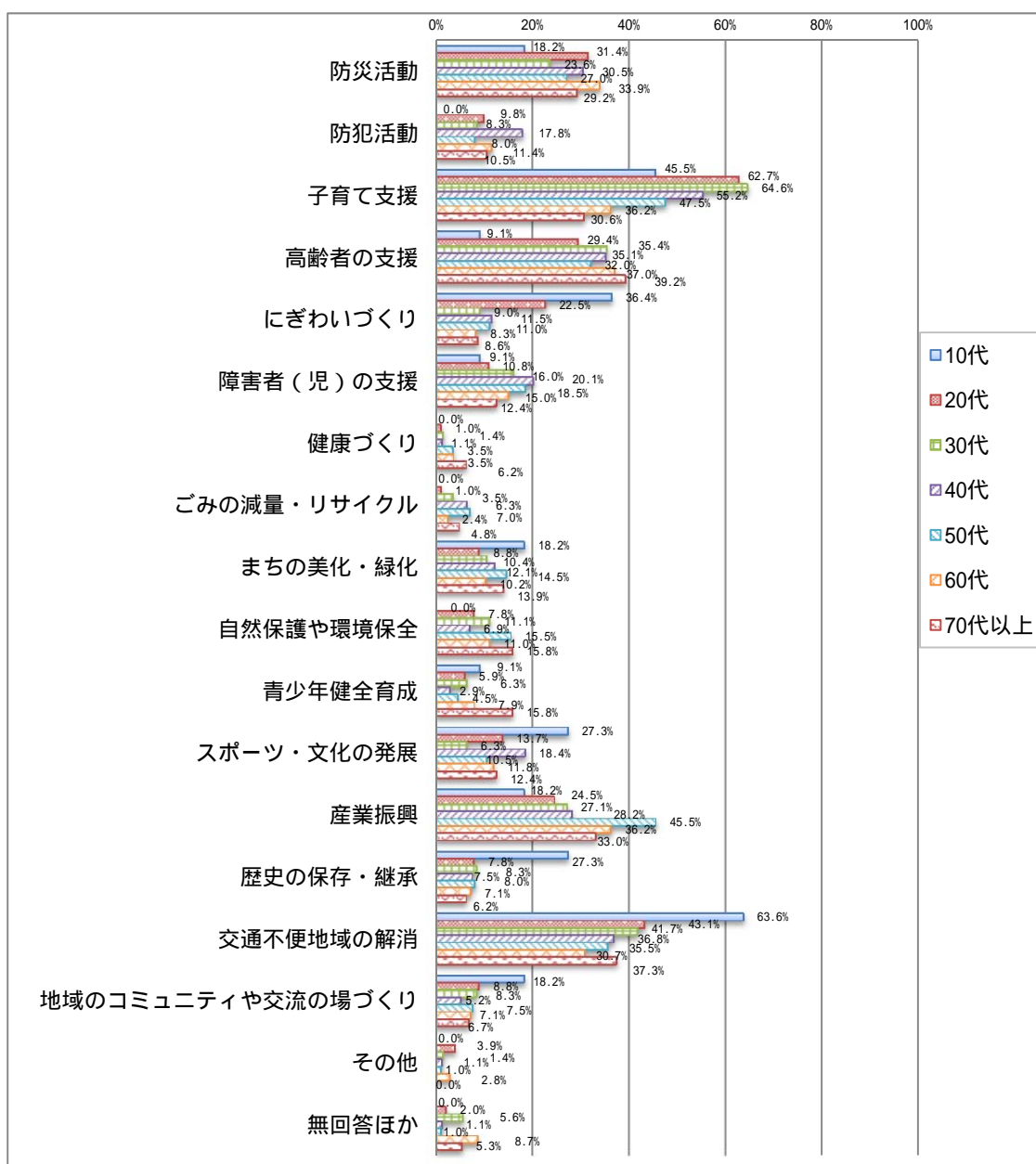
「その他」の自由記入欄には18件の回答があった。（その他を選択した17人、その他を未選択の1人が記入。）このうち、「減税や無駄事業の見直し」に関する内容が7件と、最も多かった。

市役所がやるべきことについて、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

【男女別】



【年代別】



【地区別】

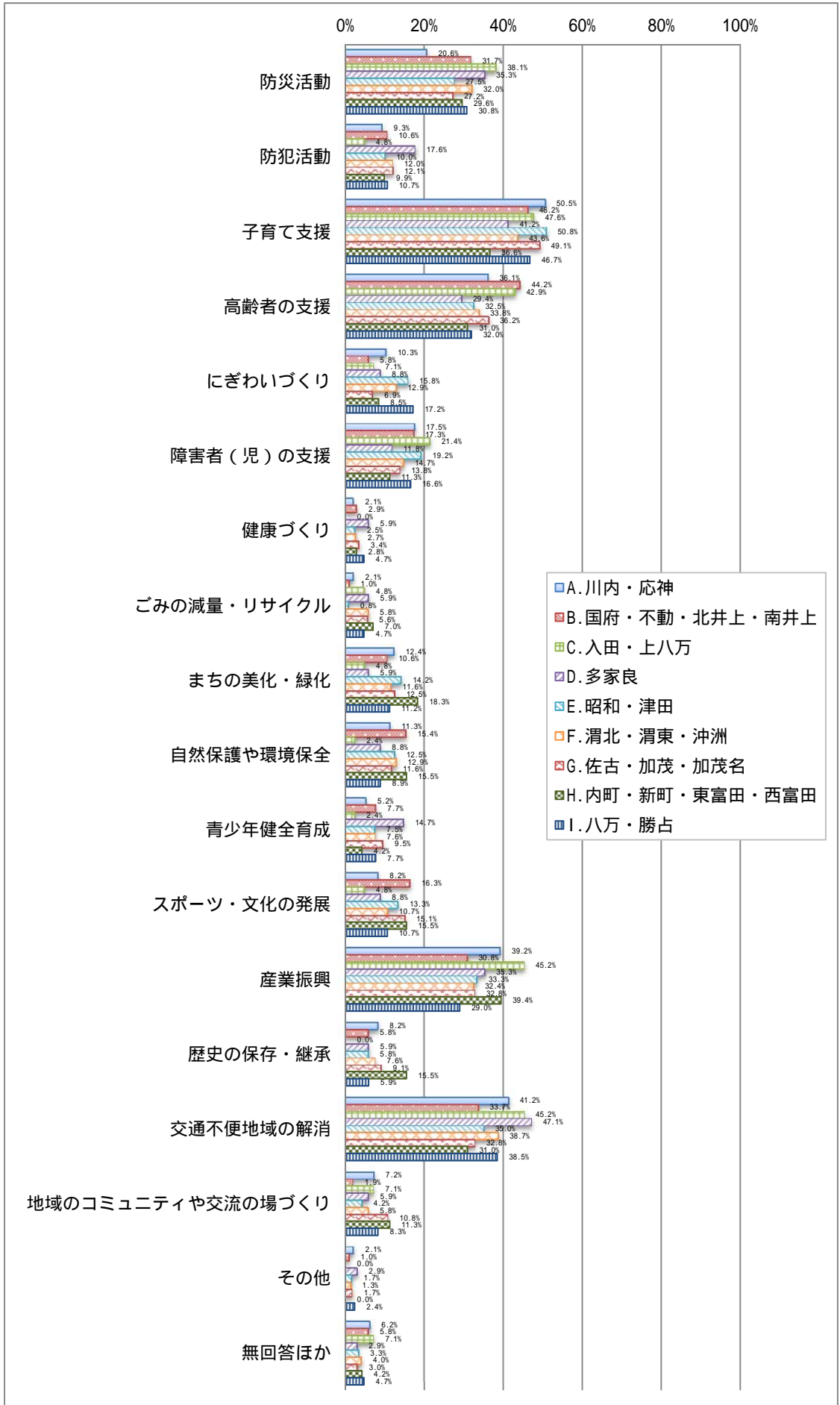
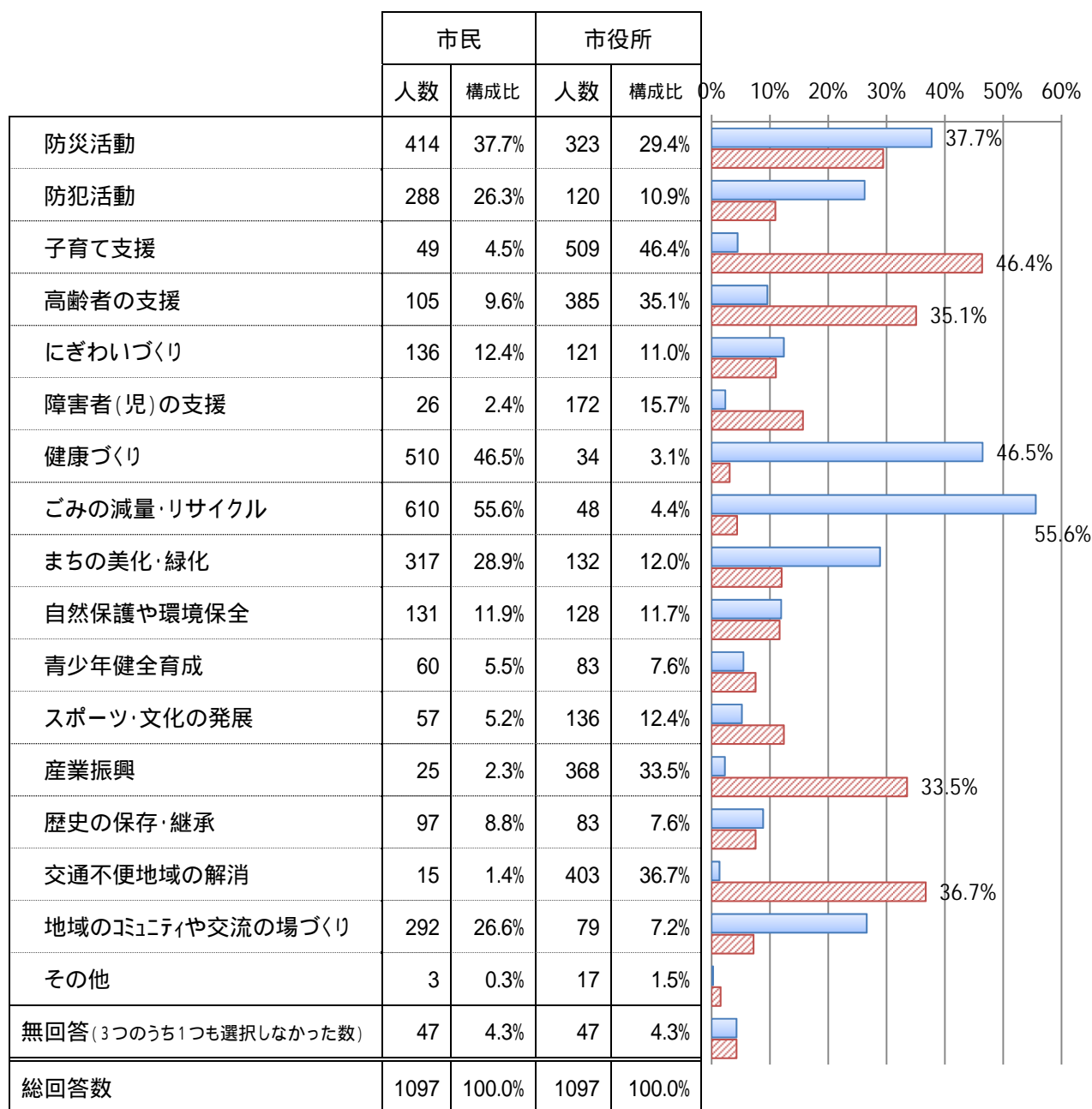


図28 市民がやるべきこと・市役所がやるべきこと（構成比の比較）



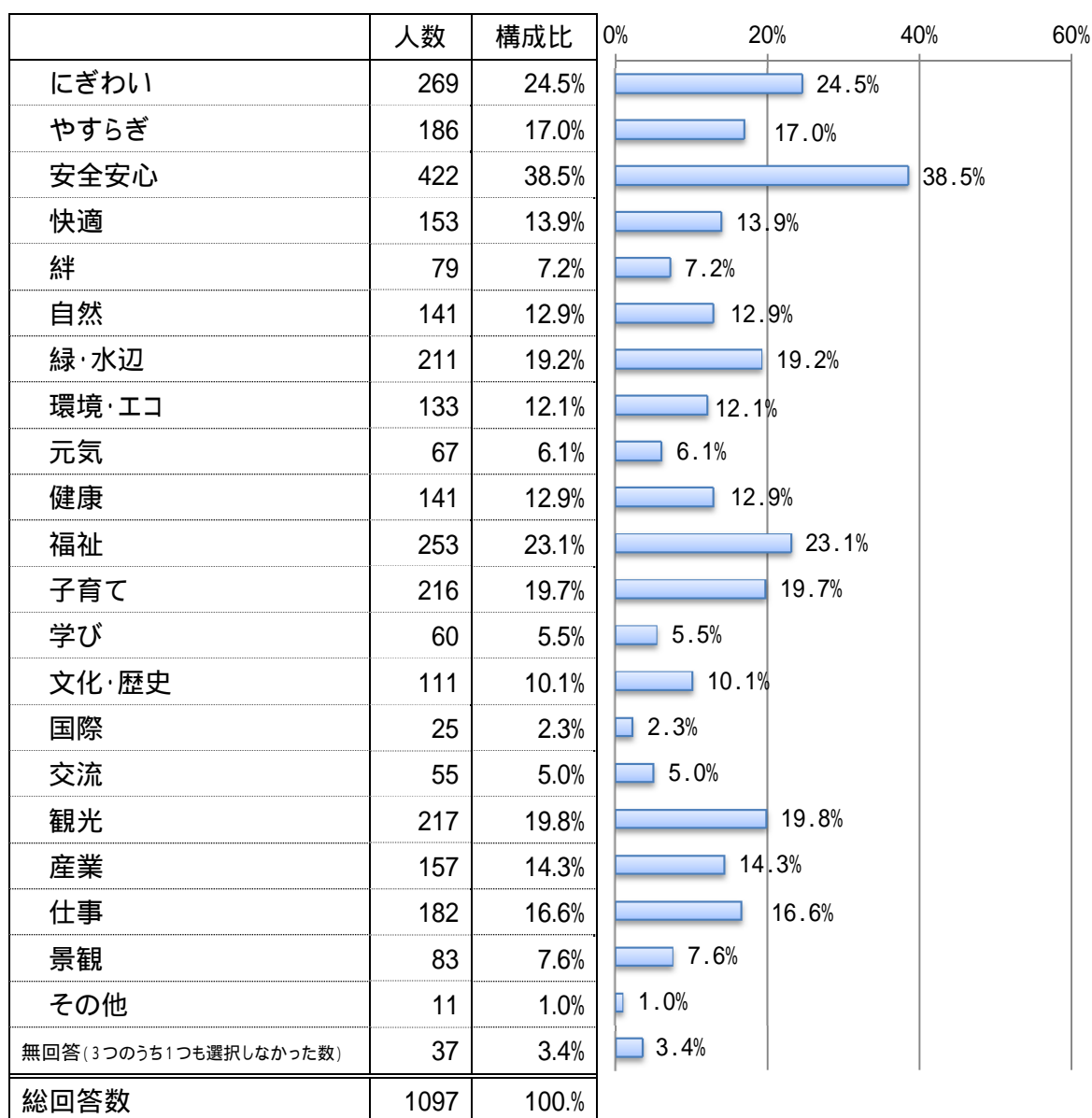
■ 市民がやるべきこと ▨ 市役所がやるべきこと

2-5. 徳島市の将来やイメージに対する意識

(1) これから新しいまちづくりを進めるとき、「徳島市が目指すべき将来のまちの姿」を表す言葉として、あなたのイメージに近いものを3つ選択してください。

「徳島市が目指すべき将来のまちの姿」を表す言葉としては、「安全安心」が最も多く(38.5%)、次いで、「にぎわい」(24.5%)、「福祉」(23.1%)となっている。

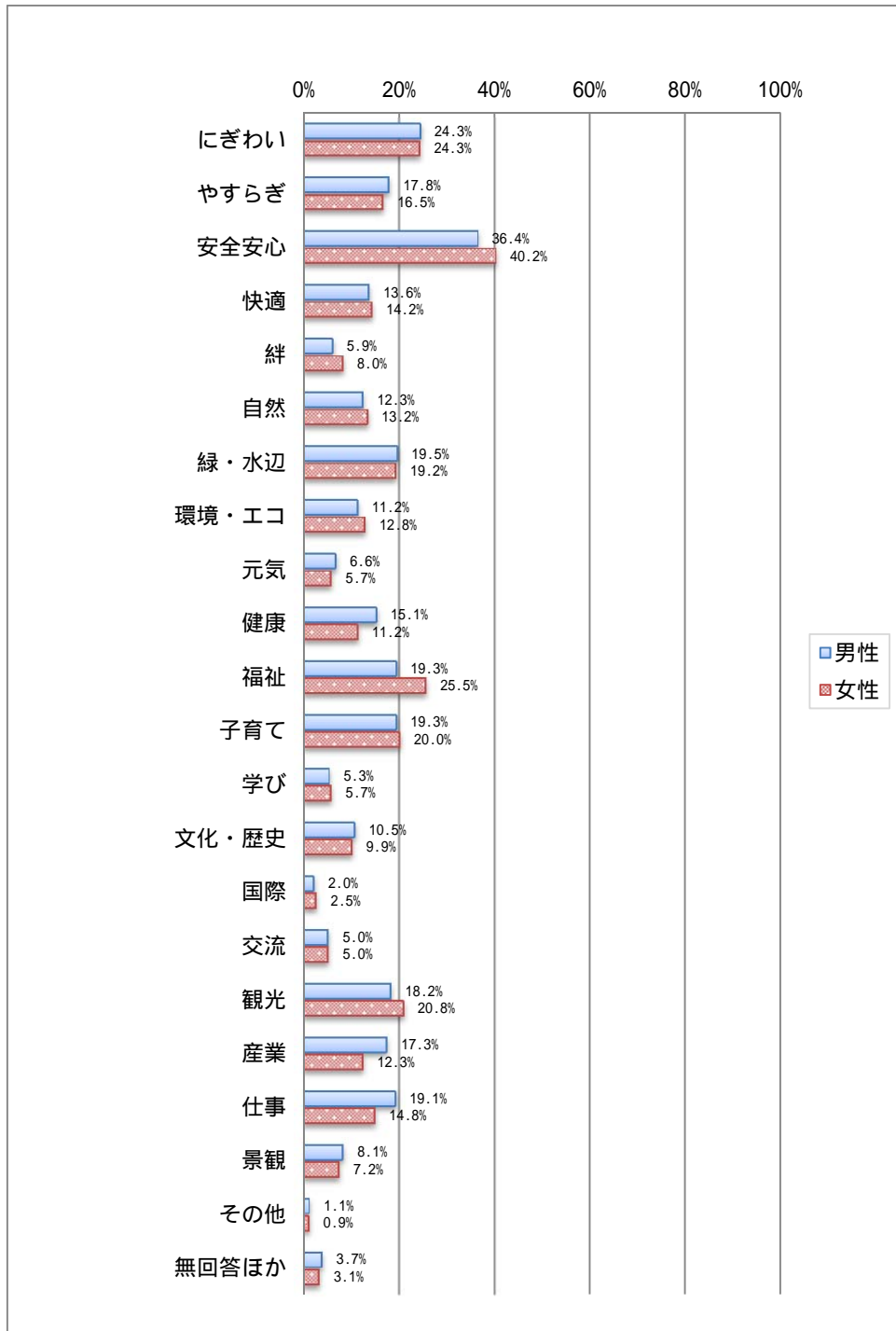
図29 「徳島市が目指すべき将来のまちの姿」のイメージ



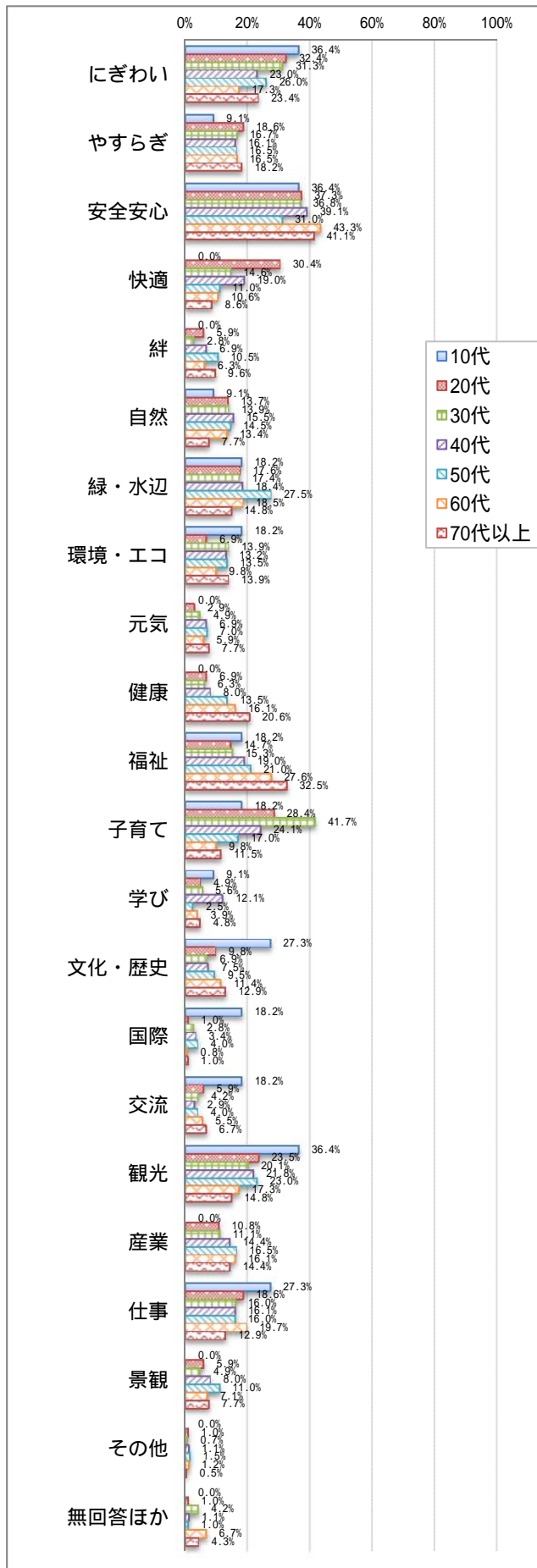
「その他」の自由記入欄には、12件の回答があった。(その他を選択した11人のうち10人、その他を未選択の2人が記入。)

「徳島市が目指すべき将来のまちの姿」を表す言葉として、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

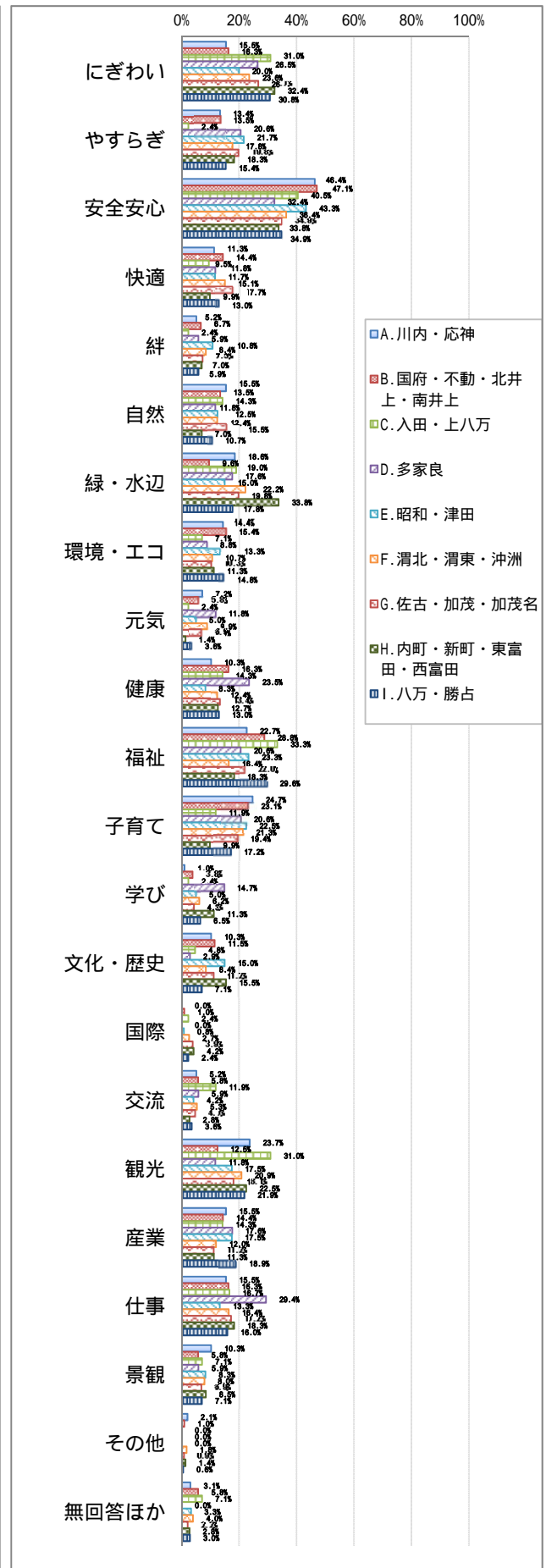
【男女別】



【年代別】



【地区別】

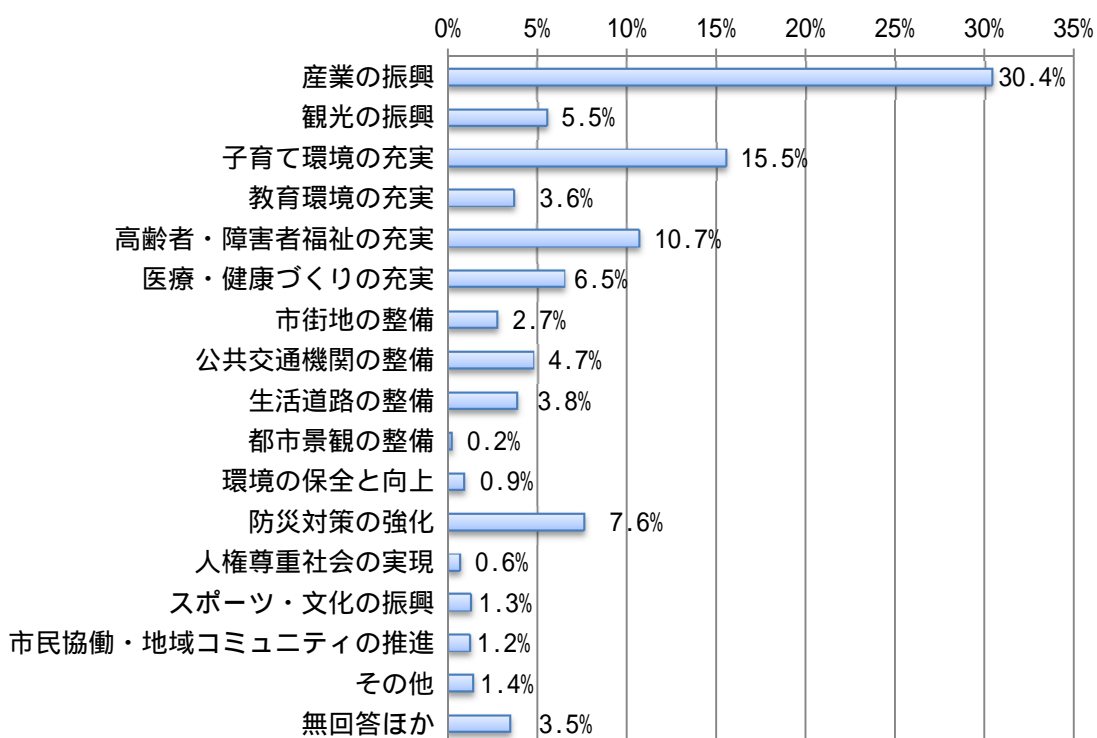


(2) 徳島市が今後さらに暮らしやすい、生活しやすいまちとするため、徳島市が重点的に行うべき取組みを上位3つ選択してください。

1位

徳島市が重点的に行うべき取組みの1位として回答されたのは、「産業の振興」が最も多く(30.4%)、次いで、「子育て環境の充実」(15.5%)、「高齢者・障害者福祉の充実」(10.7%)となっている。

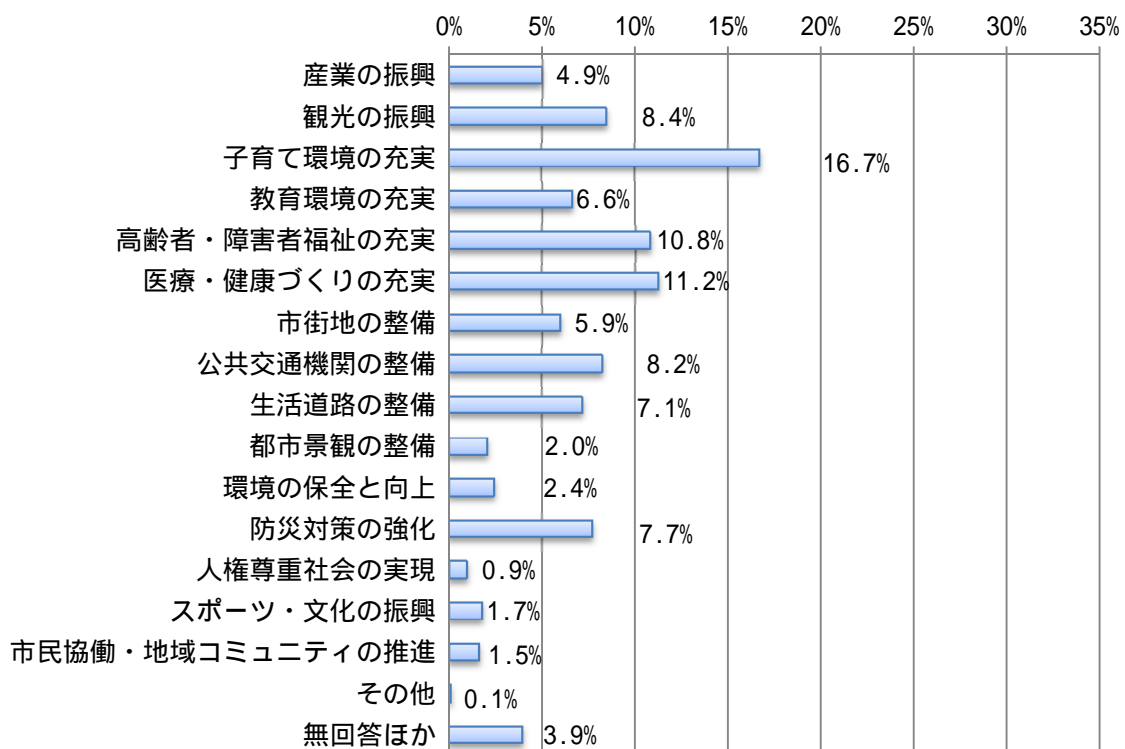
図30 徳島市が重点的に行うべき取組み (1位)



2位

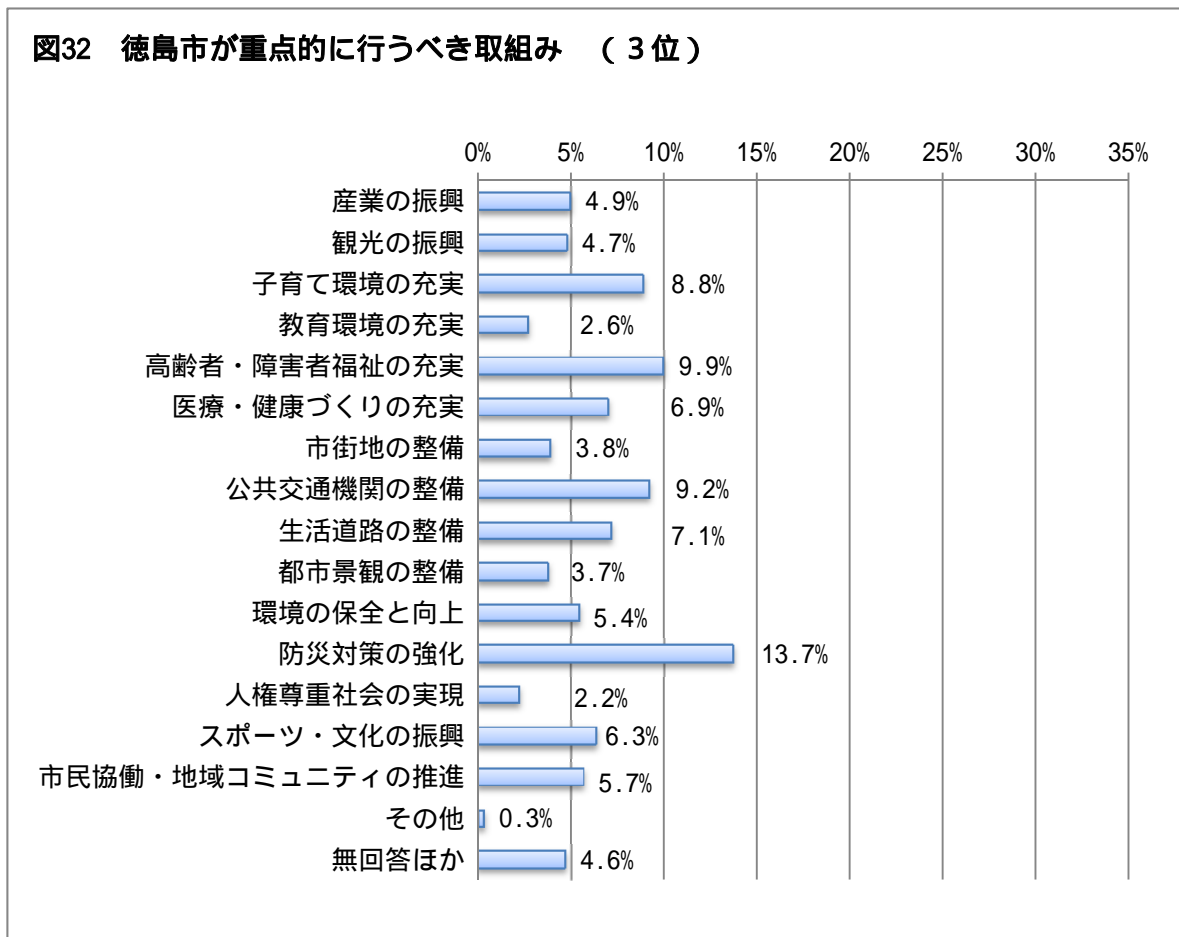
徳島市が重点的に行うべき取り組みの2位として回答されたのは、「子育て環境の充実」が最も多く（16.7%）、次いで、「医療・健康づくりの充実」（11.2%）、「高齢者・障害者福祉の充実」（10.8%）となっている。

図31 徳島市が重点的に行うべき取り組み（2位）



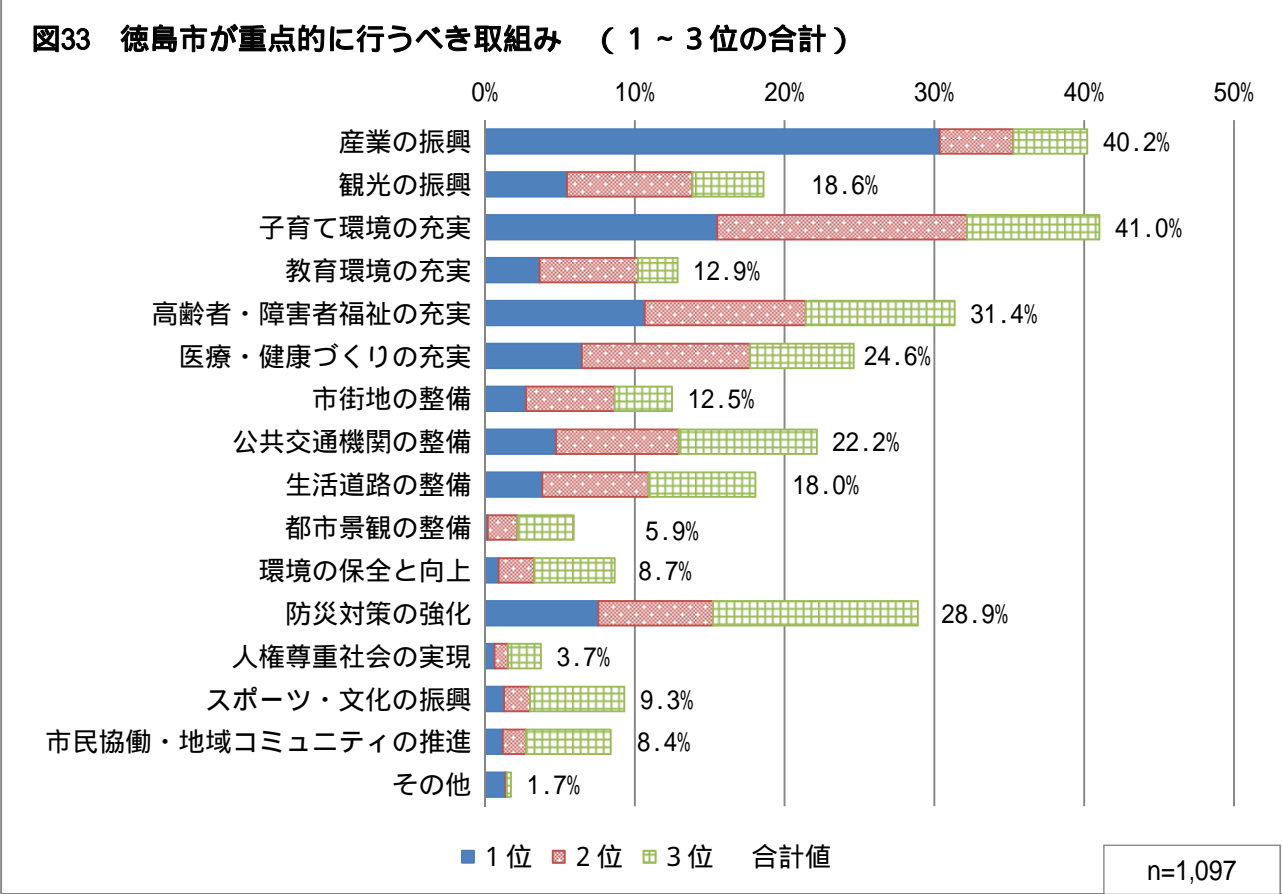
3位

徳島市が重点的に行うべき取り組みの3位として回答されたのは、「防災対策の強化」が最も多く（13.7%）、次いで、「高齢者・障害者福祉の充実」（9.9%）、「公共交通機関の整備」（9.2%）となっている。



「その他」の自由記入欄には、21件の回答があった。（その他を選択した19人のうち18人、その他を未選択の3人が記入。）このうち、「インフラ整備・下水道整備」に関するものが4件と最も多く、「税金の使い方」に関するものが2件、「雇用の創出・確保」に関するものが2件であった。

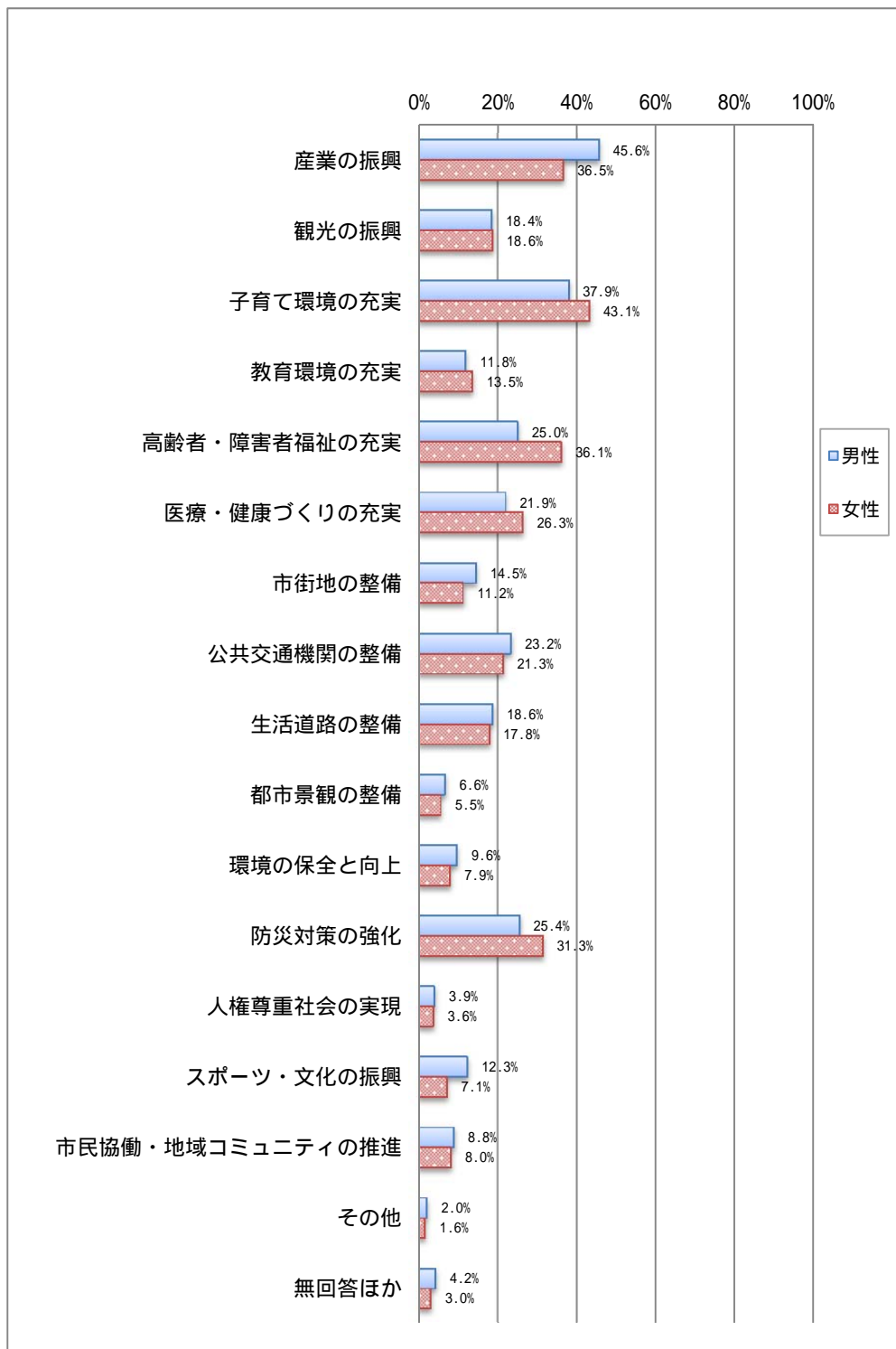
徳島市が重点的に行うべき取り組みとして回答のあった1位から3位の合計をみると、「子育て環境の充実」が最も多く(41.0%)、次いで、「産業の振興」(40.2%)、「高齢者・障害者福祉の充実」(31.4%)、「防災対策の強化」(28.9%)となっている。



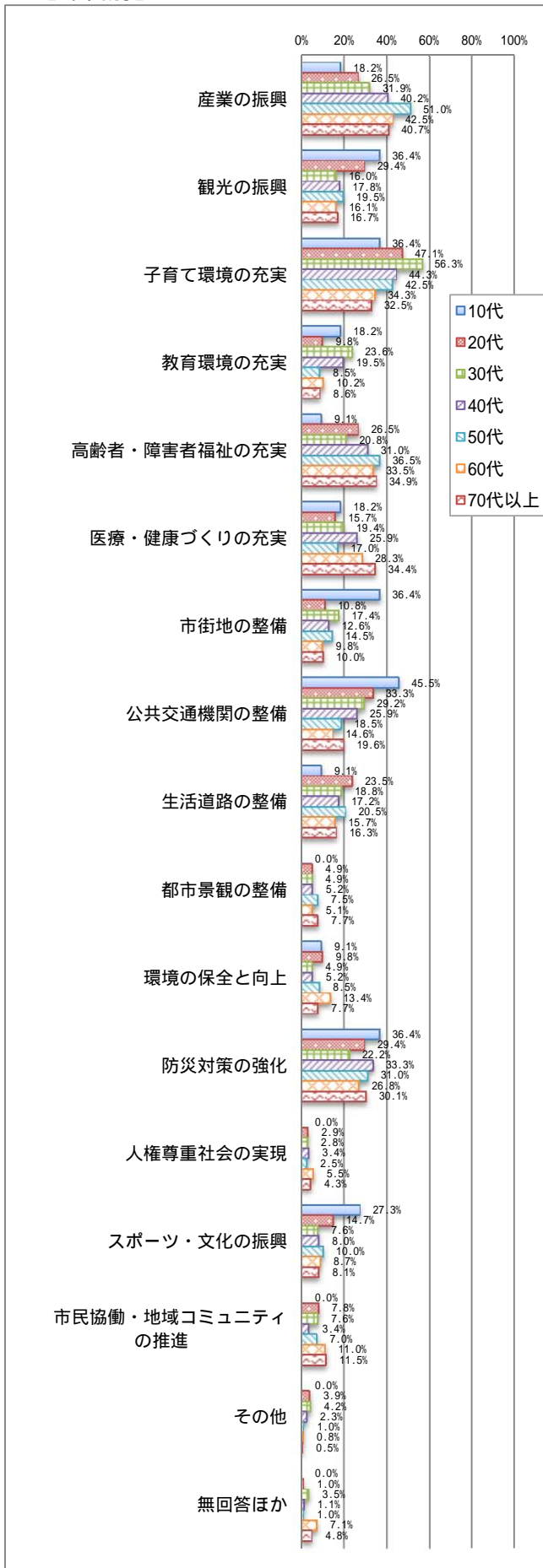
	人数				割合 (%)			
	1位	2位	3位	合計	1位	2位	3位	合計
産業の振興	333	54	54	441	30.4%	4.9%	4.9%	40.2%
観光の振興	60	92	52	204	5.5%	8.4%	4.7%	18.6%
子育て環境の充実	170	183	97	450	15.5%	16.7%	8.8%	41.0%
教育環境の充実	40	72	29	141	3.6%	6.6%	2.6%	12.9%
高齢者・障害者福祉の充実	117	118	109	344	10.7%	10.8%	9.9%	31.4%
医療・健康づくりの充実	71	123	76	270	6.5%	11.2%	6.9%	24.6%
市街地の整備	30	65	42	137	2.7%	5.9%	3.8%	12.5%
公共交通機関の整備	52	90	101	243	4.7%	8.2%	9.2%	22.2%
生活道路の整備	42	78	78	198	3.8%	7.1%	7.1%	18.0%
都市景観の整備	2	22	41	65	0.2%	2.0%	3.7%	5.9%
環境の保全と向上	10	26	59	95	0.9%	2.4%	5.4%	8.7%
防災対策の強化	83	84	150	317	7.6%	7.7%	13.7%	28.9%
人権尊重社会の実現	7	10	24	41	0.6%	0.9%	2.2%	3.7%
スポーツ・文化の振興	14	19	69	102	1.3%	1.7%	6.3%	9.3%
市民協働・地域コミュニティの推進	13	17	62	92	1.2%	1.5%	5.7%	8.4%
その他	15	1	3	19	1.4%	0.1%	0.3%	1.7%
有効回答数	1059	1054	1046	1059	96.5%	96.1%	95.4%	96.5%
無回答ほか	38	43	51	38	3.5%	3.9%	4.6%	3.5%
総回答数	1097	1097	1097		100.0%	100.0%	100.0%	

徳島市が重点的に行うべき取り組みとして回答のあった1位から3位の合計について、【男女別】、【年代別】、【地区別】ごとの集計を以下に示す。

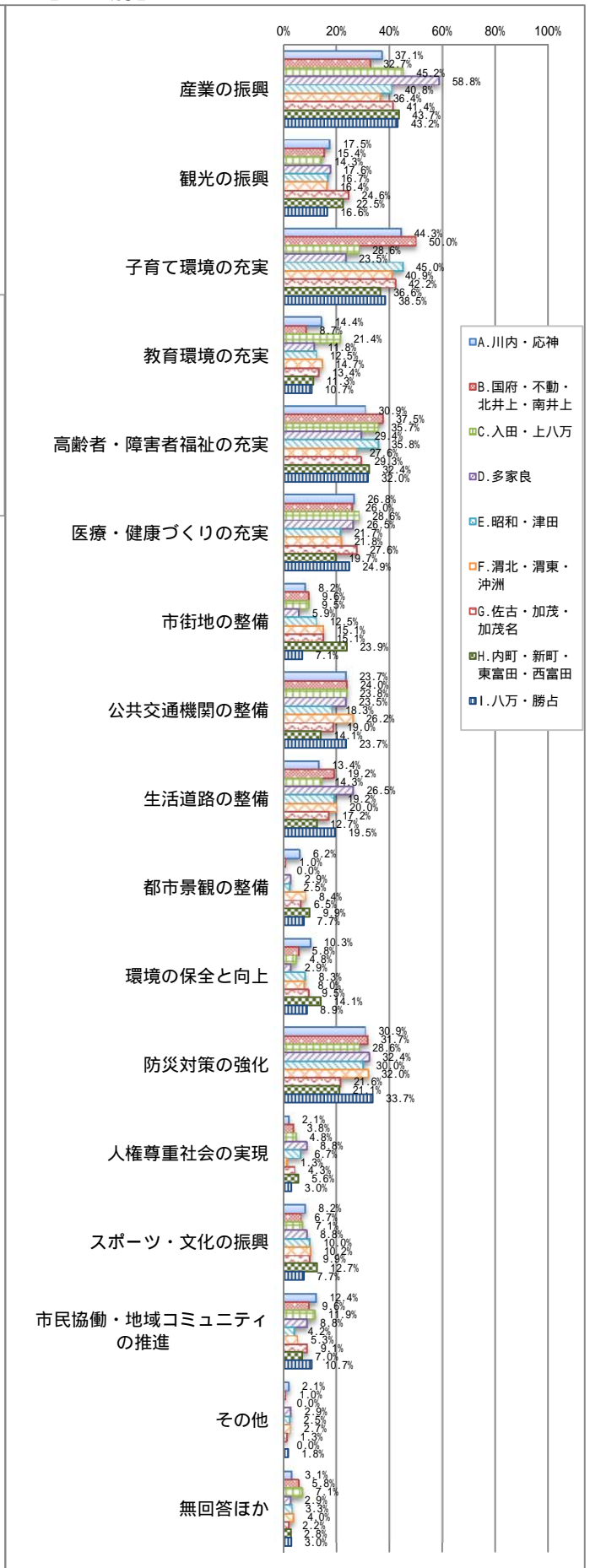
【男女別】



【年代別】



【地区別】



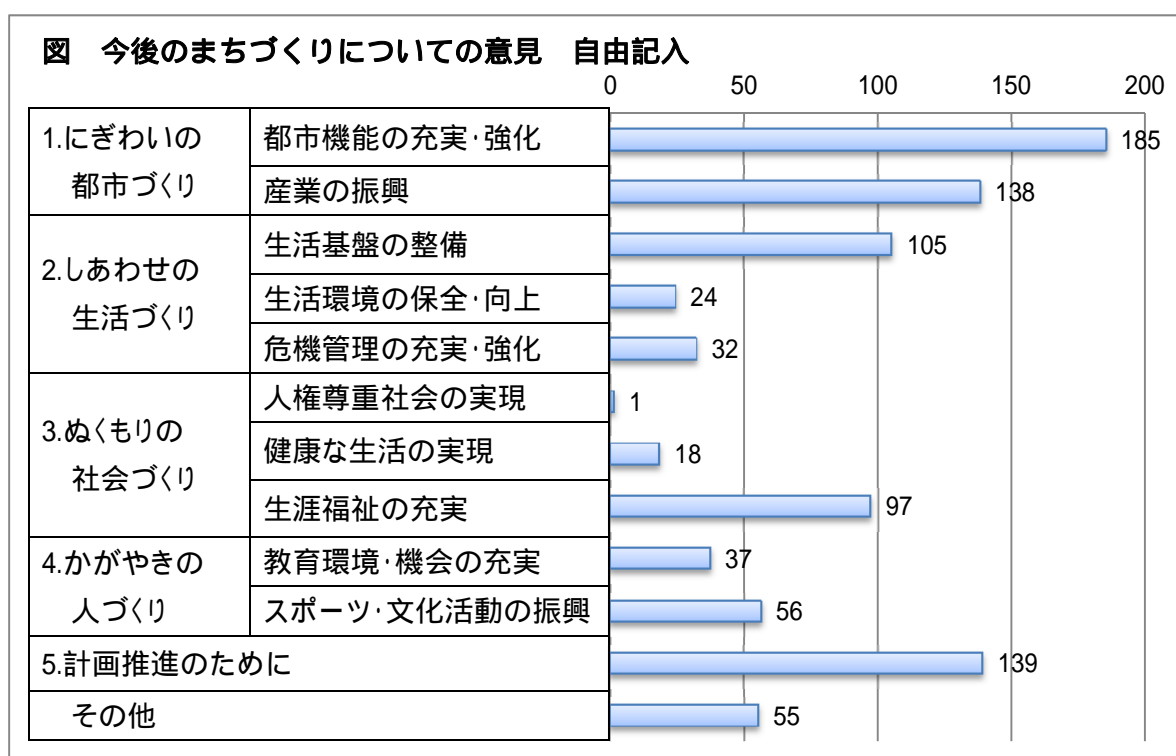
2-6. 徳島市の今後のまちづくりについての意見

(1) 集計の方法

自由記入の形式で回答いただいた意見を以下のように分類して整理した。

- ・徳島市の今後のまちづくりについての意見を、「第4次徳島市総合計画」に掲げる基本計画の施策の大綱(11項目)により分類して整理した。
- ・設定した項目に分類できない意見は、「その他」の意見として分類した。
- ・自由意見について、各分野の意見の傾向及び特徴的な意見を整理した。

(2) 集計・整理結果



自由意見のうち主なもの

各分野に関して、それぞれの傾向および特徴的な意見は次のとおりである。各項目の後ろのカッコ内の件数は、寄せられた意見の数であるが、他の項目との重複を含む。

1.にぎわいの都市づくり

都市機能の充実・強化（185件）

【傾向】駅前などの中心市街地の整備に関すること、公共交通機関や駐車場など交通体系の整備に関する意見が多く寄せられた。なかでも、新町西地区再開発事業、および新ホール建設についての記入が多く、事業の推進により市街地の発展を望む声と、事業の見直しや熟慮を望む声の両方の意見がみられた。

【特徴的な意見】

- ・徳島駅前の景観について、徳島らしさ個性的でポリシーのある県外の方や外国の方が来られて印象に残る景観づくりをして欲しい。(出来るだけお金を使わず！)(男性60代、内町)
- ・自動車の運転免許がないと日常の買い物に不便な地域になってしまいました。バスの本数も減ってしまい、高齢者にやさしい町とはいいいくいとします。(40代女性、加茂名)
- ・縦貫自動車道を利用して周囲の所より市街地へ入れる公共交通機関の充実。高齢者が増えるため、自動車(自家用車)に乗れなくなった人が利用しやすいシステムを作って欲しい。(60代女性、勝占)
- ・主要道路が少なく渋滞がひどい。早期整備を望む。市の中心部に活気がなさすぎる。集客施設の誘致はできないか？たとえば四国初のアウトレットモールを沖洲辺りに作り県内外から人を集めるなど。旧動物園、東工業跡など土地の有効活用策が見えてこない。いつまで放置するのか？(男性30代、渭東)
- ・新町再開発は積極的に進めるべきです。街が元気になる起爆剤として大いに期待しています。(男性60代、昭和)
- ・歴史ある自然や建造物を大切にしながら、新町に新大ホール、大賛成です！徳島駅周辺が活気づき、高齢者、若者ともに充実した人生が送れるようになると思います。(どこの県共に駅前はその県の顔であり、魅力的になる)耐震工事に多額を費やしては、長い目に見れば無駄使いになると思います。(女性60代、国府)
- ・西新町開発に税金を使うより、他に使わなければならないところがたくさんあるはず。景観整備も大事だが空き店舗や空きビルなど今あって使われてない所を活用していくべき。駅前の駐車場ばかりになってしまっているのを見ると悲しくなる。(女性30代、渭東)
- ・新町西地区の再開発事業には反対です。旧動物園等の土地に音楽ホール等を建てれば良いと思います。なぜ西新町なのか全くわかりません。(女性50代、加茂)

産業の振興（138件）

【傾向】

若者や子育てする女性が働く場所と環境を確保し、人口の流出を食い止めなければならない、という趣旨の意見が多く寄せられた。また、そのために、地元の利点を活かした産業の創出や企業誘致を行って欲しいといった意見があげられた。その他、市外から人を呼び込めるような魅力的な施設の整備の他、観光については効果的な広報を行うべきだといった意見も多くみられた。

【特徴的な意見】

- ・若者が働く場を多くし、景観を生かして観光客を国内外から多く来てもらえるようにする。六次産業化の推進に力を入れる。（男性70代以上、加茂）
- ・自然がすごく多いので、それらを活かした産業や町作り、観光、施設がたくさんあれば、もっと人は集まりやすくなると思う。（女性20代、川内）
- ・雨の日など子供を連れて遊べる所がデパートくらいしか近場がない。山や川などに恵まれているので、それを活用した遊び場などがたくさん出来れば県外からも遊びに来るのでは？都会では体験できないような自然にかかわれるもの等。（女性20代、川内）
- ・水と緑の豊かな住みよい市であり、山、陸、海の産物にも恵まれ、豊かな食生活をいとなむことに十分な市でありながら、反面、就職という面で、恵まれていないと思います。働ける場所がもっと沢山あって、所得を安定的に得られれば、多くの若者が他の地域へ働きに出ずとも、生活が出来るのにと考えます。徳島の良さを、市民全体で他の地域に発信したらどうでしょう？（男性50代、加茂名）
- ・都会への人口流出を食い止める為に、田舎でもできる産業とかを誘致し人口増にして欲しいと思います。（男性60代、内町）
- ・市民が参加できるイベントを増やして欲しい。最近、新町川を中心としたイベントがありますが、いろんな世代の人が参加出来、活気があっていいと思います。徳島のまち（緑・水辺）を活かしたイベントに力を入れて頂きたいと思います。（女性50代、加茂）
- ・ヴォルティスやインディゴソックス、マチあそびなど、人（とくに若者）が集まる素材は十分あると思うので、もっと生かして欲しい。（男性20代、東富田）
- ・既存のもの（阿波おどり etc）に頼らない新しい企画で、徳島市を盛り上げて欲しいです。阿波踊り期間中のホテル・旅館の宿泊料金高すぎます。また期間中だけでも空室のあるホテルなどがわかるウェブサイトなどがあれば、個人で来る方も来やすいと思います。（女性20代、昭和）

2.しあわせの生活づくり

生活基盤の整備（105件）

【傾向】

生活道路の整備や、身近な公園の施設整備を望む意見の他、公共下水道を整備してほしいといった意見も多く寄せられた。また、都市景観や水辺空間の創出についての意見もみられた。

【特徴的な意見】

- ・新町地区など、緑豊かな公園を配置して市民が気軽に散策したり、くつろいだりできるスポットを作り、大人も子供も若者も自由に過ごせる場所があれば嬉しい。小規模でも良いと思うので気取らなくても憩える場があれば・・・と思う。(女性 50代、津田)
- ・道路の整備をしてほしいです。それにともない電柱をなくし地下に埋め、道を広く使える様になればいいと思います。(女性 50代、佐古)
- ・藍場浜公園や新町川公園、水際公園、踊り広場などきれいに整備され市が良く取り組まれていると感じています。(郷土愛も感じます)引き続きキレイな街づくりを期待しています。(男性 60代、加茂)
- ・海外の様に街中に大きな公園(芝、木が植わっている)をいくつもつくり、住宅地をもっと広域に広げ、交通の便を図ってゆったりと暮らせる街をつくる事で都市の生活との違いを明確にする。都市のやる事を追いかけてもダメ。(男性 40代、津田)
- ・たくさんの川と眉山の風景を将来もずっと残して欲しい。これだけ素晴らしい景観を持った都市は希だと思う。(男性 20代、加茂)
- ・徳島市は公共下水道が整備されている地域がほんの一部であり、市民の生活排水で河川をよごしているというのが現状である。河川を観光の目玉とする取組みも大切だと思うが、その前に汚水処理の整備を早急に進めるべきだと思う。他県では当然の様に整備されているのに、何故出来ていないのか疑問に感じる。住み続けたい街、他県・市町村から住みたいと思ってもらえる街にするためにも整備して頂きたい。(女性 30代、佐古)
- ・田舎なので夜暗くて危ない。防犯の為に暗い場所には外灯を付けて欲しいと思います。(男性 70代以上、国府)
- ・下水道設備や至るところ狭い道路の拡張による歩行者にやさしい町作り。(男性 50代、八万)
- ・気候の変動がはげしく大雨が降ったり早くから台風が襲来します。下水道の設備、排水ポンプの設置がまず第一と考えます。床上、床下浸水等の被害の出ないよう取組んでほしいです。(女性 70代以上、津田)

生活環境の保全・向上（24件）

【傾向】

ごみの収集や分別方法に関する意見が多く寄せられた。また、河川や排水路からの臭いの問題や工場排水の適正化など、環境対策を進めてほしいという意見もあげられた。

【特徴的な意見】

- ・ごみの分別とリサイクルの意識が、他市町村に比べて著しく低い。（男性 30 代、佐古）
- ・ごみの収集の仕方を統一出来ないでしょうか？風の強い日など、道路にごみが飛んでいる場合もあります。個々で出す場合もネットをかぶせる等、統一してキレイな徳島市に出来たらと思います。・ゴミ袋の有料化：他の県、市町村でも多くの所でゴミ袋は有料化となっています。有料化する事でエコにもつながり、又、ゴミを出す市民の意識も変わると思います。・町中の喫煙スペースの減少の検討をお願いしたいです。町中に灰皿スペースのある所が多く、転居した際に驚きました。タバコの吸い殻が町中に多いのも気になります。阿波踊り、その他観光で徳島市を訪れた際、その町がキレイであれば、それだけでかなり印象が違うと思います。宜しくお願いします。（女性 50 代、八万）
- ・ごみの分別をきちんとできる環境作りと、子どもが安心してくらす環境作りを考えてほしい。（女性 30 代、津田）
- ・ごみの集収について、プラが 2 週に 1 回では少なすぎる。現在はプラ製品であふれているのに、せめて週 1 回にするべき。収集も、各家の前より収集場を決めるべき。ゴミ収集の人も大変だろうし、ゴミ散乱が多く見られる。市が力を入れて改善するべき。（女性 30 代、渭北）
- ・徳島市民になって 3 ヶ月ですが、最初に感じたことは臭いです。下水のような肥やしのような匂いで、窓を開けられない時もしばしばです。特に朝晩強いようで、苦痛です。水や空気がきれいというイメージがあっただけに失望しました。（女性 50 代、加茂）
- ・工場の汚い排水の適正。（男性 70 代以上、国府）
- ・自然環境を大事にしたまちづくりを進めていくようにすれば良いと思う。豊かな自然を活かした保全活動を行えば良いと思う。（男性 40 代、加茂）

危機管理の充実・強化（32件）

【傾向】

東南海・南海地震やこれに伴う津波災害に対する防災対策の強化を重要視する意見が多く寄せられた。また、現在生活している地域での、洪水・浸水被害への対策を望む声も多くみられた。

【特徴的な意見】

- ・南海地震も懸念されている。防災や災害時の対応をもっと強化するべき。（男性10代、勝占）
- ・勝占地区は、洪水対策が不十分です。宅地化が進んでいる割には、洪水になる度に不安な気持ちになります。早急に進めて下さい。（男性40代、勝占）
- ・水都とくしまは、逆に災害（津波など）に弱いのではないのでしょうか。渭東・沖洲地区に住む者として、防災・避難場所の設置を望みます。（男性60代、渭東）
- ・学校や仕事場以外でも定期的に防災訓練をすればよいと思う。地震の場合、季節や時間帯、天気も変えながら。（女性20代、沖洲）
- ・大型地震の際の津波に不安を覚える市民は多いはず。想定される津波の高さを考慮した避難場所を選定して欲しい。避難場所が地域のコミュニティーセンターなどでは充分とは思えない。具体的には十分な高さを持つ避難場所への経路を記したMAPなどの配布をして頂ければと思います。（男性40代、津田）
- ・南海トラフ巨大地震についての、住環境（高台移転）への対策・防災対策（避難場所への市民への周知の徹しかた）・八万地区の場合、毎年、中津浦の郵便局あたりが台風のと看など、水流、浸水します。ポンプの稼働が間に合わない。また、南海トラフ地震による...水没（八万中心部）のときの、眉山高台への避難場所の設置の希望をいたします。緊急避難該当（八万保育所、幼稚園、小学校、中学校、城南高校ほか・・・）（男性70代以上、八万）
- ・新町川の川沿いに暮らしています。随分、川もキレイになりました。放置したままの捨舟や、使用していない棧橋を処分して頂きたいと思います（台風の時に水の流れをせきとめます）。舟をつなぎとめる棧橋等は無許可になっているのですか？（女性70代以上、渭北）

3.ぬくもりの社会づくり

人権尊重社会の実現 (1件)

【傾向】

平等な地域社会の実現を望む声が寄せられた。

【特徴的な意見】

・これからも良い町づくりを。人づくり、環境、眼に見えない差別のない社会づくりを。(女性 50 代、不動)

健康な生活の実現 (18件)

【傾向】

医療費削減のためにも、健康づくりに必要な環境整備や意識啓発を求める意見が多く寄せられた。

【特徴的な意見】

- ・体力・健康づくりを広く大きく推進し医療を少しでも軽減出来る、歩けサークル、体操サークル等の活動人員の増大させる環境整備、広報活動整備実施。(女性 60 代、新町)
- ・徳島市、又県は徳島大学病院をはじめ市民、中央、赤十字病院等医療が充実し、優秀な医師も多くいます。又、リハビリ施設等も多くあり、さらに医療を充実さすことで治療、療養のみならず健康維持のために徳島を訪れる、さらには移住してくるといったことを目指すのはどうかと思います。レジャー施設は全国に多くあるので健康施設等いいのでは？(女性 60 代、北井上)
- ・ふれあい健康館などのジムやプールを増やしてほしいです。健康な市民が増えれば医療や老後の負担も少なくなると考えます。(女性 50 代、佐古)
- ・徳島県全体ですが、シニア世代の方は、運動をよく行っている様です。でも子供たちは、学校へすら、送り迎えで歩くことが少なく思います。このまま大人になるとますます成人病になる要素が大に思います。子供への見守り隊とか、行っていますが、歩いて、どこかへ行くとか、もう少し、子供たちを歩かせてほしいと思います。(女性 50 代、上八万)
- ・不妊治療に対する助成の条件を軽減してほしい。今の条件より所得が上の人でも、所帯を持ってから年数が少ないと経済的負担は大きい。結婚する年齢が上がっているので、人口を増やすには必要だと思う。(女性 30 代、沖洲)
- ・健康・文化先進地徳島市をキャッチフレーズにして、市民ランナーの為のコースを設定(例：マリンピア、吉野川河川敷等)、糖尿病予防、成人病予防の為(又、医療費の削減)(男性 60 代、内町)

生涯福祉の充実（97件）

【傾向】

子育て環境の整備を求める意見が多く、特に、子育て世代の就労を支援する制度・施設づくりを望む意見が多く寄せられた。また、高齢者や障害者のための福祉の充実、就労支援についての意見があげられた。

【特徴的な意見】

- ・徳島市で子育てがしたくなるような、教育環境の充実を希望します。豊かな教育環境があるところで子育てがしたいと若い世代が住むと思うし、地域に大切にされた子供たちは大人になっても地元を大切にするとすると思う。個人的には高齢者福祉の充実に予算が多く使われ、世代で不公平を感じる。若い世代(子供たち)を大切にすると社会になり、大切にされた子供たちが大人になった時に自然と地域や高齢者を支えていけるようなサイクルを作ってほしいと思う。(男性40代、昭和)
- ・子育て世代(20代30代)の意見をもっと聞き、積極的に取り入れるべき。南井上地区に学童がないので、早急になんとかして欲しい。(男性30代、南井上)
- ・もっと子育てや子供のいる家庭への支援を充実して欲しい。子育てする親(母親)の働きやすい社会へして欲しい。色々な行事を行う等、地域のつながりを深めたい。(他県での子育て支援のTVを見て素敵だなと思った)(女性20代、加茂)
- ・病児・病後児保育の充実により子育て世代の就労を確保・支援して下さい。(女性30代、渭東)
- ・子供が安心して生活できる環境整備、教育レベルの向上、学童保育の充実(定めた条例を守ってほしい)。(女性30代、応神)
- ・女性が子育てをしながらかでも働きやすい(仕事を続けやすい)環境を整えて欲しいと思う。(子供を預けられる時間帯の充実や、就業中に子供が発熱した際などに受け入れてくれる施設の拡充など)(女性60代、上八万)
- ・子育て世代として、働きやすい(母親が特に)環境にしてほしいです。保育園や学童の充実など。(女性30代、渭北)
- ・子育て教育環境の充実。・雇用、独身者が家庭をもって生活出来る、安定した収入、仕事。・高齢者も自立する気持で外に出て、楽しむ場所を提供。・ご近所が声かけ作戦、あいさつ会話(高齢者も1日1回は外に出る様努力する)。(女性60代、北井上)
- ・障害者が生活しやすい環境作り、特に生活面。防犯活動。(女性50代、津田)
- ・高齢者が生き生きと過ごせるような施策をして介護費用を減らす(ピンピンコロリである)手助けをしてはどうか。耕作放棄地がふえているので、家庭菜園を多く作り高齢者はそこで体を働かせることで健康維持となる。また、生ゴミの堆肥化でゴミ減量となる。(男性70代以上、加茂)
- ・高齢者の市バスがとってもべんりです。ずっとつづけてほしいと思います。(女性70代以上、川内)
- ・出来るボランティアをしてみたいが、何をすればいいのかわからない。個人個人の小さな力を生かせるようにしたい。小さな子供を抱えた親が少しでも楽しく暮らせるよう手助けが出来るような町になればいいと思う。50代、60代のまだまだ元気な人が自由な時間を持て余していたりするので、何か役立つ事、町のためになる事あればいいなと思います。(女性50代、沖洲)
- ・母子世帯です。仕事に行く時間が早いので保育園に預ける時間をもう少し早くしてほしいです。サボ

ートをうけていますが、ファミリーサポートは利用回数が増えると金額も高くなり負担になります。母子寡婦福祉連合会が管理されてる家庭支援？も利用させて頂いてますが年間40時間しか利用できず、又決まっているシフトの送迎などはしてもらえないので、本当に困っている家庭もあると思います（私もです）。遊ばれている方も結構おられます。本当にまじめにしている人を大切にして頂きたいと思っています。（女性30代、南井上）

4.かがやきの人づくり

教育環境・機会の充実（37件）

【傾向】

小中学校の施設整備や教育内容について、また、幼稚園教育の充実など、学校教育の充実についての意見が多く寄せられた。その中で、小中学校のエアコン整備を求める意見も多くみられた。

【特徴的な意見】

- ・教育環境を充実させ、子供たちの文化的活動を支援してほしいです。（女性40代、昭和）
- ・何人か（1～3人くらい）で使える自習室を図書館などにつくって欲しい。（女性20代、沖洲）
- ・学校にエアコンの導入を！！（女性50代、国府）
- ・他県に比べて私立幼稚園の学費が高い。公立には通わせたくないし、もう少し補助があればと思う。（女性30代、川内）
- ・小、中学校の教育の充実{タブレットなどをつかった教育（全員に無料貸与）}{英語授業の充実、小学校入学時よりコミュニケーション英語の導入。（男性40代、加茂名）
- ・学校について、古い校舎、エアコンも整備されていない。運動場も狭いし、もう少し学校に予算を使って良くして欲しい。（女性70代以上、南井上）
- ・徳島市の小中学校の教室には、エアコンがありません。近年の温暖化に伴い、とても暑い日が続いている中で、すごしやすい環境の中、子供たちに勉強してほしいので、早い機会に、エアコンの設置を希望します。（女性40代、加茂）
- ・子どもが、40分かけて小学校へ行ってます。もう少し学校数を増やしてほしいです。また、児童館やコミュニティセンターなど子どもが使用する施設の防犯面がとても甘く感じます。小中学生に対する犯罪や誘拐が多い中、出入り自由なコミュニティセンターは危険だと感じます。そういう点で、とても住みにくく不安である。あと、認定子ども園制度を取り入れるようですが、はっきり言って反対です。働く女性を支援しているつもりかもしれませんが、この制度を導入することで専業主婦が働かざるをえなくなります。（認定子ども園への入園が、専業主婦の子どもが入りにくくなるのもおかしいですよね？幼稚園のままだったらそんなことなかったのに・・・）幼稚園を変えるのではなくもっと根本的な解決をしなければいけないと思います。（女性30代、津田）

スポーツ・文化活動の振興（56件）

【傾向】

文化センターなど文化施設の整備に関する意見が多く寄せられた。また、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会や施設を整備、充実させてほしいといった声があげられた。

【特徴的な意見】

- ・音楽のある街。例えばジャズフェスティバル、音楽ホールイベント等。又気軽に人が集まれる人と人とのふれ合い等を通して楽しく生きられる様なオアシスの様な場。等。 どうか。（女性 70 代以上、佐古）
- ・旧の動物園、遊園地の跡地にまともなホールを作ってほしい。西新町より広そうだから（別に西新町の計画は反対ではないけど）。文化センターがなくなって文化振興なんて出来ないのに（そんな施設がないのに）なんで選択に入れたんですか？大きさとかは言わないので、まともなホール作って下さい。（女性 20 代、沖洲）
- ・地区で、ちょっと老人が立ち寄り出来るスポーツ。卓球とか少し体を動かせる所がありますか？ほしいです。（女性 70 代以上、加茂名）
- ・淡路の花さじき、明石海峡公園に行き毎回感動して、徳島にもその様な花いっぱい以外の県外の人も来てくれる所があれば良いのと思います。徳島の動植物園は動物園は素晴らしいですが、植物園は残念な気がします。（女性 60 代、八万）
- ・県・市で空いてる土地など様々あると思いますが、あいてる所を有効的に活用して、文化センターを作ってほしい。東新町の開発を進めてもダメだろうと思っている住民が沢山いることを分かってほしい。（女性 30 代、渭北）
- ・徳島市に言っていることか分からないのですが、徳島ヴォルティスのホームゲーム時の徳島駅から鳴門のスタジアムへの送迎バスを運行して欲しいです。J1の時は、ほぼあったのに今年の5月に行った時はバスがなくて車で行きました。一般の方も車は利用するので混雑するし、本数は少なくてもいいから徳島駅からの直通バスをお願いします。スポーツ振興につながると思います。（女性 20 代、佐古）
- ・(ドイツの)ニーダーザクセン州との交流、協力を県や市単位で実践すべき。それで町おこし、産業おこしをするべき。大学ごとのドイツの大学との協力関係の確立や、交流をすべき。ニーダーザクセン州の紹介を新聞へ載せたり、本を販売すべき。ニーダーザクセン州の料理や菓子、くだものの紹介をすべき。工学、医学、薬学の研究協力をすべし。徳島の農産物をニーダーザクセン州に輸出すべき。お遍路さんで、ニーダーザクセン州の人を招くべき。（男性 50 代、八万）

5.計画推進のために（139件）

【傾向】

効果的で効率的な行財政経営の推進についての意見が多く寄せられた。また、コミュニティ施設の整備や地域活動の活性化についての意見や、市民参加の推進のために、情報の共有や市民参加の機会の拡充を望む声があげられた。

【特徴的な意見】

- ・子育てと同様に高齢者等にも優しい徳島市になる為に、よりよいサービスをわかりやすくパンフレット等で配布してはどうかと思う。他県や他市が行っている施策と同じでもいいのではないかと思う。特にテレビ等で他県・他市の施策を見ると、徳島市にない事、徳島市でもできそうな事を紹介されているので参考にして欲しい。（男性30代、加茂）
- ・やるべき事、又して欲しい事など、考え始めれば色々と浮かんできますが、ソフト面の部分は、私達の様な一般市民ひとりひとりが担い、ハード面は市役所という行政の方をお願いするという役割分担とも言えるような、両輪での前進でのみ”安心して暮らせる街”になるのかなと思いました。私も、この街の市民として暮らしていて、何かをしてもらおう要求のみではなく、市民として何が出来るかを考えながら暮らす事が大事だと、アンケートに答えながら気が付きました。（女性50代、内町）
- ・例えば、20才～60才の労働者世代に対して、徳島市が独自に税金の項目を新設しその徴収したお金で子育てに対するサービスや年金生活の高齢者や障害者の支援に充てて欲しいと考えます。また、その税金が適正に使われているか監視する機関を設置して頂きたいです。（男性40代、国府）
- ・行政と市民の間をもっと身近に、意見や意思の交流が日常的な関係になるような組織づくりをしてもらいたい。例えば、支所は手続きの書類を作るのみが仕事のように思います。これも大切な仕事ですが、もっと住民との接点を探った仕事(町内会的な)をすることができないかと思います。今の手続きだけなら、コンビニへ全て移してもできるのではと思います。市の職員さんはまじめで仕事もよくやっているという印象ですが、もっと市民の中に入って来るような仕事への転換をすれば、親しみももっと強まると思いますし、企画の仕事もよいものができると思います。（男性70代以上、国府）
- ・フェイスブックで、県外の方へのコメントの後にトクシを付けています。より良い町づくり、宜しくお願い致します。（女性50代、沖洲）
- ・市民が参加できるボランティアをもっと多く取り入れPRし、市民が”自分達の街を大切にする”取り組みをすれば良い。例えば、小さなことと言えば自分達の住む街のそうじや道路わきの草抜き、花植えなどは、町内の呼びかけなどで参加する人が増え、地域のコミュニケーションも取れやすくなる。税金は、納めただけでなく、使い方も市民を交えて考えるといい街づくりになると考えている。（女性50代、渭北）
- ・とくしまマイシティ便利帳はとても役立っている。広報誌は全ての人に配布して頂く事は出来ないのでしょうか？（女性50代、津田）
- ・歴史や伝統文化をもっと大事にして欲しい。昔の村というコミュニティーを見直し、近隣住民とのつながりを強くしなければならぬ。（男性40代、渭東）
- ・市役所の職員は、市役所に来所した時にもっとやさしく対応して頂きたい！（女性60代、加茂）
- ・市役所が縦のつながりばかりで横のつながりが無いので、いつもたらいまわしをされ同じ事を何回も言わなければならない。（女性30代、津田）

- ・市民税が高いと思います。(女性 60 代、加茂名)
- ・中長期展望を立て、市民に分かりやすく情報提供して欲しい。・高齢化社会になるのは必然。その中で、どのような地域コミュニティを求めるのか、ビジョンを見せて欲しい。(男性 50 代、国府)
- ・都市計画税を取りながら、町づくりに生かされていない。・計画(企画)から実施執行・完成(完了)までに時間がかかりすぎ。(男性 60 代、八万)

その他 (55 件)

【傾向】

施策項目には分類しきれなかったが、若者が定住できるようなまちづくりを行ってほしいという意見が多く寄せられた。また、市民の交通マナーや環境マナーの改善を望む意見や、本アンケートについての意見などがあげられた。

【特徴的な意見】

- ・徳島での生活が長くなり徳島県人になっております。自然が多く、川、海も近くにありとても住みやすい所です。大好きです。もうふるさとになっております。若い人が定着できる環境作りをお願いします。(女性 60 代、佐古)
- ・徳島県に住んでいる環境を利用して若者が興味がわく仕組みにしてほしい。新しい分野に挑戦してもらいたい。そんな活動的な県の行動を見たいし行動に移してほしい。同じ様な事をするならばすでに他県で条件が良い所は多数ある。これからの若者は他県に移動する事は苦にならない。(男性 30 代、八万)
- ・次に感じていることは車の交通マナーの悪さです。歩行者が横断歩道を渡っていても、車は止まりません。ウィンカーを出さずに車線を変えます。ゴミのマナーも悪いと思います。道路にポコポコゴミが出ているし、中身も散乱しています。一日も早い改善をお願いします。(女性 50 代、加茂)
- ・徳島に U ターンで帰り約 10 年になりますが、モラルの低さに驚いています。道には犬のフンだらけ。車からのタバコのポイ捨て。他県ナンバー車への接近・追い詰め。直前でしか出さない車のウィンカー等々、特に車運転中のモラルが最悪です。私も U ターンで帰った時は他県ナンバー車でしたが、何度も嫌な思いをしました。私の会社の他県人の方も同様の事例があり、徳島だけには住みたくないと言っていました。これでは観光客のみなさんに嫌な思いをさせるだけで、いくら良い街づくりをしても徳島に発展はないと思います。(男性 50 代、沖洲)
- ・初めてこのアンケート受け取りました。これからもこの様に市民の人達にアンケートを実施して頂いて、細やかな声を拾い上げて下さればと思います(アンケートの実施良いと思った)。(女性 50 代、沖洲)
- ・この様なアンケートを行う場合、インターネットを利用してコストを下げることも必要(両方利用できる様にする)。(男性 40 代、津田)